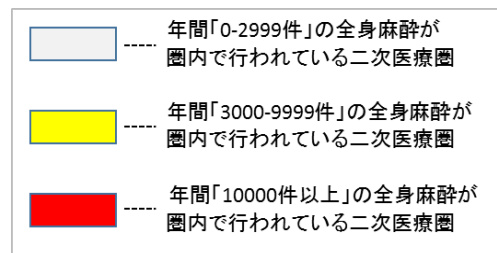
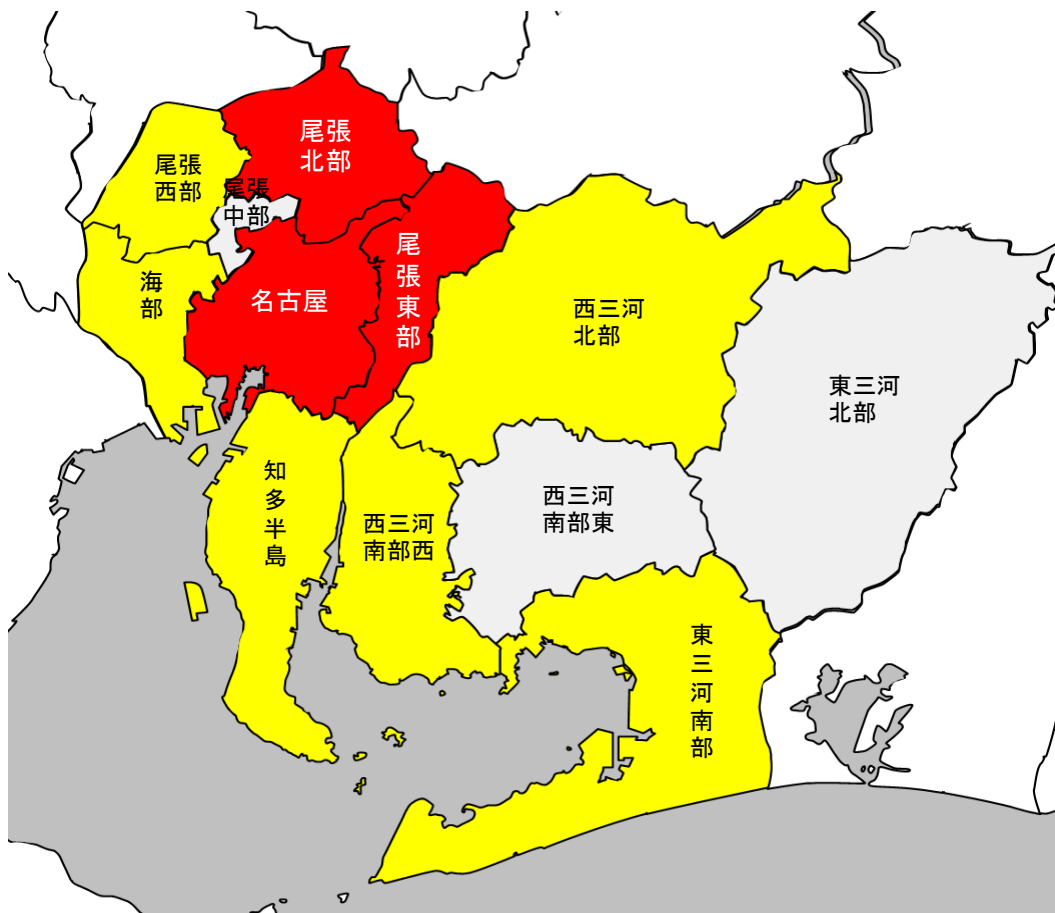


23. 愛知県

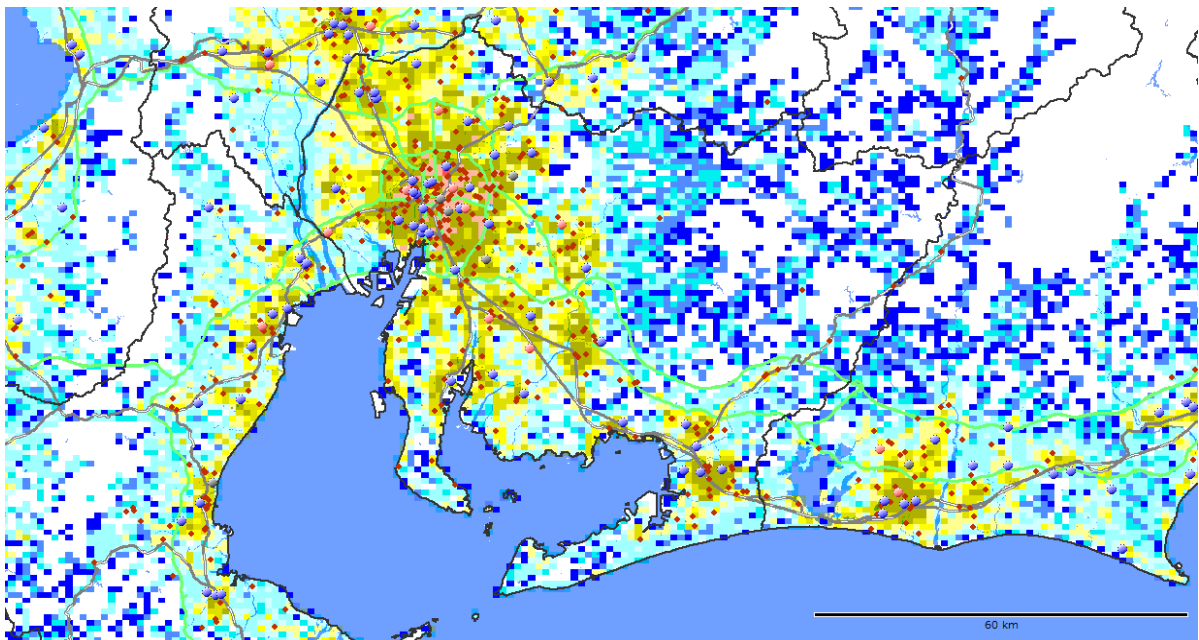


目次

愛知県	23	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	23	-	8
1. 名古屋医療圏	23	-	26
2. 海部医療圏	23	-	31
3. 尾張中部医療圏	23	-	36
4. 尾張東部医療圏	23	-	41
5. 尾張西部医療圏	23	-	46
6. 尾張北部医療圏	23	-	51
7. 知多半島医療圏	23	-	56
8. 西三河北部医療圏	23	-	61
9. 西三河南部西医療圏	23	-	66
10. 西三河南部東医療圏	23	-	71
11. 東三河北部医療圏	23	-	76
12. 東三河南部医療圏	23	-	81

23. 愛知県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(愛知県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 愛知県は、総人口約7483千人(2015年)、面積5169km²、人口密度は1448人/km²である。

*人口の将来予測： 愛知県の総人口は2025年に7348千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に6856千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の798千人が、2025年にかけて1166千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には1203千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 愛知県の一人当たり医療費(国保)は313千円(偏差値43)、介護給付費は227千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 愛知県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.7で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 愛知県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、73810人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が45346床(偏差値46)、高齢者住宅等が28464床(偏差値46)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、54007人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム49、軽費ホーム48、グループホーム47、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、11579人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-45%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

愛知県の総人口は、2005年7254704人が、2015年に7483128人と3%増加し、2025年の人口が7348135人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

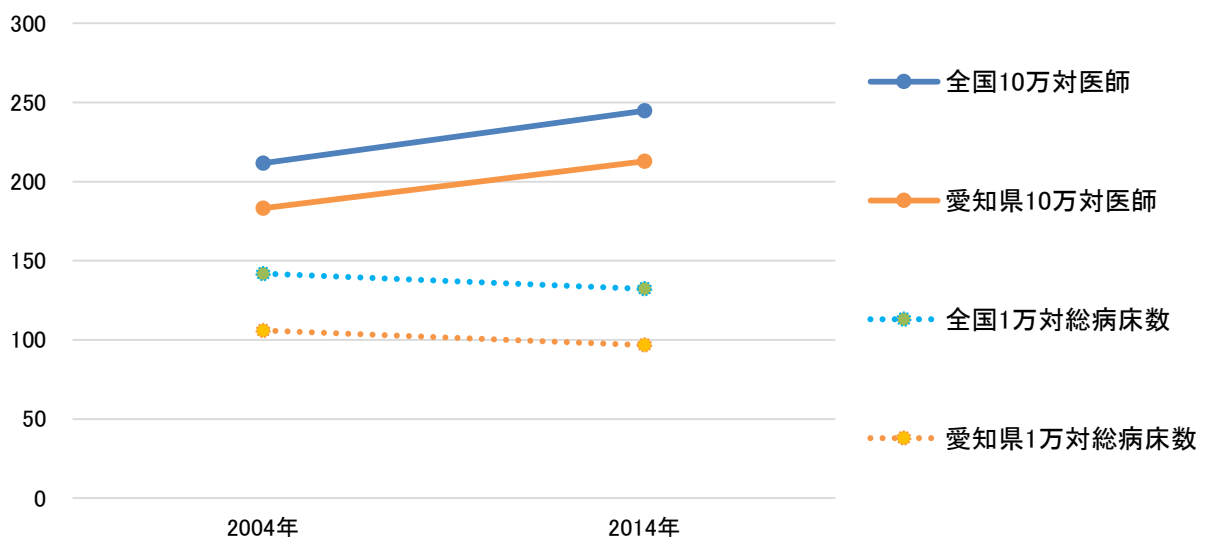
2004年の病院数が353(人口10万人当たり4.9病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に321(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で32病院が減少した。

2004年の診療所数が4707(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に5227(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、520診療所が増加した。

2004年の総病床数が76799床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に72404床(人口1万人当たり97(全国平均132)偏差値44)と、4395床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

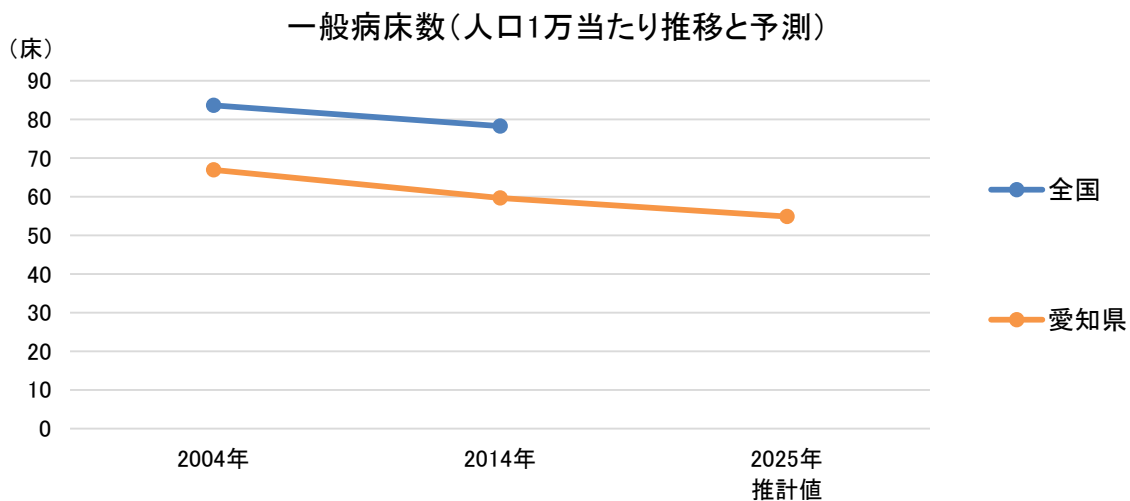
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が13295人(人口10万人当たり183人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に15927人(人口10万人当たり213人(全国平均245人)偏差値47)と、2632人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



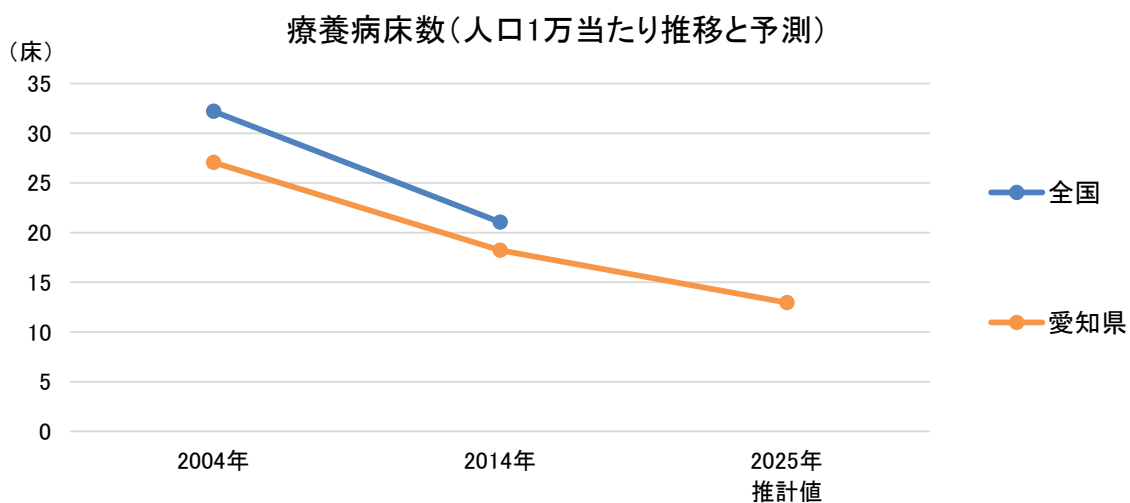
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が48556床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に44631床(人口1万人当たり60(全国平均78)偏差値43)と、3925床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には40315床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



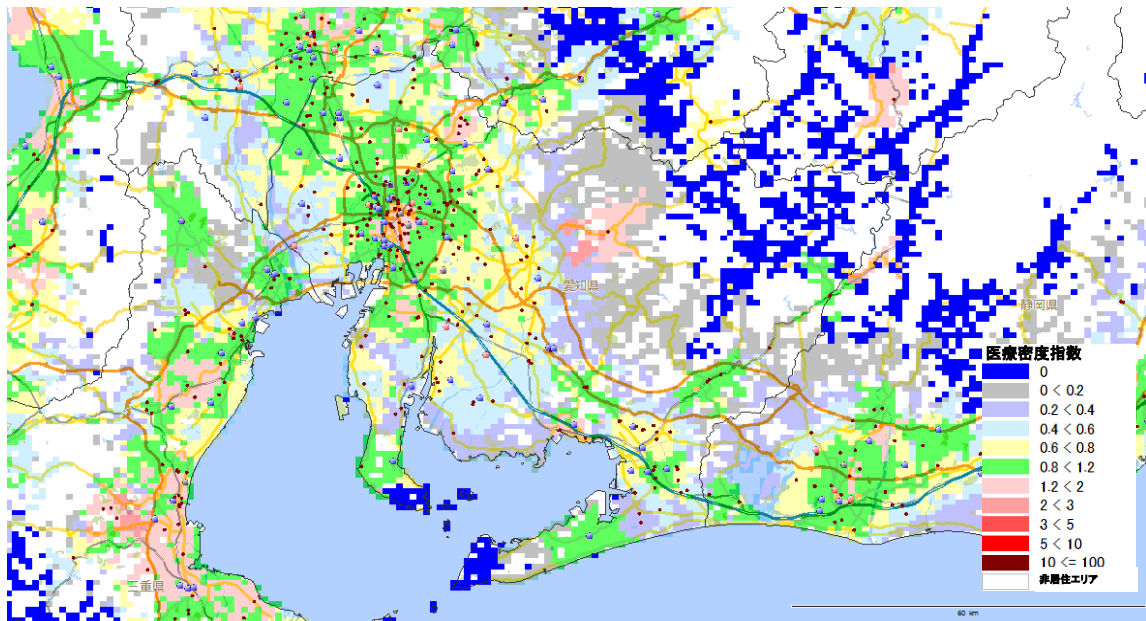
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が14021床(75歳以上1000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に14538床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、517床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には15106床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



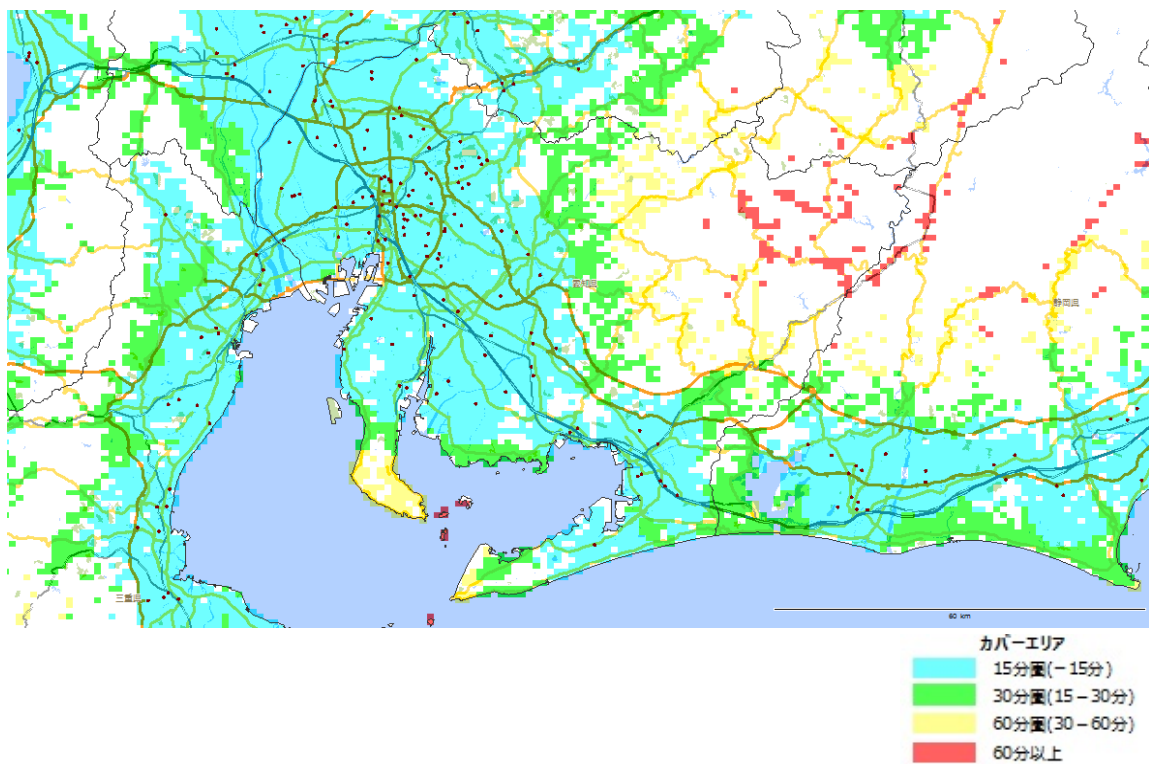
(愛知県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 23-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
愛知県	7,483	4位	5,169	27位	1,447.6		24%	7,348	6,856	798	1,166	1,203	-2%	-7%	46%	3%
名古屋	2,296	31%	326	6%	7,031.9	大都市型	24%	2,248	2,088	258	377	397	-2%	-7%	46%	5%
海部	329	4%	208	4%	1,579.6	地方都市型	26%	316	283	37	54	50	-4%	-10%	46%	-7%
尾張中部	167	2%	42	1%	3,977.0	大都市型	23%	166	160	17	25	23	-1%	-4%	47%	-8%
尾張東部	467	6%	230	4%	2,030.9	大都市型	23%	475	457	47	73	76	2%	-4%	55%	4%
尾張西部	518	7%	193	4%	2,680.2	大都市型	25%	495	447	60	83	80	-4%	-10%	38%	-4%
尾張北部	733	10%	296	6%	2,477.6	大都市型	25%	718	661	78	118	113	-2%	-8%	51%	-4%
知多半島	621	8%	392	8%	1,585.0	地方都市型	24%	613	577	66	93	93	-1%	-6%	41%	0%
西三河北部	484	6%	951	18%	509.6	地方都市型	20%	492	473	39	66	74	2%	-4%	69%	12%
西三河南部西	690	9%	364	7%	1,896.8	地方都市型	21%	686	661	65	93	104	-1%	-4%	43%	12%
西三河南部東	421	6%	444	9%	947.5	地方都市型	21%	414	394	40	59	67	-2%	-5%	48%	14%
東三河北部	57	1%	1,052	20%	54.0	過疎地域型	35%	50	40	11	12	11	-12%	-20%	9%	-8%
東三河南部	701	9%	671	13%	1,044.1	地方都市型	25%	676	614	80	112	116	-4%	-9%	40%	4%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 23-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数(%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
愛知県	0.82	0.70	65,268	94,891	-45.4%
名古屋	1.08	0.75	24,311	30,672	-26.2%
海部	0.69	0.51	3,121	4,397	-40.9%
尾張中部	0.85	0.64	1,328	2,011	-51.4%
尾張東部	0.80	0.54	4,096	5,969	-45.7%
尾張西部	0.86	0.53	4,226	6,774	-60.3%
尾張北部	0.74	0.35	5,406	9,641	-78.3%
知多半島	0.67	0.40	5,846	7,598	-30.0%
西三河北部	0.62	0.58	3,010	5,406	-79.6%
西三河南部西	0.57	0.67	4,331	7,551	-74.3%
西三河南部東	0.59	1.36	2,882	4,787	-66.1%
東三河北部	0.58	1.50	956	987	-3.2%
東三河南部	0.73	0.65	5,755	9,098	-58.1%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 23-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
愛知県	313	43	0.915	105	41	0.809	181	46	0.967	227	43
名古屋	315	44	0.956	108	42	0.860	181	46	1.002	271	55
海部	313	43	0.909	102	40	0.781	186	49	0.982	206	37
尾張中部	303	41	0.903	104	41	0.817	173	42	0.940	198	35
尾張東部	328	46	0.927	107	42	0.794	193	52	0.990	205	37
尾張西部	320	45	0.923	113	44	0.858	181	46	0.949	214	39
尾張北部	315	44	0.895	103	41	0.774	185	48	0.954	192	33
知多半島	318	44	0.907	108	42	0.809	183	47	0.948	218	40
西三河北部	323	45	0.902	108	43	0.799	189	50	0.957	188	32
西三河南部西	295	39	0.866	94	38	0.725	175	43	0.936	211	38
西三河南部東	303	41	0.875	93	37	0.706	183	47	0.963	212	38
東三河北部	327	46	0.860	116	45	0.799	186	49	0.890	266	54
東三河南部	301	40	0.884	103	41	0.801	172	41	0.921	214	39
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表23-35を参照。

資_図表 23-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
愛知県	322	3.8%	4.3	44	5,259	5.2%	70	45
名古屋	129	40%	5.6	47	2,049	39%	89	55
海部	11	3%	3.3	42	209	4%	63	42
尾張中部	5	2%	3.0	41	97	2%	58	39
尾張東部	19	6%	4.1	44	317	6%	68	44
尾張西部	19	6%	3.7	43	330	6%	64	42
尾張北部	24	7%	3.3	42	474	9%	65	42
知多半島	19	6%	3.1	41	381	7%	61	40
西三河北部	18	6%	3.7	43	265	5%	55	37
西三河南部西	22	7%	3.2	42	386	7%	56	37
西三河南部東	15	5%	3.6	42	255	5%	61	40
東三河北部	6	2%	10.6	59	49	1%	86	54
東三河南部	35	11%	5.0	46	447	8%	64	42
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 23-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,995		79	(18.8)			73	(18.4)			6.3	(6.4)
愛知県	5,259	5.2%	70	45	4,888	5.3%	65	46	371	4.7%	5.0	48
名古屋	2,049	39%	89	55	1,932	40%	84	56	117	32%	5.1	48
海部	209	4%	63	42	191	4%	58	42	18	5%	5.5	49
尾張中部	97	2%	58	39	91	2%	55	40	6	2%	3.6	46
尾張東部	317	6%	68	44	289	6%	62	44	28	8%	6.0	50
尾張西部	330	6%	64	42	295	6%	57	41	35	9%	6.8	51
尾張北部	474	9%	65	42	427	9%	58	42	47	13%	6.4	50
知多半島	381	7%	61	40	355	7%	57	41	26	7%	4.2	47
西三河北部	265	5%	55	37	250	5%	52	38	15	4%	3.1	45
西三河南部西	386	7%	56	37	361	7%	52	39	25	7%	3.6	46
西三河南部東	255	5%	61	40	241	5%	57	41	14	4%	3.3	45
東三河北部	49	1%	86	54	44	1%	77	52	5	1%	8.8	54
東三河南部	447	8%	64	42	412	8%	59	42	35	9%	5.0	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 23-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,565,968		1,232	(497)			85	(101)			1,317	(557)
愛知県	67,780	4.3%	906	43	4,560	4.2%	61	48	72,340	4.3%	967	44
名古屋	25,063	37%	1,092	47	1,428	31%	62	48	26,491	37%	1,154	47
海部	2,391	4%	726	40	183	4%	56	47	2,574	4%	782	40
尾張中部	730	1%	438	34	85	2%	51	47	815	1%	489	35
尾張東部	5,809	9%	1,243	50	328	7%	70	49	6,137	8%	1,313	50
尾張西部	4,397	6%	849	42	382	8%	74	49	4,779	7%	923	43
尾張北部	5,927	9%	808	41	616	14%	84	50	6,543	9%	892	42
知多半島	3,963	6%	638	38	363	8%	58	47	4,326	6%	697	39
西三河北部	3,216	5%	664	39	184	4%	38	45	3,400	5%	702	39
西三河南部西	4,936	7%	715	40	340	7%	49	47	5,276	7%	765	40
西三河南部東	3,137	5%	746	40	138	3%	33	45	3,275	5%	779	40
東三河北部	482	1%	849	42	36	1%	63	48	518	1%	912	43
東三河南部	7,729	11%	1,103	47	477	10%	68	48	8,206	11%	1,171	47
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 23-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
愛知県	40,043	4.5%	535	43	14,588	4.4%	195	47	12,877	3.8%	172	46
名古屋	16,223	41%	707	50	4,164	29%	181	46	4,594	36%	200	47
海部	1,197	3%	364	35	702	5%	213	48	486	4%	148	45
尾張中部	314	1%	188	27	416	3%	250	50	0	0%	0	38
尾張東部	3,702	9%	792	54	781	5%	167	46	1,276	10%	273	50
尾張西部	2,728	7%	527	42	692	5%	134	44	953	7%	184	46
尾張北部	3,415	9%	466	40	1,363	9%	186	47	1,143	9%	156	45
知多半島	2,583	6%	416	37	403	3%	65	41	969	8%	156	45
西三河北部	1,929	5%	398	37	552	4%	114	43	729	6%	151	45
西三河南部西	2,926	7%	424	38	1,611	11%	233	49	393	3%	57	40
西三河南部東	1,452	4%	345	34	858	6%	204	47	771	6%	183	46
東三河北部	239	1%	421	38	243	2%	428	58	0	0%	0	38
東三河南部	3,335	8%	476	40	2,803	19%	400	57	1,563	12%	223	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 23-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
愛知県	3,872	5.3%	52	49	2,253	3.7%	30	45
名古屋	1,098	28%	48	48	835	37%	36	46
海部	252	7%	77	54	108	5%	33	45
尾張中部	100	3%	60	50	58	3%	35	46
尾張東部	40	1%	9	40	122	5%	26	44
尾張西部	350	9%	68	52	219	10%	42	47
尾張北部	396	10%	54	49	157	7%	21	43
知多半島	263	7%	42	47	150	7%	24	44
西三河北部	130	3%	27	43	117	5%	24	44
西三河南部西	539	14%	78	54	220	10%	32	45
西三河南部東	296	8%	70	53	12	1%	3	40
東三河北部	0	0%	0	38	59	3%	104	58
東三河南部	408	11%	58	50	196	9%	28	45
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 23-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
愛知県	26,267	24,262	694	40,699	15,962	12,785	60.3%	53	5.1%	48
名古屋	10,879	9,573	422	14,202	6,825	3,484	58.4%	53	10.8%	51
海部	1,192	1,186	0	1,212	24	702	98.0%	69	0.0%	46
尾張中部	0	0	0	730	314	416	0.0%	29	0.0%	46
尾張東部	2,386	2,285	0	3,300	1,347	728	62.9%	54	0.0%	46
尾張西部	1,320	1,169	76	3,016	1,520	594	43.5%	46	11.3%	51
尾張北部	2,159	2,074	54	3,768	1,362	1,288	60.4%	53	4.0%	48
知多半島	2,037	2,004	15	1,855	569	317	77.9%	61	4.5%	48
西三河北部	1,026	918	102	2,127	1,011	387	47.6%	48	20.9%	55
西三河南部西	1,469	1,469	0	3,370	1,535	1,436	48.9%	49	0.0%	46
西三河南部東	1,096	1,040	0	1,919	397	751	72.4%	58	0.0%	46
東三河北部	239	239	0	220	60	160	79.9%	61	0.0%	46
東三河南部	2,464	2,305	25	4,980	998	2,522	69.8%	57	1.0%	47
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 23-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
愛知県	126,288	4.5%	1,688	45	60,552	5.9%	809	50
名古屋	50,748	40%	2,211	50	19,668	32%	857	52
海部	3,804	3%	1,156	40	2,172	4%	660	45
尾張中部	432	0%	259	31	0	0%	0	22
尾張東部	14,352	11%	3,071	58	3,228	5%	691	46
尾張西部	8,928	7%	1,724	45	4,848	8%	936	55
尾張北部	12,300	10%	1,677	45	5,436	9%	741	48
知多半島	6,312	5%	1,017	38	3,408	6%	549	41
西三河北部	5,256	4%	1,085	39	5,028	8%	1,038	58
西三河南部西	11,028	9%	1,598	44	7,968	13%	1,155	62
西三河南部東	2,400	2%	571	34	3,384	6%	805	50
東三河北部	156	0%	275	31	0	0%	0	22
東三河南部	10,572	8%	1,509	43	5,412	9%	772	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 23-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
愛知県	17,508	5.1%	234	46	10,564	4.9%	141	46	6,944	5.3%	93	47
名古屋	7,270	42%	317	55	4,418	42%	192	54	2,852	41%	124	57
海部	574	3%	174	39	318	3%	97	39	256	4%	78	42
尾張中部	169	1%	102	31	62	1%	37	30	107	2%	64	38
尾張東部	1,827	10%	391	63	1,409	13%	301	70	418	6%	89	46
尾張西部	1,047	6%	202	42	626	6%	121	43	421	6%	81	43
尾張北部	1,374	8%	187	40	772	7%	105	40	602	9%	82	43
知多半島	1,037	6%	167	38	544	5%	88	38	492	7%	79	42
西三河北部	880	5%	182	40	513	5%	106	40	367	5%	76	41
西三河南部西	1,248	7%	181	40	776	7%	112	41	472	7%	68	39
西三河南部東	646	4%	154	37	328	3%	78	36	318	5%	76	41
東三河北部	85	0%	150	36	43	0%	76	36	42	1%	74	41
東三河南部	1,352	8%	193	41	756	7%	108	41	596	9%	85	44
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 23-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
愛知県	774	4.9%	10.3	47	634	5.1%	8.5	47	577	5.5%	7.7	49
名古屋	348	45%	15.2	54	268	42%	11.7	54	289	50%	12.6	62
海部	27	3%	8.2	44	14	2%	4.3	38	9	2%	2.7	35
尾張中部	11	1%	6.6	41	6	1%	3.6	36	0	0%	0	28
尾張東部	74	10%	15.8	55	55	9%	11.8	54	45	8%	9.6	54
尾張西部	57	7%	11.0	48	38	6%	7.3	44	31	5%	6.0	44
尾張北部	63	8%	8.6	44	49	8%	6.7	43	40	7%	5.5	43
知多半島	37	5%	6.0	40	56	9%	9.0	48	31	5%	5.0	41
西三河北部	33	4%	6.8	42	29	5%	6.0	41	26	5%	5.4	42
西三河南部西	29	4%	4.2	37	35	6%	5.1	39	34	6%	4.9	41
西三河南部東	34	4%	8.1	43	30	5%	7.1	44	25	4%	5.9	44
東三河北部	5	1%	8.8	45	2	0%	3.5	36	1	0%	1.8	33
東三河南部	56	7%	8.0	43	52	8%	7.4	45	46	8%	6.6	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

23.愛知県(2017年版)

資_図表 23-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
愛知県	292	5.5%	3.9	49	545	5.8%	7.3	50	446	6.0%	6.0	50
名古屋	118	40%	5.1	55	252	46%	11.0	62	187	42%	8.1	59
海部	15	5%	4.6	52	8	1%	2.4	34	9	2%	2.7	38
尾張中部	3	1%	1.8	39	6	1%	3.6	38	8	2%	4.8	46
尾張東部	28	10%	6.0	59	51	9%	10.9	61	42	9%	9.0	62
尾張西部	22	8%	4.2	50	32	6%	6.2	46	33	7%	6.4	52
尾張北部	25	9%	3.4	46	49	9%	6.7	48	31	7%	4.2	44
知多半島	18	6%	2.9	44	32	6%	5.2	43	30	7%	4.8	46
西三河北部	10	3%	2.1	40	21	4%	4.3	40	22	5%	4.5	45
西三河南部西	19	7%	2.8	43	39	7%	5.7	44	39	9%	5.7	49
西三河南部東	11	4%	2.6	43	21	4%	5.0	42	16	4%	3.8	42
東三河北部	1	0%	1.8	38	0	0%	0	26	0	0%	0	27
東三河南部	22	8%	3.1	45	34	6%	4.9	42	29	7%	4.1	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 23-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
愛知県	388	4.7%	5.2	46	972	4.8%	13.0	46	744	4.8%	9.9	45
名古屋	176	45%	7.7	53	448	46%	19.5	55	332	45%	14.5	55
海部	10	3%	3.0	40	20	2%	6.1	35	25	3%	7.6	40
尾張中部	2	1%	1.2	35	10	1%	6.0	35	8	1%	4.8	34
尾張東部	33	9%	7.1	52	102	10%	21.8	58	64	9%	13.7	54
尾張西部	15	4%	2.9	40	67	7%	12.9	45	39	5%	7.5	40
尾張北部	26	7%	3.5	41	75	8%	10.2	42	56	8%	7.6	40
知多半島	24	6%	3.9	42	43	4%	6.9	37	52	7%	8.4	42
西三河北部	23	6%	4.7	45	42	4%	8.7	39	35	5%	7.2	39
西三河南部西	29	7%	4.2	43	67	7%	9.7	41	38	5%	5.5	35
西三河南部東	23	6%	5.5	47	33	3%	7.8	38	31	4%	7.4	39
東三河北部	1	0%	1.8	36	4	0%	7.0	37	1	0%	1.8	27
東三河南部	26	7%	3.7	42	61	6%	8.7	39	63	8%	9.0	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 23-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
愛知県	280	4.9%	3.7	46	293	4.6%	3.9	45	208	3.9%	2.8	45
名古屋	114	41%	5.0	52	124	42%	5.4	52	100	48%	4.4	51
海部	7	3%	2.1	38	9	3%	2.7	40	10	5%	3.0	46
尾張中部	3	1%	1.8	37	2	1%	1.2	34	1	0%	0.6	38
尾張東部	28	10%	6.0	57	31	11%	6.6	57	30	14%	6.4	58
尾張西部	15	5%	2.9	42	22	8%	4.2	47	10	5%	1.9	42
尾張北部	17	6%	2.3	39	20	7%	2.7	40	8	4%	1.1	39
知多半島	18	6%	2.9	42	17	6%	2.7	40	7	3%	1.1	39
西三河北部	10	4%	2.1	38	10	3%	2.1	37	4	2%	0.8	38
西三河南部西	24	9%	3.5	45	24	8%	3.5	43	17	8%	2.5	44
西三河南部東	11	4%	2.6	41	3	1%	0.7	32	9	4%	2.1	43
東三河北部	3	1%	5.3	54	2	1%	3.5	44	1	0%	1.8	42
東三河南部	30	11%	4.3	49	29	10%	4.1	46	11	5%	1.6	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 23-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
愛知県	262	4.0%	3.5	44	84	5.5%	1.1	49	134	4.1%	1.8	45
名古屋	128	49%	5.6	51	38	45%	1.7	55	57	43%	2.5	49
海部	4	2%	1.2	37	3	4%	0.9	47	4	3%	1.2	42
尾張中部	1	0%	0.6	35	0	0%	0	37	0	0%	0	35
尾張東部	25	10%	5.3	51	11	13%	2.4	63	23	17%	4.9	64
尾張西部	13	5%	2.5	41	5	6%	1.0	47	9	7%	1.7	45
尾張北部	27	10%	3.7	45	7	8%	1.0	47	10	7%	1.4	43
知多半島	10	4%	1.6	38	3	4%	0.5	42	9	7%	1.4	43
西三河北部	8	3%	1.7	38	3	4%	0.6	43	8	6%	1.7	44
西三河南部西	17	6%	2.5	41	6	7%	0.9	46	6	4%	0.9	40
西三河南部東	6	2%	1.4	38	2	2%	0.5	42	4	3%	1.0	40
東三河北部	1	0%	1.8	39	0	0%	0	37	0	0%	0	35
東三河南部	22	8%	3.1	43	6	7%	0.9	46	4	3%	0.6	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

23.愛知県(2017年版)

資_図表 23-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
愛知県	70	3.5%	0.9	45	115	4.9%	1.5	47
名古屋	22	31%	1.0	45	47	41%	2.0	51
海部	3	4%	0.9	44	5	4%	1.5	47
尾張中部	0	0%	0	37	3	3%	1.8	50
尾張東部	13	19%	2.8	60	14	12%	3.0	59
尾張西部	3	4%	0.6	42	7	6%	1.4	46
尾張北部	8	11%	1.1	46	7	6%	1.0	43
知多半島	7	10%	1.1	46	6	5%	1.0	43
西三河北部	3	4%	0.6	42	5	4%	1.0	44
西三河南部西	4	6%	0.6	42	9	8%	1.3	46
西三河南部東	2	3%	0.5	41	5	4%	1.2	45
東三河北部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
東三河南部	5	7%	0.7	43	7	6%	1.0	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 23-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
愛知県	54,902	4.9%	734	45	43,448	4.7%	581	44	11,455	5.8%	153	50
名古屋	20,173	37%	879	50	16,377	38%	713	50	3,797	33%	165	51
海部	1,840	3%	559	39	1,411	3%	429	38	429	4%	130	47
尾張中部	513	1%	308	30	379	1%	227	29	135	1%	81	40
尾張東部	4,639	8%	993	54	4,046	9%	866	56	593	5%	127	46
尾張西部	3,726	7%	720	45	3,009	7%	581	44	717	6%	139	48
尾張北部	4,982	9%	679	43	3,869	9%	528	42	1,113	10%	152	50
知多半島	3,430	6%	552	39	2,502	6%	403	37	928	8%	149	49
西三河北部	2,960	5%	611	41	2,278	5%	470	40	682	6%	141	48
西三河南部西	4,550	8%	659	42	3,413	8%	495	41	1,137	10%	165	51
西三河南部東	2,276	4%	541	38	1,723	4%	410	37	553	5%	131	47
東三河北部	318	1%	561	39	245	1%	431	38	73	1%	129	46
東三河南部	5,495	10%	784	47	4,196	10%	599	45	1,299	11%	185	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 23-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
愛知県	5,762	4.6%	77	46	14,056	4.9%	188	46
名古屋	1,962	34%	85	47	6,004	43%	262	54
海部	258	4%	78	46	423	3%	129	39
尾張中部	103	2%	62	43	197	1%	118	38
尾張東部	317	6%	68	44	983	7%	210	48
尾張西部	481	8%	93	49	808	6%	156	42
尾張北部	507	9%	69	44	1,123	8%	153	42
知多半島	352	6%	57	42	868	6%	140	40
西三河北部	264	5%	54	42	702	5%	145	41
西三河南部西	624	11%	90	48	1,020	7%	148	41
西三河南部東	303	5%	72	45	692	5%	165	43
東三河北部	25	0%	44	40	80	1%	141	41
東三河南部	567	10%	81	47	1,156	8%	165	43
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 23-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
愛知県	747	5.6%	0.9	53	41	3.4%	0.1	46	618	5.9%	0.8	56
名古屋	300	40%	1.2	58	22	54%	0.1	52	275	44%	1.1	71
海部	30	4%	0.8	50	2	5%	0.1	47	17	3%	0.5	41
尾張中部	15	2%	0.9	52	2	5%	0.1	57	14	2%	0.8	60
尾張東部	56	7%	1.2	58	3	7%	0.1	48	38	6%	0.8	58
尾張西部	54	7%	0.9	52	2	5%	0.0	43	50	8%	0.8	60
尾張北部	75	10%	1.0	53	2	5%	0.0	42	48	8%	0.6	49
知多半島	60	8%	0.9	52	1	2%	0.0	40	48	8%	0.7	54
西三河北部	27	4%	0.7	47	2	5%	0.1	46	24	4%	0.6	48
西三河南部西	44	6%	0.7	47	3	7%	0.0	45	34	6%	0.5	44
西三河南部東	31	4%	0.8	49	0	0%	0	38	28	5%	0.7	53
東三河北部	2	0%	0.2	35	0	0%	0	38	4	1%	0.4	36
東三河南部	53	7%	0.7	46	2	5%	0.0	42	38	6%	0.5	41
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 23-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
愛知県	73,810	4.4%	93	43	45,346	4.6%	57	46	28,464	4.2%	36	46
名古屋	27,713	38%	107	52	15,543	34%	60	49	12,170	43%	47	53
海部	3,485	5%	93	44	2,405	5%	64	52	1,080	4%	29	42
尾張中部	1,526	2%	92	43	828	2%	50	40	698	2%	42	50
尾張東部	4,603	6%	97	46	2,690	6%	57	46	1,913	7%	40	49
尾張西部	4,783	6%	80	36	3,091	7%	52	42	1,692	6%	28	41
尾張北部	5,737	8%	74	32	4,018	9%	52	42	1,719	6%	22	37
知多半島	6,420	9%	98	46	4,149	9%	63	51	2,271	8%	35	45
西三河北部	3,235	4%	82	37	2,224	5%	56	46	1,011	4%	26	39
西三河南部西	5,452	7%	84	38	3,461	8%	53	43	1,991	7%	31	43
西三河南部東	3,368	5%	85	39	1,932	4%	49	40	1,436	5%	36	46
東三河北部	1,021	1%	93	44	706	2%	64	52	315	1%	29	41
東三河南部	6,467	9%	80	36	4,299	9%	53	43	2,168	8%	27	40
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 23-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
愛知県	18,161	5.0%	23	50	25,019	4.4%	31	46	2,166	3.4%	2.7	47
名古屋	6,958	38%	27	57	8,057	32%	31	46	528	24%	2.0	45
海部	952	5%	25	55	1,239	5%	33	48	214	10%	5.7	54
尾張中部	292	2%	18	41	436	2%	26	41	100	5%	6.0	55
尾張東部	1,101	6%	23	51	1,460	6%	31	46	129	6%	2.7	47
尾張西部	1,185	7%	20	45	1,884	8%	32	47	22	1%	0.4	41
尾張北部	1,417	8%	18	42	2,553	10%	33	48	48	2%	0.6	42
知多半島	1,627	9%	25	54	2,422	10%	37	52	100	5%	1.5	44
西三河北部	810	4%	21	46	1,351	5%	34	49	63	3%	1.6	44
西三河南部西	1,495	8%	23	51	1,864	7%	29	44	102	5%	1.6	44
西三河南部東	696	4%	18	41	1,129	5%	29	43	107	5%	2.7	47
東三河北部	233	1%	21	48	323	1%	29	44	150	7%	13.7	74
東三河南部	1,395	8%	17	41	2,301	9%	29	44	603	28%	7.5	59
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 23-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
愛知県	10,697	4.6%	13.4	49	852	3.7%	1.1	48	8,361	4.3%	10.5	47
名古屋	5,656	53%	21.9	57	20	2%	0.1	44	3,092	37%	12.0	50
海部	175	2%	4.7	41	200	23%	5.4	69	341	4%	9.1	45
尾張中部	362	3%	21.7	57	0	0%	0	43	126	2%	7.6	42
尾張東部	863	8%	18.2	54	150	18%	3.2	58	393	5%	8.3	43
尾張西部	412	4%	6.9	43	142	17%	2.4	54	581	7%	9.8	46
尾張北部	627	6%	8.1	44	50	6%	0.6	46	711	9%	9.1	45
知多半島	968	9%	14.7	50	0	0%	0	43	729	9%	11.1	48
西三河北部	330	3%	8.4	45	0	0%	0	43	456	5%	11.6	49
西三河南部西	214	2%	3.3	40	110	13%	1.7	51	546	7%	8.4	44
西三河南部東	542	5%	13.7	49	30	4%	0.8	47	378	5%	9.6	46
東三河北部	52	0%	4.7	41	0	0%	0	43	198	2%	18.1	60
東三河南部	496	5%	6.2	43	150	18%	1.9	52	810	10%	10.1	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 23-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア			サ高住(特定施設)	全国シェア			サ高住(非特定施設)	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
愛知県	8,554	3.7%	10.7	45	12	0.1%	0.0	44	8,542	3.9%	10.7	46
名古屋	3,402	40%	13.2	48	0	0%	0	44	3,402	40%	13.2	50
海部	364	4%	9.7	43	0	0%	0	44	364	4%	9.7	44
尾張中部	210	2%	12.6	47	12	100%	0.7	49	198	2%	11.9	48
尾張東部	507	6%	10.7	45	0	0%	0	44	507	6%	10.7	46
尾張西部	557	7%	9.4	43	0	0%	0	44	557	7%	9.4	44
尾張北部	331	4%	4.3	36	0	0%	0	44	331	4%	4.3	36
知多半島	574	7%	8.7	42	0	0%	0	44	574	7%	8.7	43
西三河北部	225	3%	5.7	38	0	0%	0	44	225	3%	5.7	38
西三河南部西	1,121	13%	17.3	54	0	0%	0	44	1,121	13%	17.3	56
西三河南部東	486	6%	12.3	47	0	0%	0	44	486	6%	12.3	48
東三河北部	65	1%	5.9	38	0	0%	0	44	65	1%	5.9	39
東三河南部	712	8%	8.9	42	0	0%	0	44	712	8%	8.9	43
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 23-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
					看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
愛知県	8,148	4.9%	10.2	50	5,329	4.5%	6.7	47	2,820	6.1%	3.5	57
名古屋	3,231	40%	12.5	60	1,835	34%	7.1	49	1,397	50%	5.4	76
海部	362	4%	9.7	48	293	5%	7.8	52	69	2%	1.8	39
尾張中部	161	2%	9.7	48	116	2%	7.0	48	45	2%	2.7	48
尾張東部	509	6%	10.7	52	352	7%	7.4	50	157	6%	3.3	55
尾張西部	563	7%	9.5	47	337	6%	5.7	42	226	8%	3.8	60
尾張北部	570	7%	7.3	37	375	7%	4.8	37	195	7%	2.5	46
知多半島	643	8%	9.8	48	443	8%	6.7	47	200	7%	3.0	52
西三河北部	377	5%	9.6	47	288	5%	7.3	50	89	3%	2.2	44
西三河南部西	544	7%	8.4	42	391	7%	6.0	43	153	5%	2.4	45
西三河南部東	364	4%	9.2	46	253	5%	6.4	45	111	4%	2.8	49
東三河北部	101	1%	9.2	45	89	2%	8.1	53	12	0%	1.1	31
東三河南部	724	9%	9.0	45	557	10%	6.9	48	167	6%	2.1	42
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 23-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
					介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
愛知県	65,586	4.5%	82	43	54,007	4.4%	68	42	11,579	5.2%	14.5	51
名古屋	24,220	37%	94	53	18,279	34%	71	45	5,941	51%	23.0	66
海部	2,921	4%	78	40	2,600	5%	70	44	320	3%	8.6	41
尾張中部	1,336	2%	80	42	1,168	2%	70	44	168	1%	10.1	43
尾張東部	3,730	6%	79	41	2,958	5%	62	38	772	7%	16.3	54
尾張西部	4,750	7%	80	41	3,918	7%	66	41	832	7%	14.0	50
尾張北部	6,143	9%	79	41	5,181	10%	67	41	963	8%	12.4	47
知多半島	5,227	8%	80	41	4,650	9%	71	45	577	5%	8.8	41
西三河北部	2,803	4%	71	35	2,495	5%	63	39	308	3%	7.8	39
西三河南部西	4,734	7%	73	36	4,127	8%	64	39	606	5%	9.3	42
西三河南部東	2,938	4%	74	37	2,593	5%	66	41	345	3%	8.7	41
東三河北部	827	1%	75	38	766	1%	70	44	60	1%	5.5	35
東三河南部	5,957	9%	74	37	5,271	10%	66	41	686	6%	8.5	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 23-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
愛知県	58,187	5.4%	73	52	22,974	5.1%	29	51	65,508	4.4%	82	47
名古屋	31,285	54%	121	67	10,890	47%	42	62	30,330	46%	117	58
海部	1,025	2%	27	38	482	2%	13	37	2,232	3%	60	40
尾張中部	688	1%	41	42	177	1%	11	35	872	1%	52	38
尾張東部	4,596	8%	97	60	1,844	8%	39	59	4,135	6%	87	49
尾張西部	2,889	5%	49	44	1,909	8%	32	53	4,164	6%	70	43
尾張北部	5,800	10%	75	53	1,749	8%	22	45	5,418	8%	70	43
知多半島	3,059	5%	47	44	1,890	8%	29	51	4,981	8%	76	45
西三河北部	1,548	3%	39	41	787	3%	20	43	2,028	3%	51	37
西三河南部西	2,565	4%	40	41	1,150	5%	18	41	3,766	6%	58	39
西三河南部東	1,176	2%	30	38	844	4%	21	44	2,666	4%	67	42
東三河北部	167	0%	15	34	74	0%	7	32	377	1%	34	32
東三河南部	3,389	6%	42	42	1,178	5%	15	39	4,539	7%	56	39

出典 平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 23-28 総人口の推移と医療需要⁸⁾の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
愛知県		7,254,704	7,483,128	3%	7,348,135	1%	17%	8%	26%
名古屋	大都市型	2,215,062	2,295,638	4%	2,247,647	1%	15%	9%	26%
海部	地方都市型	328,605	329,158	0%	315,544	-4%	17%	4%	22%
尾張中部	大都市型	155,001	166,637	8%	166,044	7%	23%	7%	31%
尾張東部	大都市型	443,072	467,393	5%	474,542	7%	21%	11%	35%
尾張西部	大都市型	508,652	517,735	2%	494,710	-3%	17%	4%	22%
尾張北部	大都市型	718,396	733,279	2%	718,415	0%	19%	8%	28%
知多半島	地方都市型	596,891	620,905	4%	612,917	3%	18%	7%	26%
西三河北部	地方都市型	468,393	484,352	3%	492,104	5%	19%	13%	35%
西三河南部西	地方都市型	654,460	689,978	5%	685,700	5%	17%	8%	27%
西三河南部東	地方都市型	399,403	420,600	5%	414,317	4%	18%	9%	29%
東三河北部	過疎地域型	64,348	56,788	-12%	50,004	-22%	-2%	-3%	-5%
東三河南部	地方都市型	702,421	700,665	0%	676,191	-4%	12%	6%	19%

出典 <人口(2005年)> 平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)
<人口(2015年)> 平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年)> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

23.愛知県(2017年版)

資_図表 23-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
愛知県	353	4.9	44	321	4.3	44	-32	-9%	287
名古屋	141	6.4	48	129	5.6	47	-12	-9%	116
海部	12	3.7	41	10	3.0	41	-2	-17%	8
尾張中部	6	3.9	42	5	3.0	41	-1	-17%	4
尾張東部	19	4.3	43	19	4.1	44	0	0%	19
尾張西部	21	4.1	42	19	3.7	43	-2	-10%	17
尾張北部	25	3.5	41	24	3.3	42	-1	-4%	23
知多半島	19	3.2	40	19	3.1	41	0	0%	19
西三河北部	22	4.7	44	18	3.7	43	-4	-18%	14
西三河南部西	22	3.4	40	22	3.2	42	0	0%	22
西三河南部東	18	4.5	43	15	3.6	42	-3	-17%	12
東三河北部	6	9.3	56	6	10.6	59	0	0%	6
東三河南部	42	6.0	47	35	5.0	46	-7	-17%	27
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 23-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
愛知県	4,707	65	44	5,227	70	45	520	11%	5,799
名古屋	1,869	84	54	2,040	89	55	171	9%	2,228
海部	184	56	40	204	62	41	20	11%	226
尾張中部	78	50	37	92	55	37	14	18%	107
尾張東部	262	59	42	312	67	43	50	19%	367
尾張西部	291	57	41	324	63	41	33	11%	360
尾張北部	423	59	41	475	65	42	52	12%	532
知多半島	318	53	39	378	61	40	60	19%	444
西三河北部	215	46	35	260	54	36	45	21%	310
西三河南部西	338	52	38	387	56	38	49	14%	441
西三河南部東	232	58	41	251	60	40	19	8%	272
東三河北部	54	84	54	49	86	54	-5	-9%	44
東三河南部	443	63	44	455	65	42	12	3%	468
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 23-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
愛知県	13,295	183	47	15,927	213	47	2,632	20%	18,823
名古屋	5,895	266	56	7,008	305	56	1,113	19%	8,232
海部	351	107	38	449	136	38	98	28%	557
尾張中部	104	67	33	135	81	33	31	30%	169
尾張東部	1,417	320	63	1,798	385	65	381	27%	2,217
尾張西部	726	143	42	902	174	42	176	24%	1,096
尾張北部	934	130	40	1,148	157	41	214	23%	1,383
知多半島	740	124	40	871	140	39	131	18%	1,015
西三河北部	592	126	40	722	149	40	130	22%	865
西三河南部西	836	128	40	1,021	148	40	185	22%	1,225
西三河南部東	557	139	41	574	136	38	17	3%	593
東三河北部	86	134	41	75	132	38	-11	-13%	63
東三河南部	1,057	150	43	1,224	175	43	167	16%	1,408
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 23-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
愛知県	76,799	106	44	72,404	97	44	-4,395	-6%	67,571
名古屋	28,641	129	48	26,594	116	47	-2,047	-7%	24,342
海部	2,523	77	38	2,484	75	40	-39	-2%	2,441
尾張中部	759	49	33	815	49	35	56	7%	877
尾張東部	6,710	151	52	6,145	131	50	-565	-8%	5,524
尾張西部	5,010	98	42	4,815	93	43	-195	-4%	4,601
尾張北部	6,655	93	41	6,597	90	43	-58	-1%	6,533
知多半島	4,839	81	39	4,341	70	39	-498	-10%	3,793
西三河北部	3,637	78	39	3,414	70	39	-223	-6%	3,169
西三河南部西	4,929	75	38	5,276	76	40	347	7%	5,658
西三河南部東	3,494	87	40	3,124	74	40	-370	-11%	2,717
東三河北部	637	99	42	537	95	43	-100	-16%	427
東三河南部	8,965	128	47	8,262	118	47	-703	-8%	7,489
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 23-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
愛知県	48,556	67	44	44,631	60	43	-3,925	-8%	40,315	55
名古屋	19,527	88	52	17,641	77	49	-1,886	-10%	15,566	69
海部	1,306	40	34	1,355	41	36	49	4%	1,409	45
尾張中部	248	16	26	399	24	30	151	61%	565	34
尾張東部	4,431	100	56	4,038	86	53	-393	-9%	3,606	76
尾張西部	3,348	66	44	3,107	60	43	-241	-7%	2,842	57
尾張北部	3,971	55	40	4,000	55	41	29	1%	4,032	56
知多半島	3,413	57	41	2,948	47	39	-465	-14%	2,437	40
西三河北部	2,309	49	38	2,132	44	37	-177	-8%	1,937	39
西三河南部西	3,345	51	38	3,210	47	38	-135	-4%	3,062	45
西三河南部東	1,907	48	37	1,548	37	35	-359	-19%	1,153	28
東三河北部	404	63	43	330	58	43	-74	-18%	249	50
東三河南部	4,347	62	42	3,923	56	42	-424	-10%	3,457	51
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 23-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
愛知県	14,021	27	47	14,538	18	48	517	4%	15,106	13
名古屋	4,073	24	45	4,224	16	46	151	4%	4,390	12
海部	725	32	50	637	17	47	-88	-12%	540	10
尾張中部	511	54	63	416	25	53	-95	-19%	312	13
尾張東部	931	33	50	781	16	46	-150	-16%	616	8
尾張西部	597	17	41	731	12	43	134	22%	878	11
尾張北部	1,333	29	48	1,437	18	48	104	8%	1,551	13
知多半島	418	10	37	416	6	37	-2	0%	414	4
西三河北部	516	21	43	547	14	44	31	6%	581	9
西三河南部西	1,151	26	47	1,645	25	54	494	43%	2,188	24
西三河南部東	660	25	46	749	19	48	89	13%	847	14
東三河北部	233	24	45	207	19	48	-26	-11%	178	15
東三河南部	2,873	50	60	2,748	34	61	-125	-4%	2,611	23
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

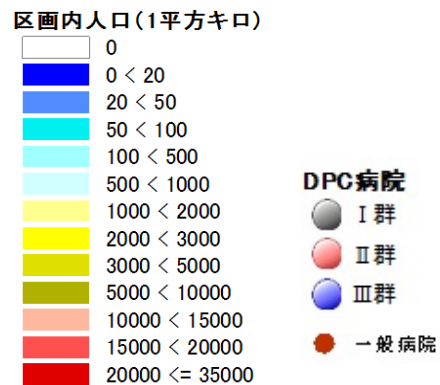
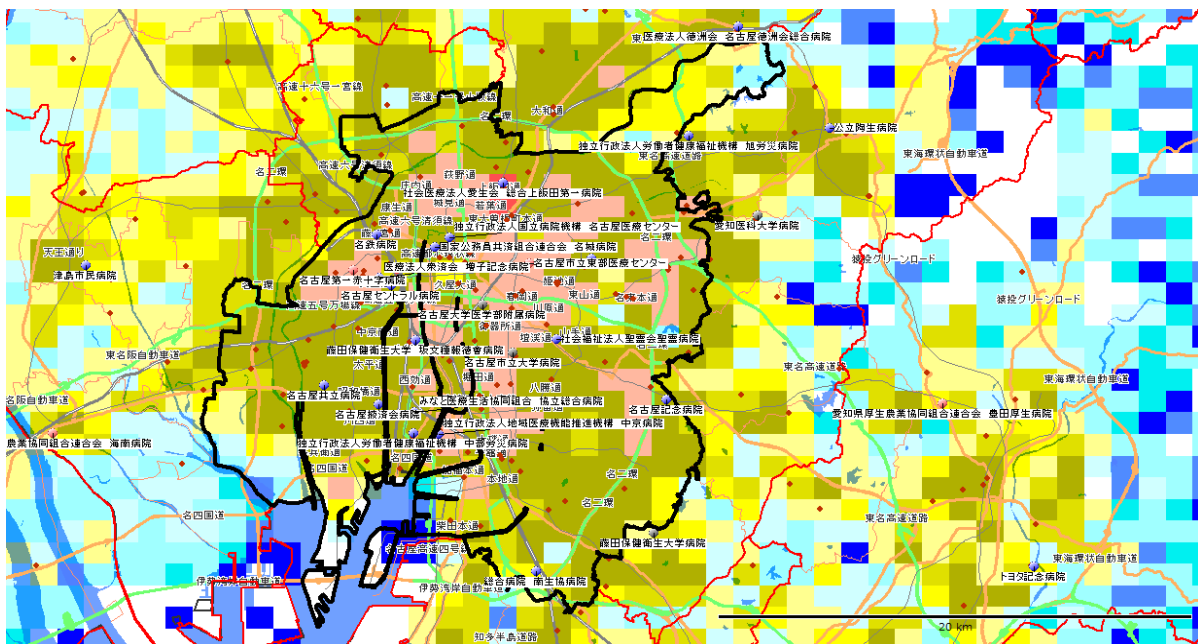
資_図表 23-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
愛知県	934	50	0.968	418	46	0.895	478	59	1.031
名古屋	1,000	55	1.042	448	49	0.959	510	67	1.109
海部	924	49	0.966	419	46	0.912	470	57	1.015
尾張中部	886	46	0.930	384	42	0.845	463	55	0.999
尾張東部	984	54	1.030	433	47	0.940	509	67	1.106
尾張西部	939	50	0.982	443	48	0.963	459	54	0.993
尾張北部	908	48	0.951	387	43	0.844	483	60	1.046
知多半島	868	45	0.906	364	40	0.785	467	56	1.015
西三河北部	911	48	0.936	416	46	0.882	461	55	0.983
西三河南部西	883	46	0.916	408	45	0.870	440	50	0.955
西三河南部東	870	45	0.895	364	40	0.766	472	57	1.016
東三河北部	740	34	0.763	329	37	0.676	384	36	0.853
東三河南部	902	47	0.931	429	47	0.906	442	50	0.957
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

23-1. なごや 名古屋医療圏

構成市区町村 ⁹	千種区	東区	北区	西区
	中村区	中区	昭和区	瑞穂区
	熱田区	中川区	港区	南区
	守山区	緑区	名東区	天白区

人口分布¹ (1km²区画単位)



(名古屋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 名古屋(名古屋市千種区)は、総人口約2296千人(2015年)、面積326km²、人口密度は7032人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 名古屋の総人口は2025年に2248千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に2088千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の258千人が、2025年にかけて377千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には397千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 名古屋の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値44)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費は低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 名古屋の一人当たり急性期医療密度指数²は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.75で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が55(病院医師数54、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。名古屋には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構名古屋医療センター(Ⅱ群・救命)、JCHO中京病院(Ⅲ群・救命)、愛知県がんセンター中央病院(Ⅲ群)、名古屋大学医学部附属病院(Ⅰ群)、名古屋市立大学病院(Ⅰ群・救命)、名古屋第二赤十字病院(Ⅱ群・救命)、名古屋第一赤十字病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の大同病院(Ⅲ群)、中部労災病院(Ⅲ群)、坂文種報徳會病院(Ⅲ群)、名古屋掖済会病院(Ⅲ群・救命)、名古屋市立西部医療センター(Ⅲ群)、総合上飯田第一病院(Ⅲ群)、名古屋市立東部医療センター(Ⅱ群)、500例以上の名古屋記念病院(Ⅲ群)、名城病院(Ⅲ群)、名古屋セントラル病院(Ⅲ群)、名鉄病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 名古屋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、27713人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が15543床(偏差値49)、高齢者住宅等が12170床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、18279人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム57、軽費ホーム44、グループホーム50、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、5941人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(名古屋医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

名古屋医療圏の総人口は、2005年2215062人が、2015年に2295638人と4%増加し、2025年の人口が2247647人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

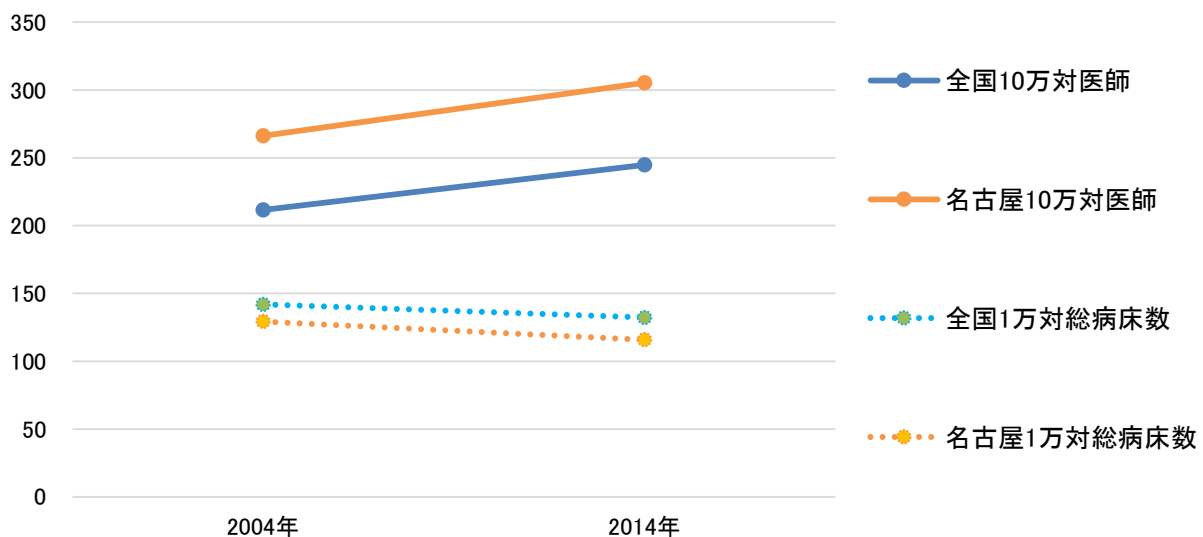
2004年の病院数が141(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に129(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が1869(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に2040(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、171診療所が増加した。

2004年の総病床数が28641床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に26594床(人口1万人当たり116(全国平均132)偏差値47)と、2047床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

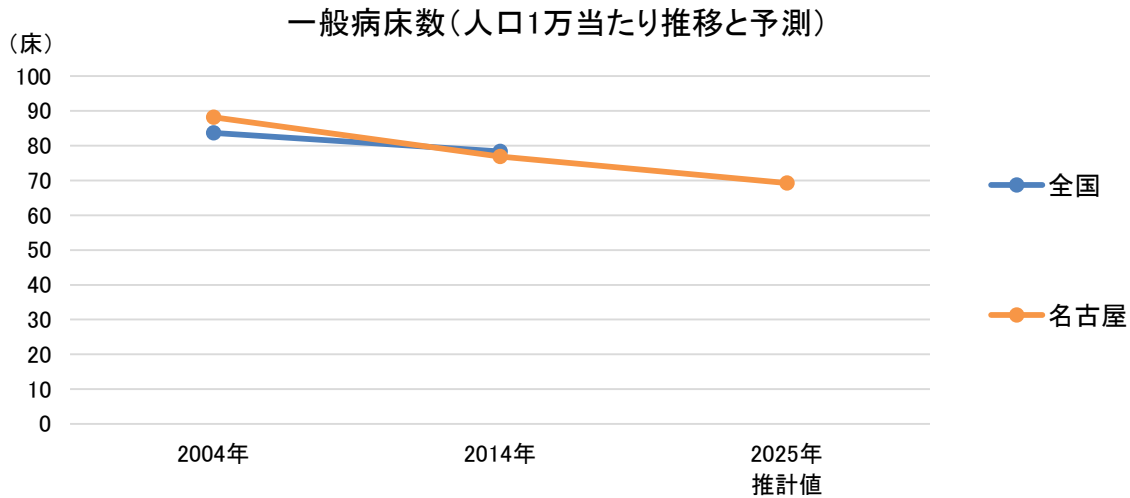
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が5895人(人口10万人当たり266人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に7008人(人口10万人当たり305人(全国平均245人)偏差値56)と、1113人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



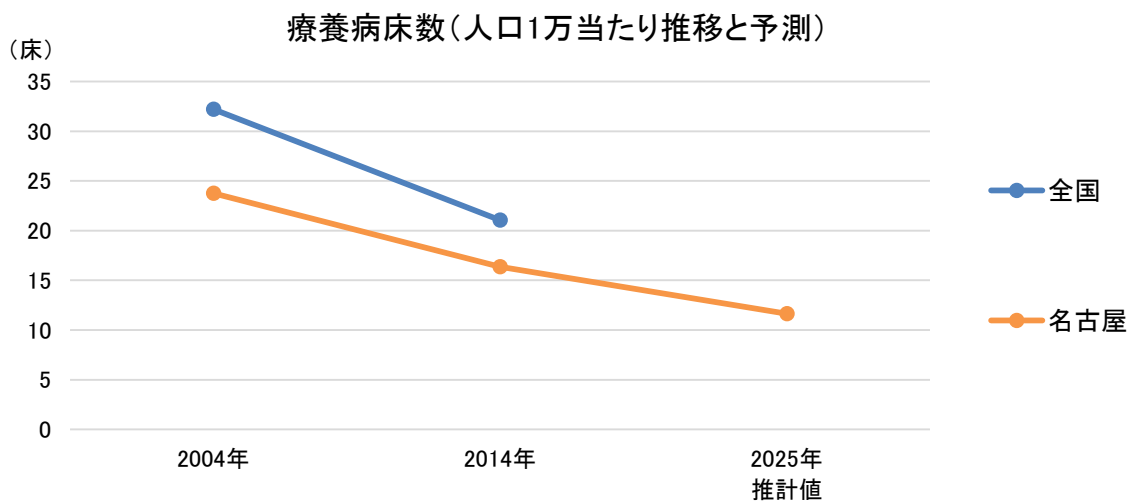
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が19527床(人口1万人当たり88(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に17641床(人口1万人当たり77(全国平均78)偏差値49)と、1886床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には15566床(2025年の推計人口1万人当たり69)になることが予想される。



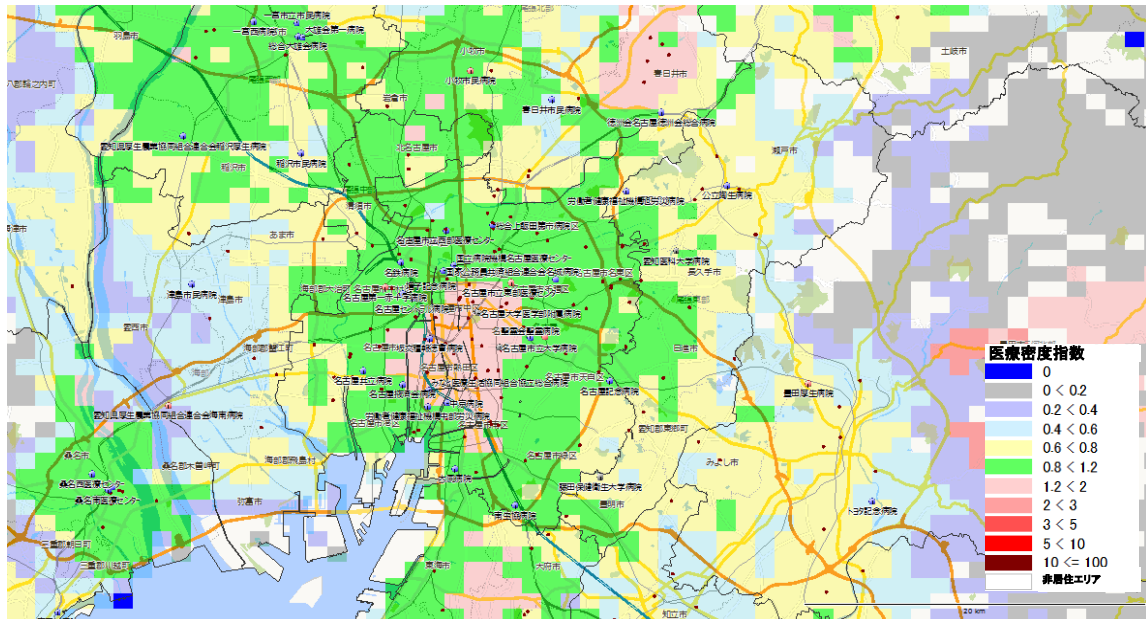
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4073床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に4224床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、151床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4390床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



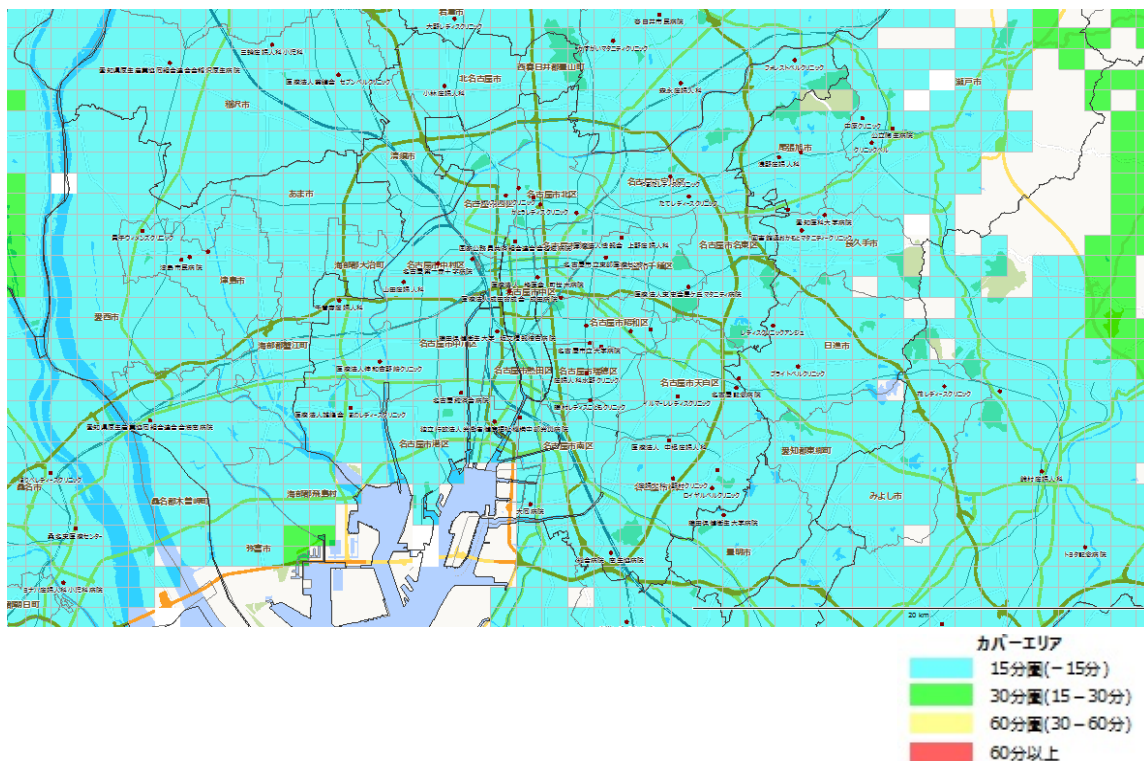
(名古屋医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

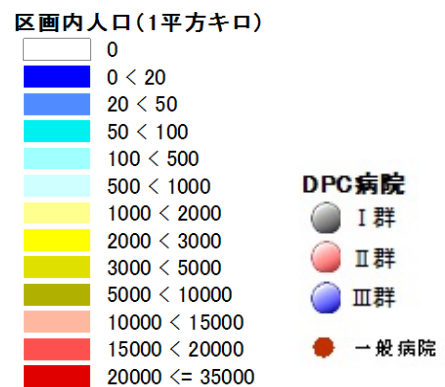
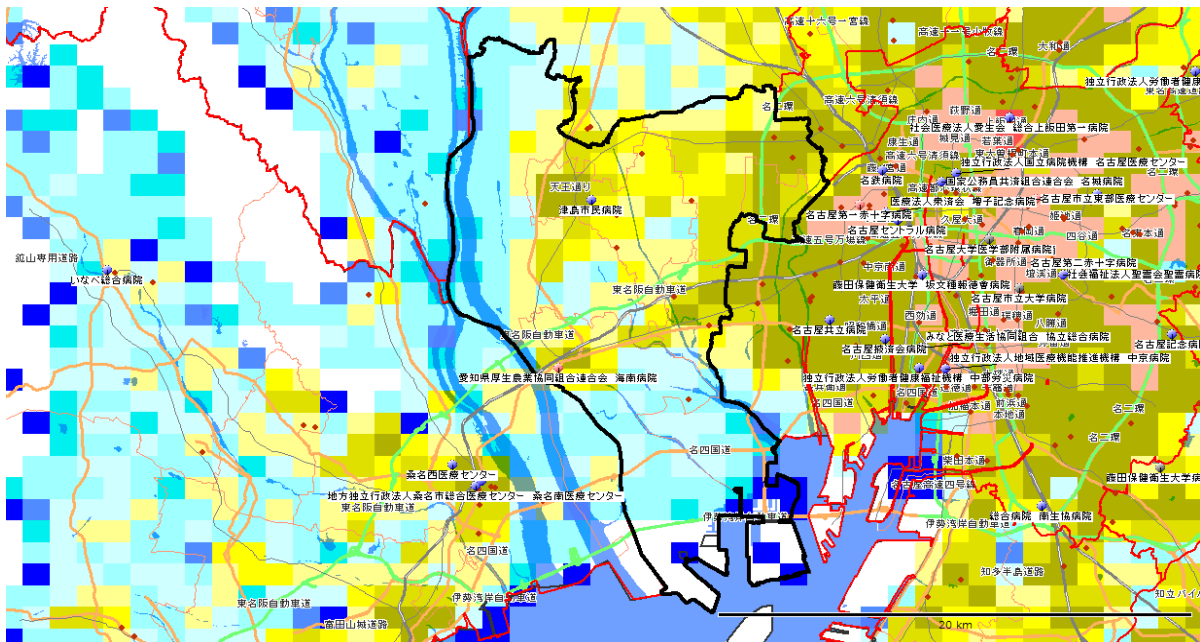
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



23-2. あま海部医療圏

構成市区町村⁹ [津島市](#) [愛西市](#) [弥富市](#) [あま市](#)
[大治町](#) [蟹江町](#) [飛島村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(海部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 海部(津島市)は、総人口約329千人(2015年)、面積208km²、人口密度は1580人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 海部の総人口は2025年に316千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に283千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて54千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には50千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 海部の一人当たり医療費(国保)は313千円(偏差値43)、介護給付費は206千円(偏差値37)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 海部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.51で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は35で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。海部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の海南病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の津島市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 海部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3485人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2405床(偏差値52)、高齢者住宅等が1080床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2600人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム41、軽費ホーム69、グループホーム45、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、320人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-41%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(海部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

海部医療圏の総人口は、2005年328605人が、2015年に329158人と1%未満増加し、2025年の人口が315544人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

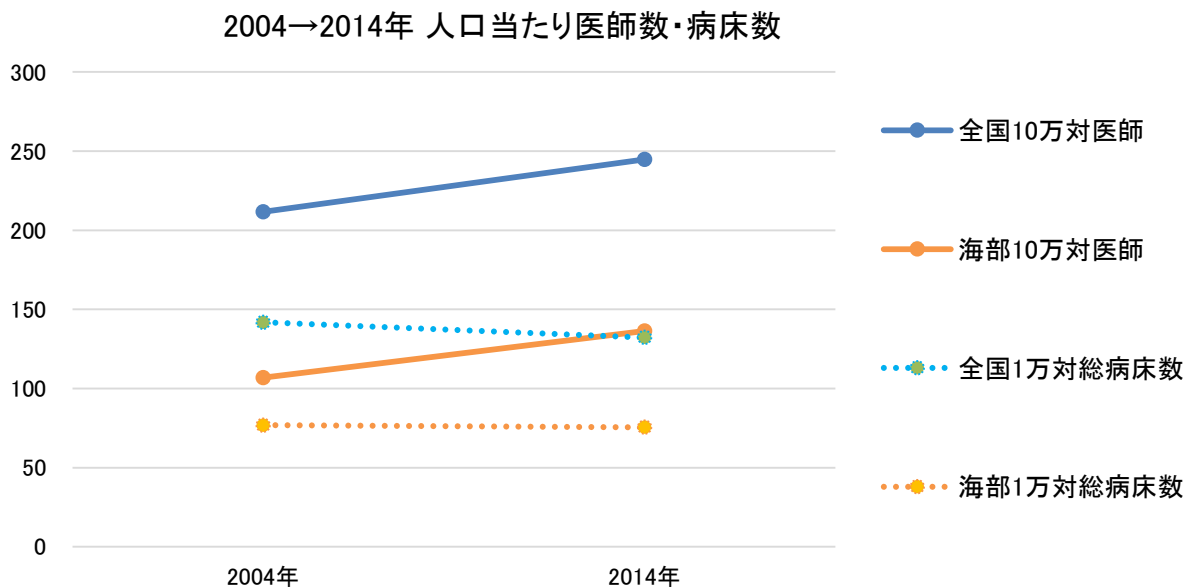
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に10(人口10万人当たり3病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が184(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に204(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、20診療所が増加した。

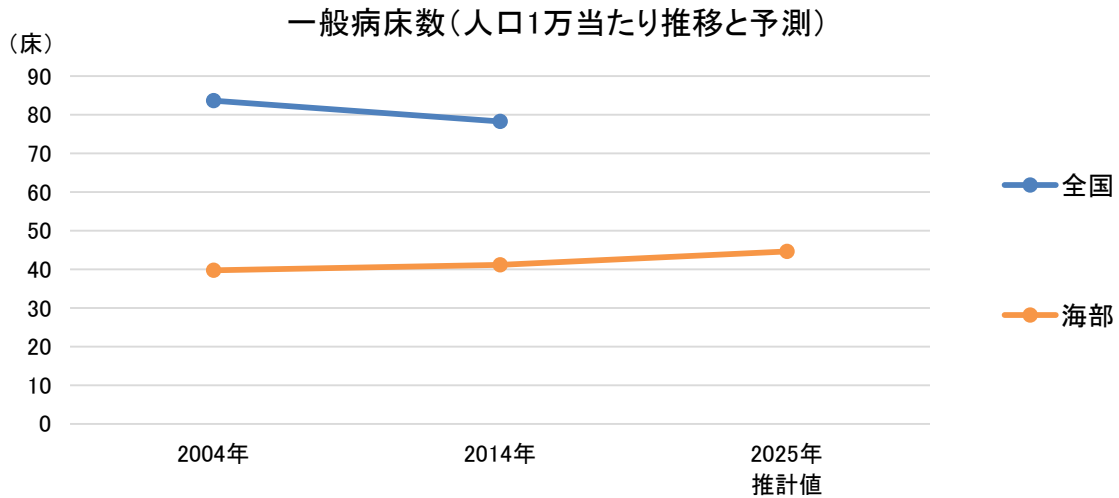
2004年の総病床数が2523床(人口1万人当たり77(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に2484床(人口1万人当たり75(全国平均132)偏差値40)と、39床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が351人(人口10万人当たり107人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2014年に449人(人口10万人当たり136人(全国平均245人)偏差値38)と、98人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



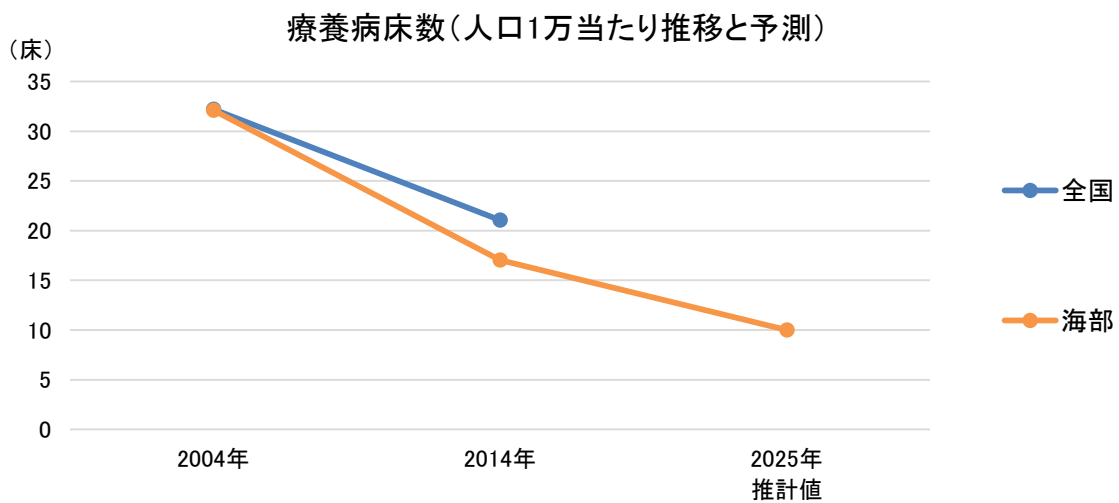
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1306床(人口1万人当たり40(全国平均84)偏差値34)であったが、2014年に1355床(人口1万人当たり41(全国平均78)偏差値36)と、49床の増加、率にして4%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1409床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



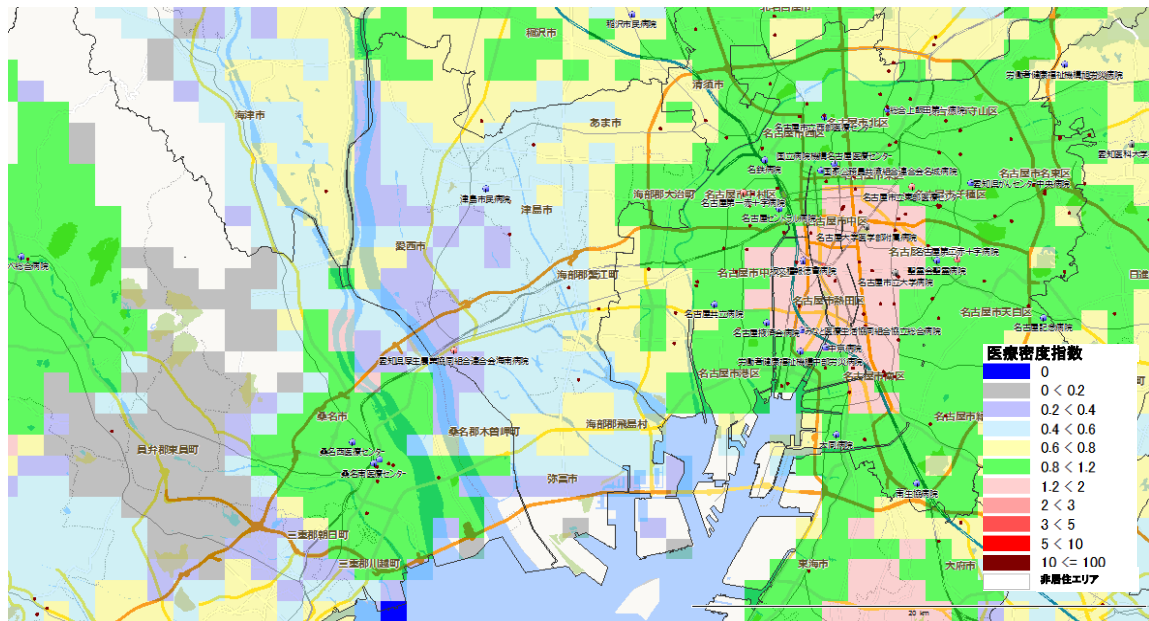
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が725床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に637床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、88床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には540床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



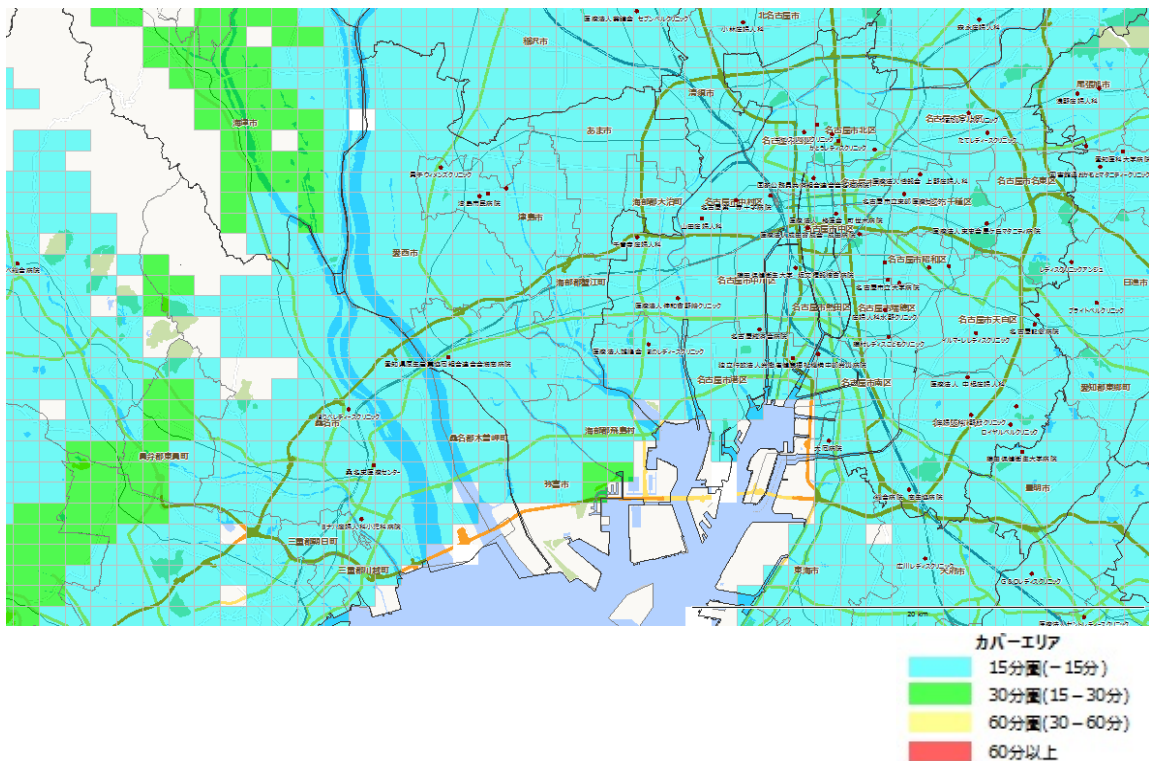
(海部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

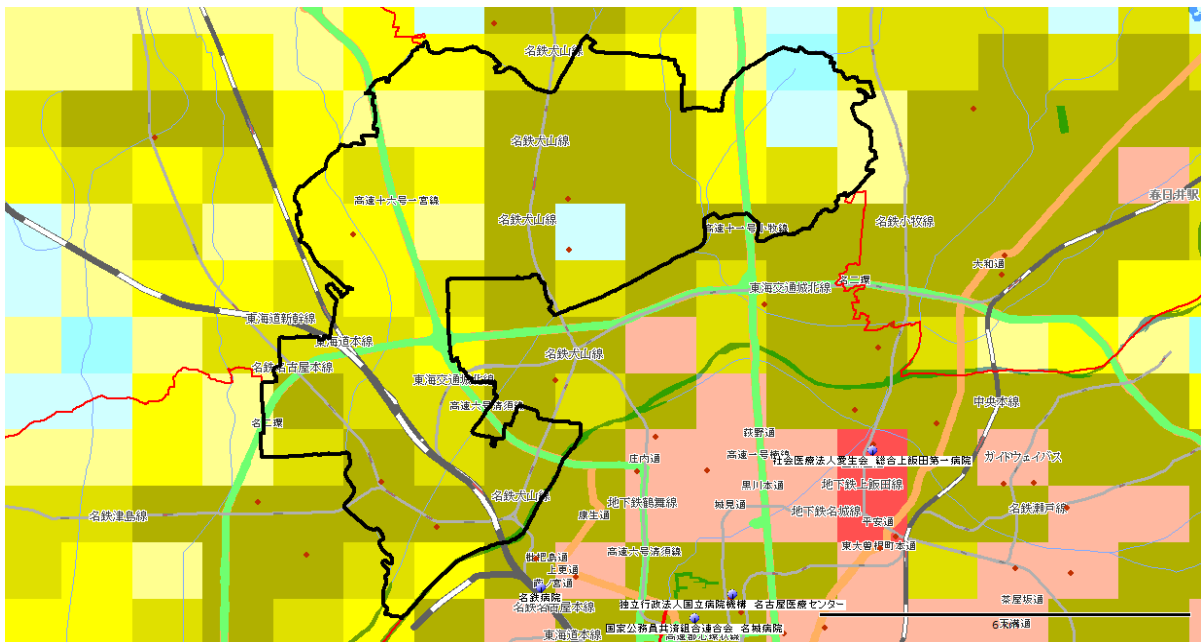
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



23-3. おわりちゅうぶ 尾張中部医療圏

構成市区町村⁹ [清須市](#) [北名古屋市](#) [豊山町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(尾張中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 尾張中部(清須市)は、総人口約167千人(2015年)、面積42km²、人口密度は3977人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 尾張中部の総人口は2025年に166千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に160千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+47%)、2040年には23千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 尾張中部の一人当たり医療費(国保)は303千円(偏差値41)、介護給付費は198千円(偏差値35)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 尾張中部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が31(病院医師数30、診療所医師数38)と、総医師数と病院医師数は非常に少なく、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は30と非常に少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は27で、一般病床数は非常に少ない。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。尾張中部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 尾張中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1526人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が828床(偏差値40)、高齢者住宅等が698床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1168人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム57、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム42、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、168人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-51%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(尾張中部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

尾張中部医療圏の総人口は、2005年155001人が、2015年に166637人と8%増加し、2025年の人口が166044人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

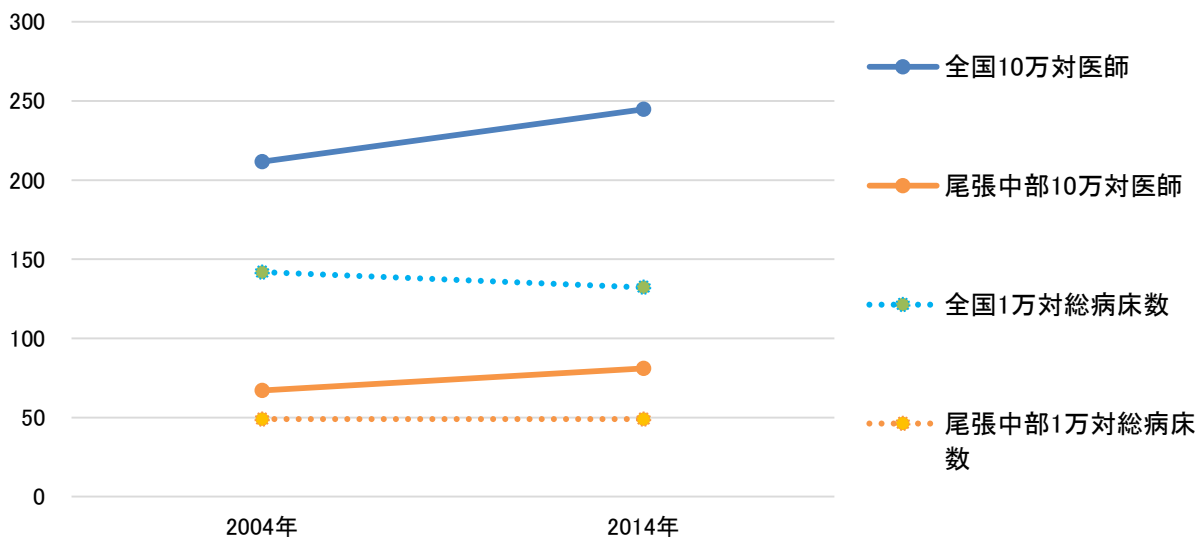
2004年の病院数が6(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に5(人口10万人当たり3病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり50診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2014年に92(人口10万人当たり55診療所(全国平均79)偏差値37)と、14診療所が増加した。

2004年の総病床数が759床(人口1万人当たり49(全国平均142)偏差値33)であったが、2014年に815床(人口1万人当たり49(全国平均132)偏差値35)と、56床の増加、率にして7%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

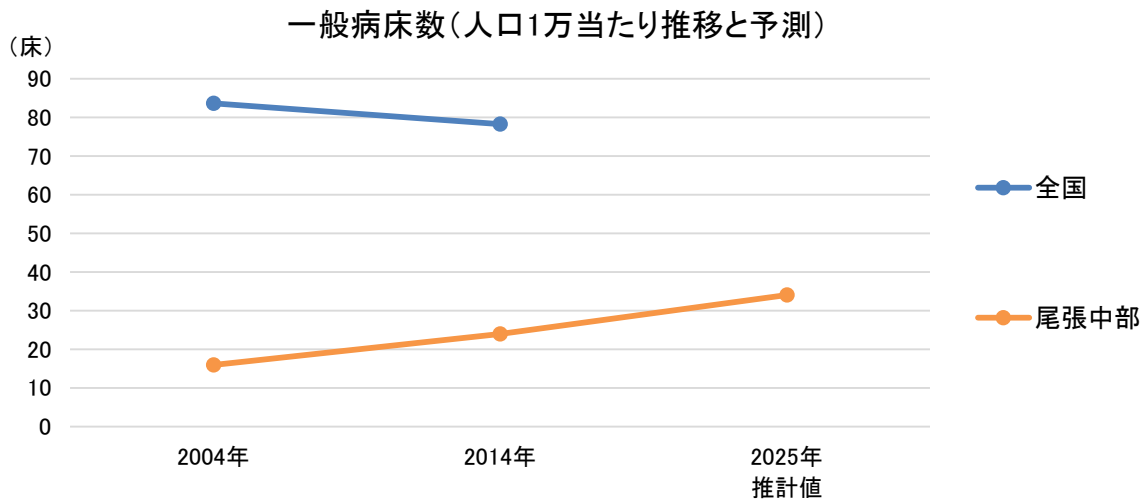
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が104人(人口10万人当たり67人(全国平均212人)偏差値33)であったが、2014年に135人(人口10万人当たり81人(全国平均245人)偏差値33)と、31人の増加、率にして30%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



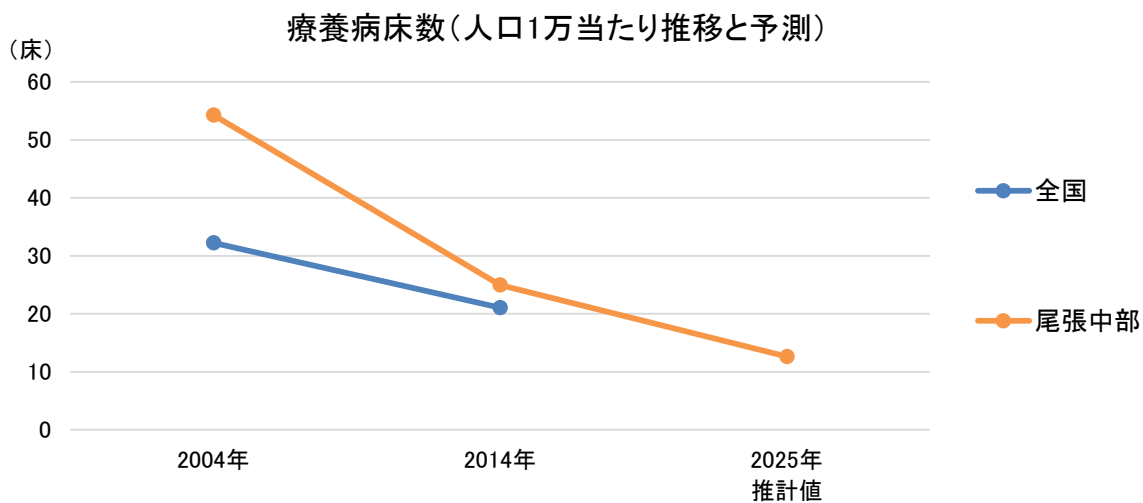
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が248床(人口1万人当たり16(全国平均84)偏差値26)であったが、2014年に399床(人口1万人当たり24(全国平均78)偏差値30)と、151床の増加、率にして61%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には565床(2025年の推計人口1万人当たり34)になることが予想される。



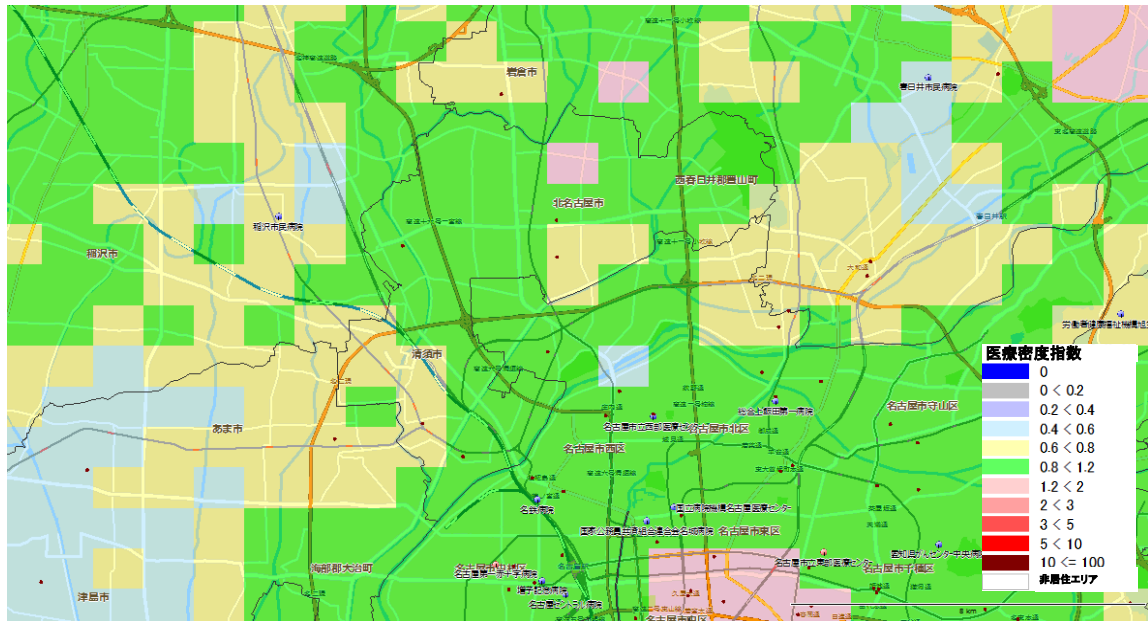
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が511床(75歳以上1000人当たり54(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に416床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、95床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には312床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



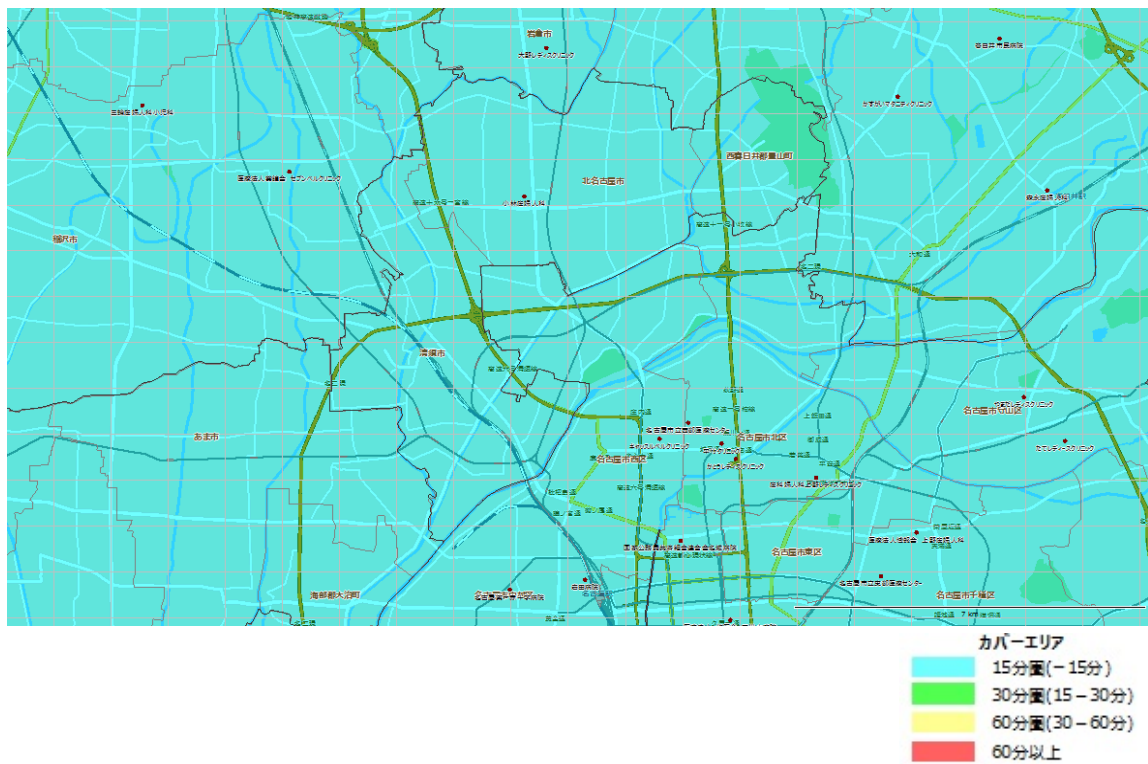
(尾張中部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

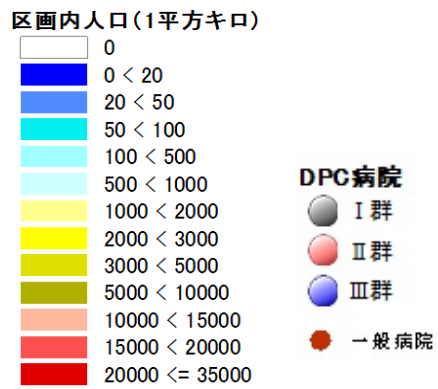
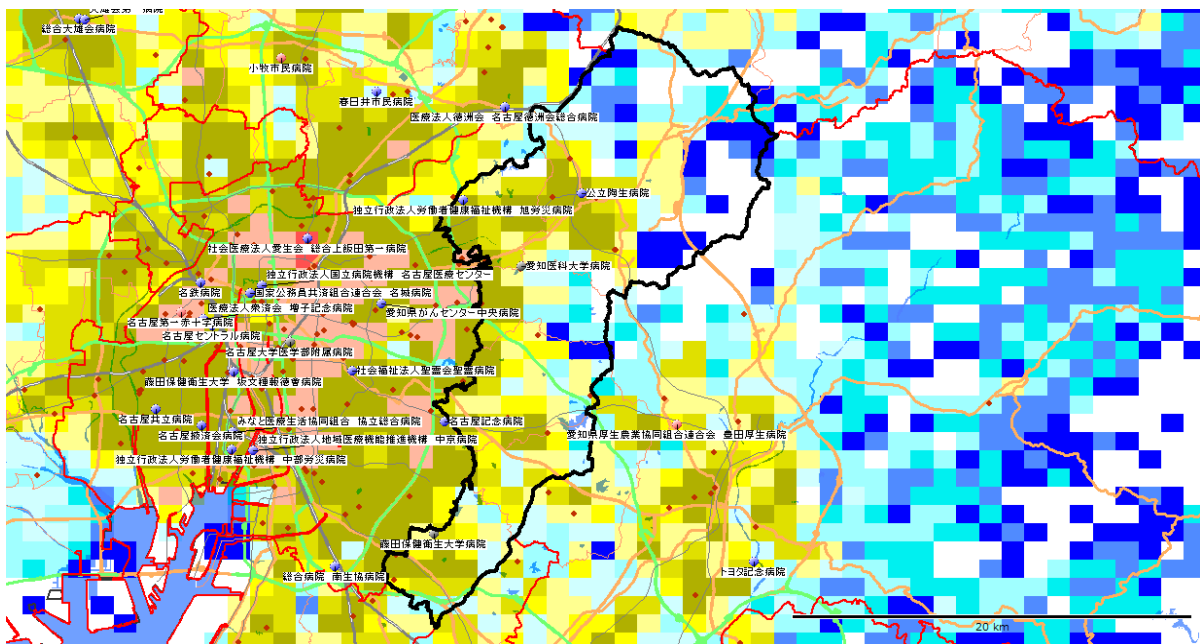
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



23-4. おわりとうぶ 尾張東部医療圏

構成市区町村⁹ [瀬戸市](#) [尾張旭市](#) [豊明市](#) [且進市](#)
[長久手市](#) [東郷町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(尾張東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 尾張東部(瀬戸市)は、総人口約467千人(2015年)、面積230km²、人口密度は2031人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 尾張東部の総人口は2025年に475千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に457千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の47千人が、2025年にかけて73千人へと増加し(2015年比+55%)、2040年には76千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 尾張東部の一人当たり医療費(国保)は328千円(偏差値46)、介護給付費は205千円(偏差値37)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 尾張東部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.8、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が63(病院医師数70、診療所医師数46)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。尾張東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の愛知医科大学病院(I群・救命)、藤田保健衛生大学病院(I群・救命)、1000例以上の公立陶生病院(III群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値40と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 尾張東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4603人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2690床(偏差値46)、高齢者住宅等が1913床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2958人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム54、軽費ホーム58、グループホーム43、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、772人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-46%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(尾張東部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

尾張東部医療圏の総人口は、2005年443072人が、2015年に467393人と5%増加し、2025年の人口が474542人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

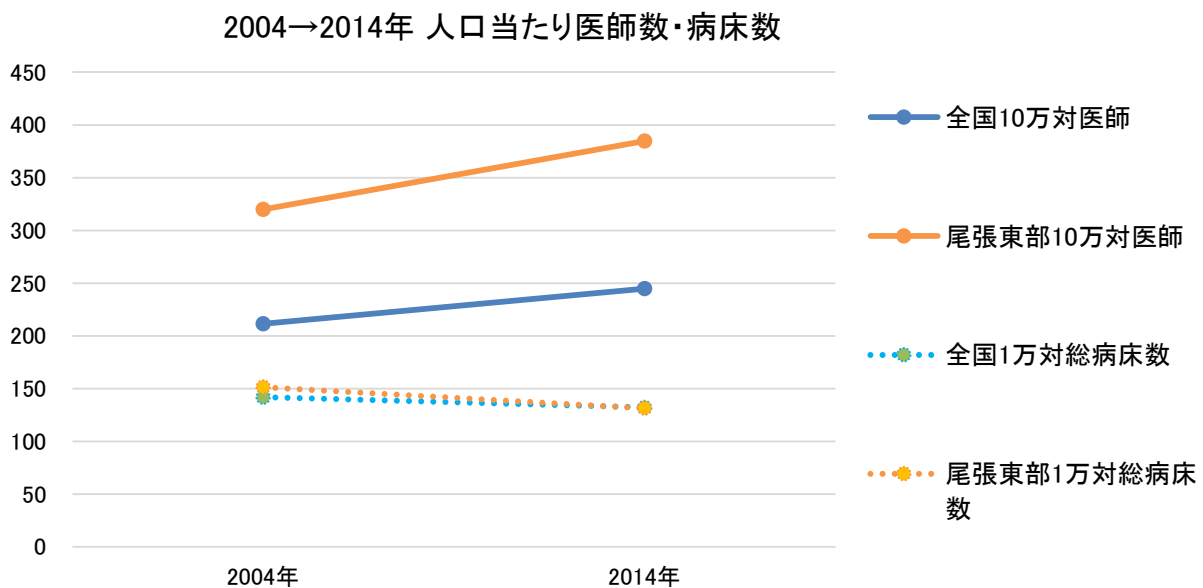
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が19(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に19(人口10万人当たり4.1病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が262(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に312(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値43)と、50診療所が増加した。

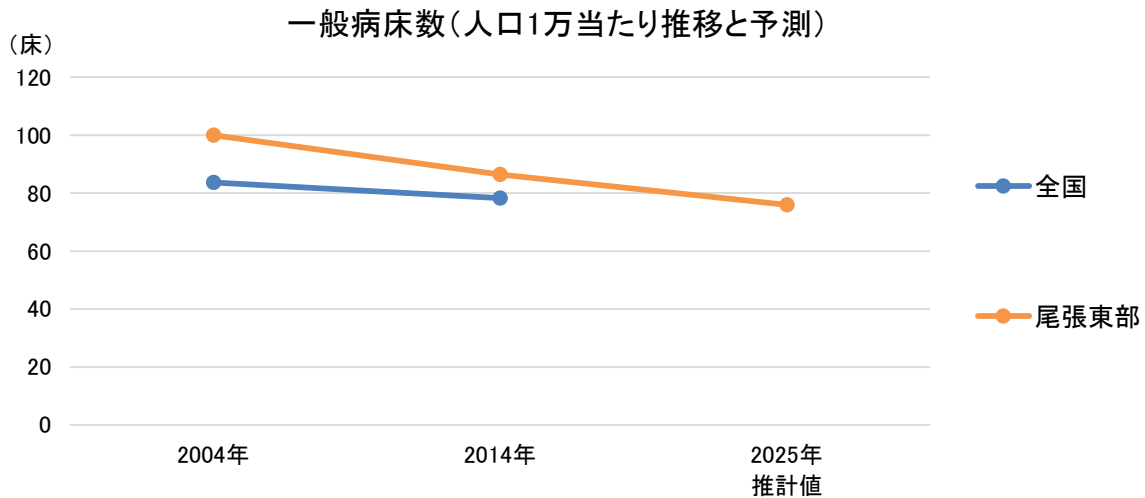
2004年の総病床数が6710床(人口1万人当たり151(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に6145床(人口1万人当たり131(全国平均132)偏差値50)と、565床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1417人(人口10万人当たり320人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2014年に1798人(人口10万人当たり385人(全国平均245人)偏差値65)と、381人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



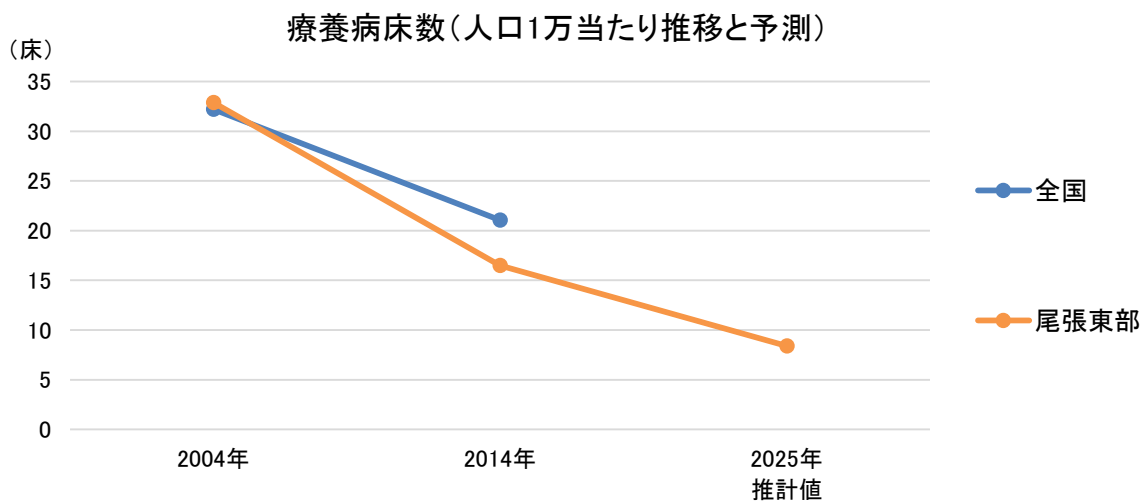
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4431床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に4038床(人口1万人当たり86(全国平均78)偏差値53)と、393床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3606床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



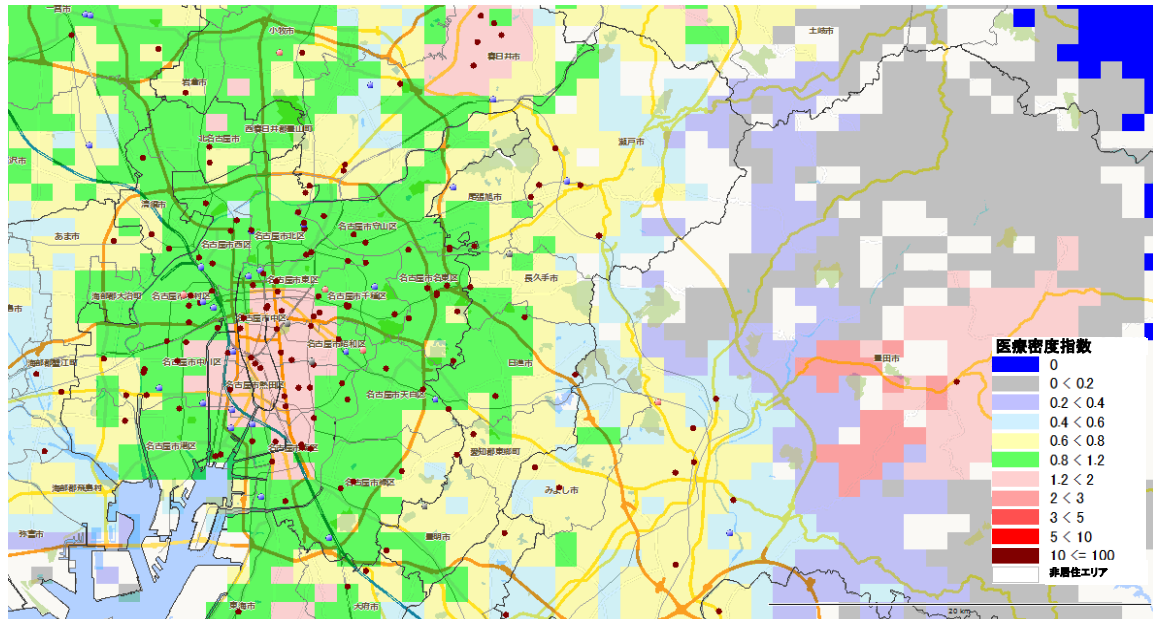
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が931床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に781床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、150床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には616床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



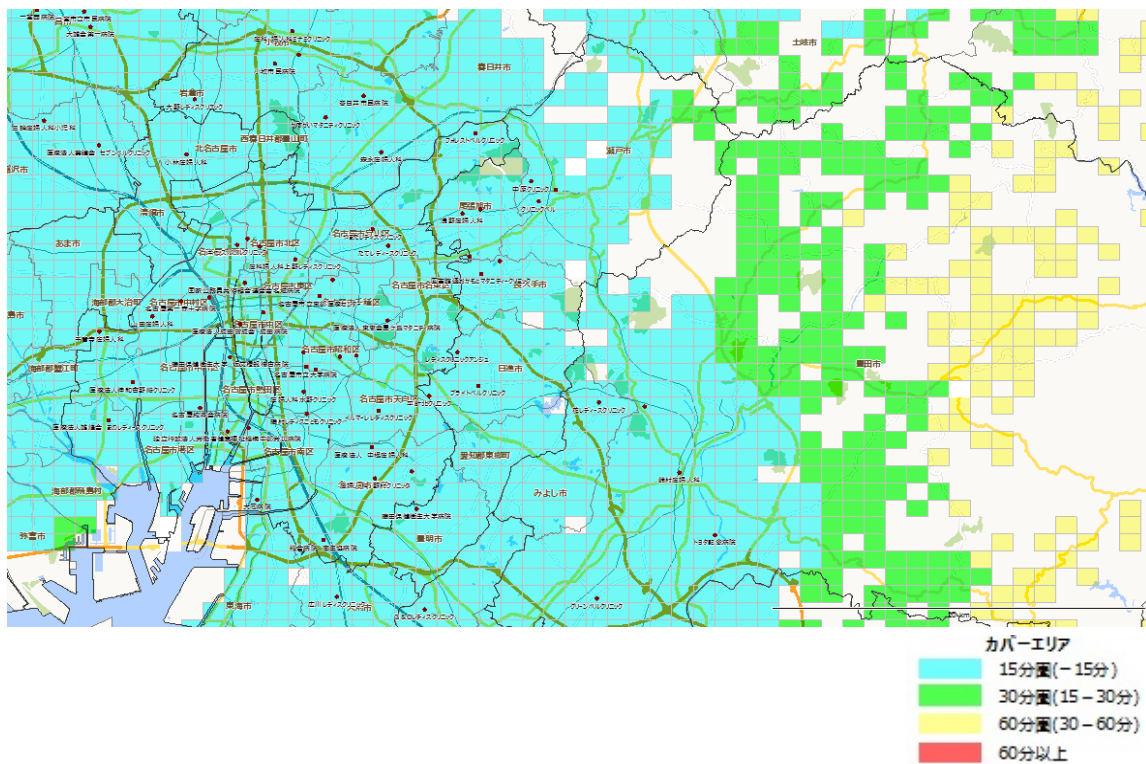
(尾張東部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

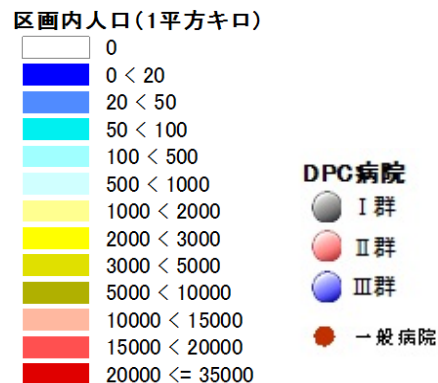
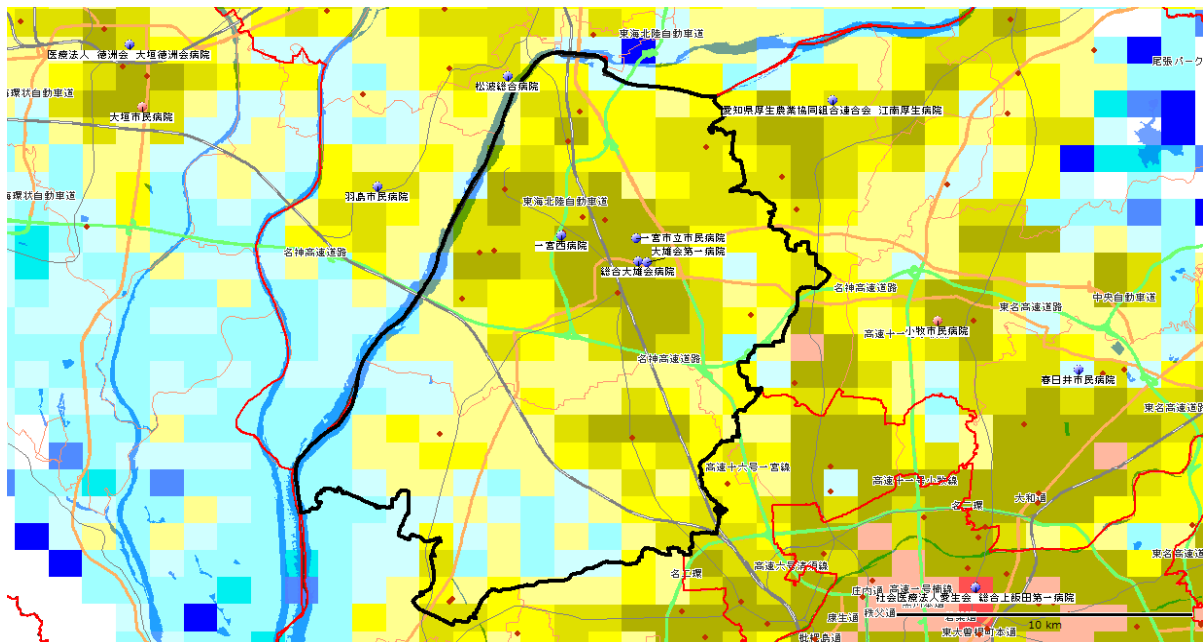
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



23-5. おわりせいぶ 尾張西部医療圏

構成市区町村⁹ [二宮市](#) [稲沢市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(尾張西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 尾張西部(一宮市)は、総人口約518千人(2015年)、面積193km²、人口密度は2680人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 尾張西部の総人口は2025年に495千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に447千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の60千人が、2025年にかけて83千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には80千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 尾張西部の一人当たり医療費(国保)は320千円(偏差値45)、介護給付費は214千円(偏差値39)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 尾張西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。尾張西部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の一宮西病院(Ⅲ群)、一宮市立市民病院(Ⅲ群・救命)、総合大雄会病院(Ⅲ群・救命)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 尾張西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4783人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3091床(偏差値42)、高齢者住宅等が1692床(偏差値41)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3918人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム43、軽費ホーム54、グループホーム46、サ高住43である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、832人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-60%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(尾張西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

尾張西部医療圏の総人口は、2005年508652人が、2015年に517735人と2%増加し、2025年の人口が494710人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

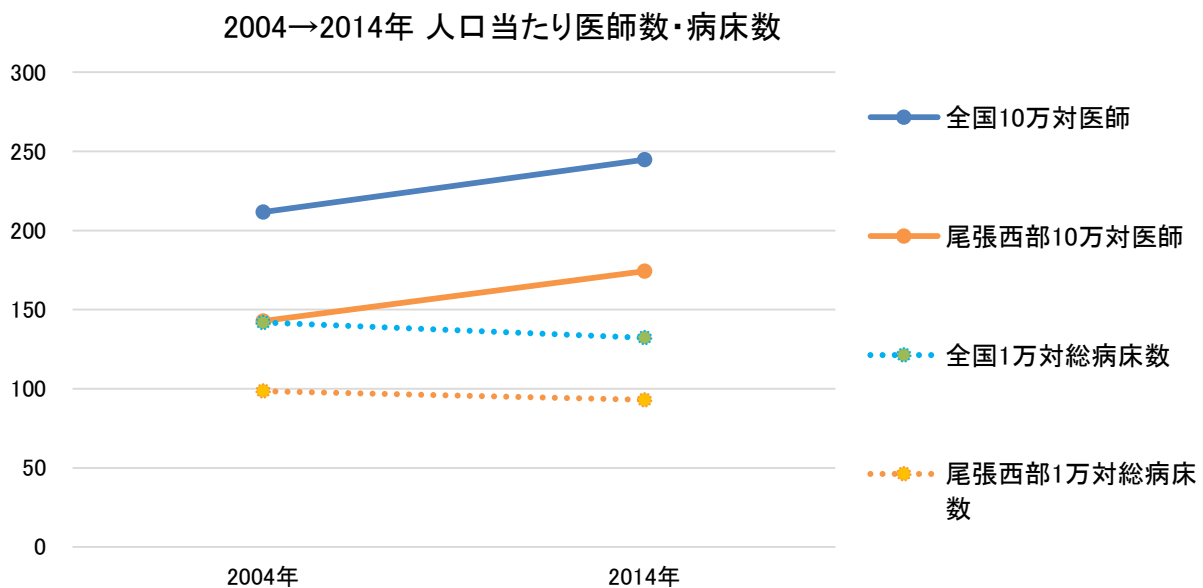
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に19(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が291(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に324(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値41)と、33診療所が増加した。

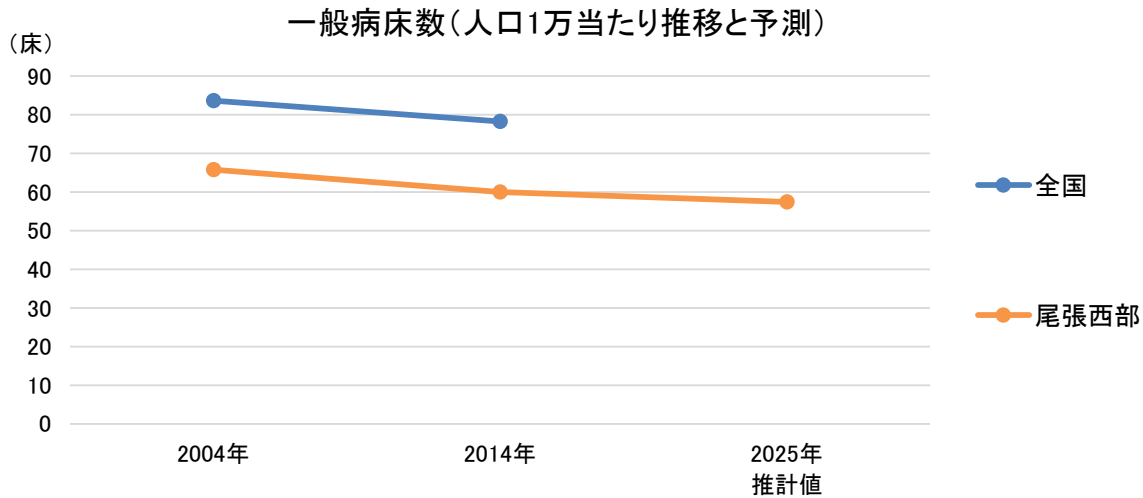
2004年の総病床数が5010床(人口1万人当たり98(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に4815床(人口1万人当たり93(全国平均132)偏差値43)と、195床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が726人(人口10万人当たり143人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に902人(人口10万人当たり174人(全国平均245人)偏差値42)と、176人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



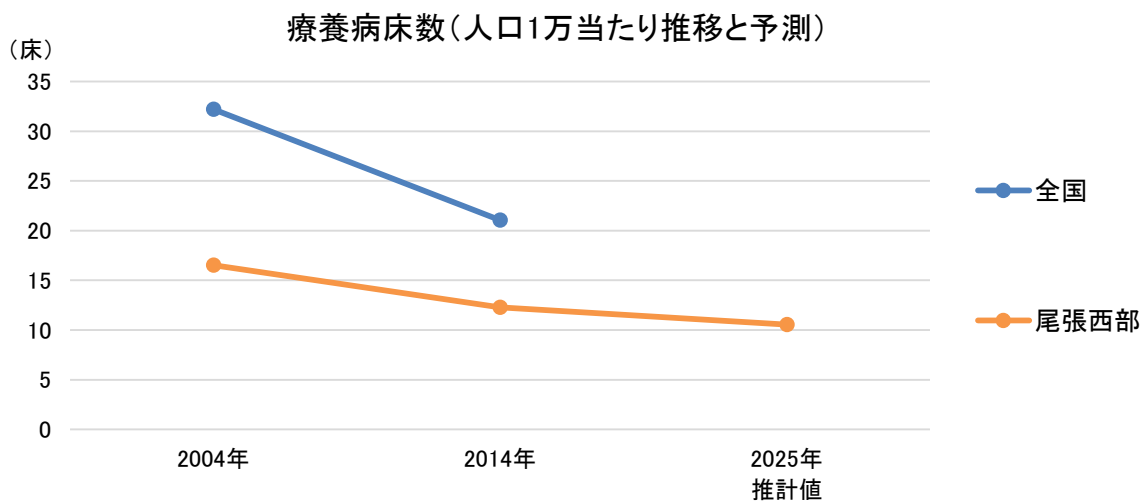
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3348床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に3107床(人口1万人当たり60(全国平均78)偏差値43)と、241床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2842床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



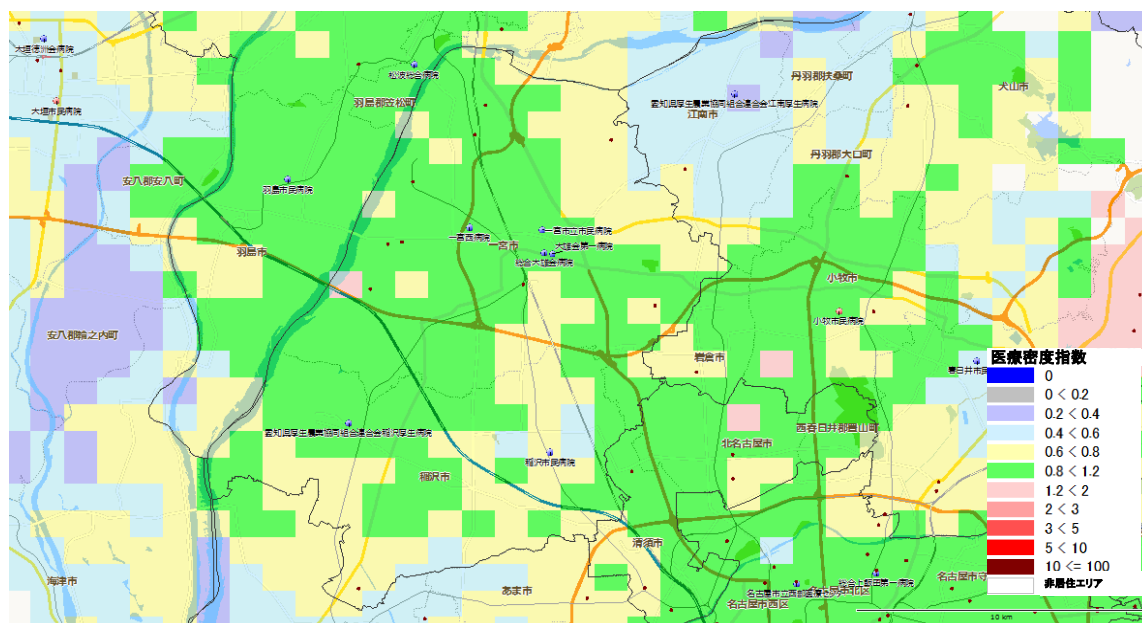
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が597床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に731床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、134床の増加、率にして22%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には878床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



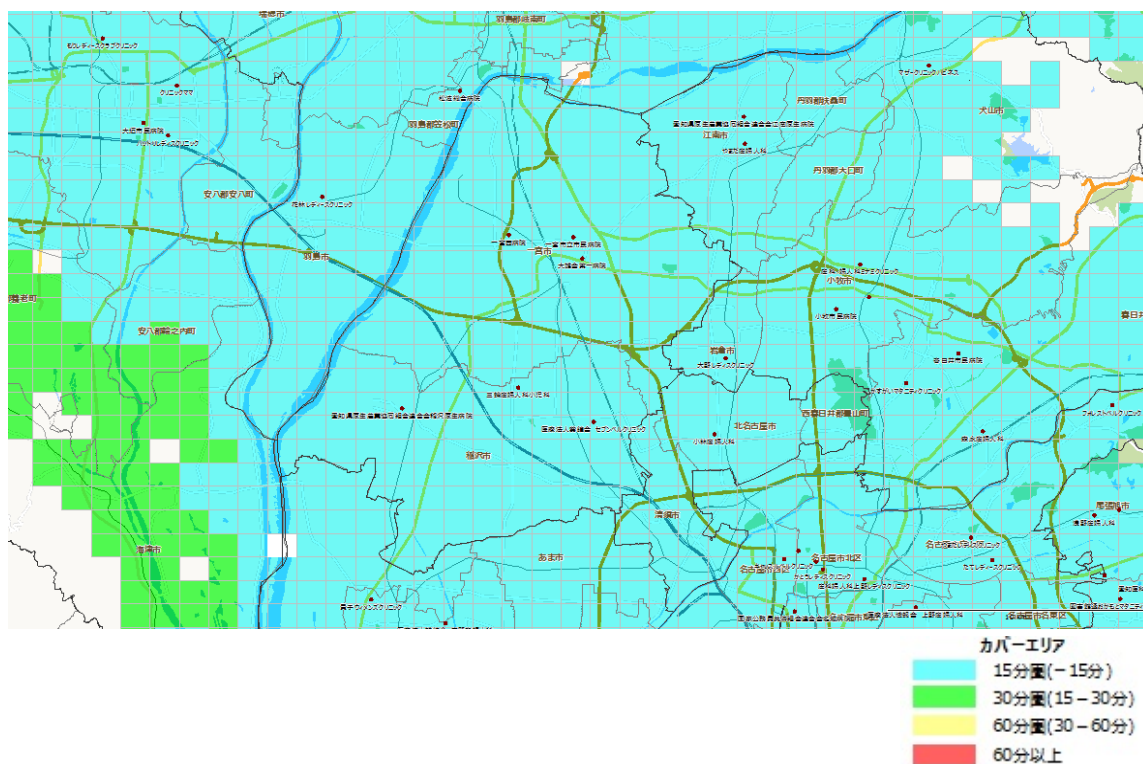
(尾張西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

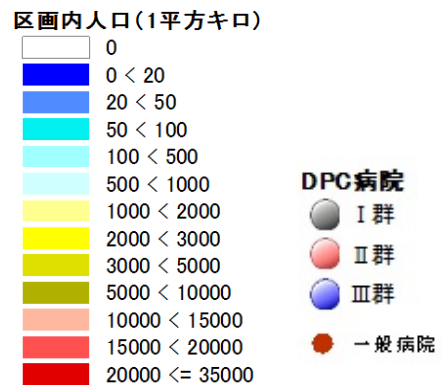
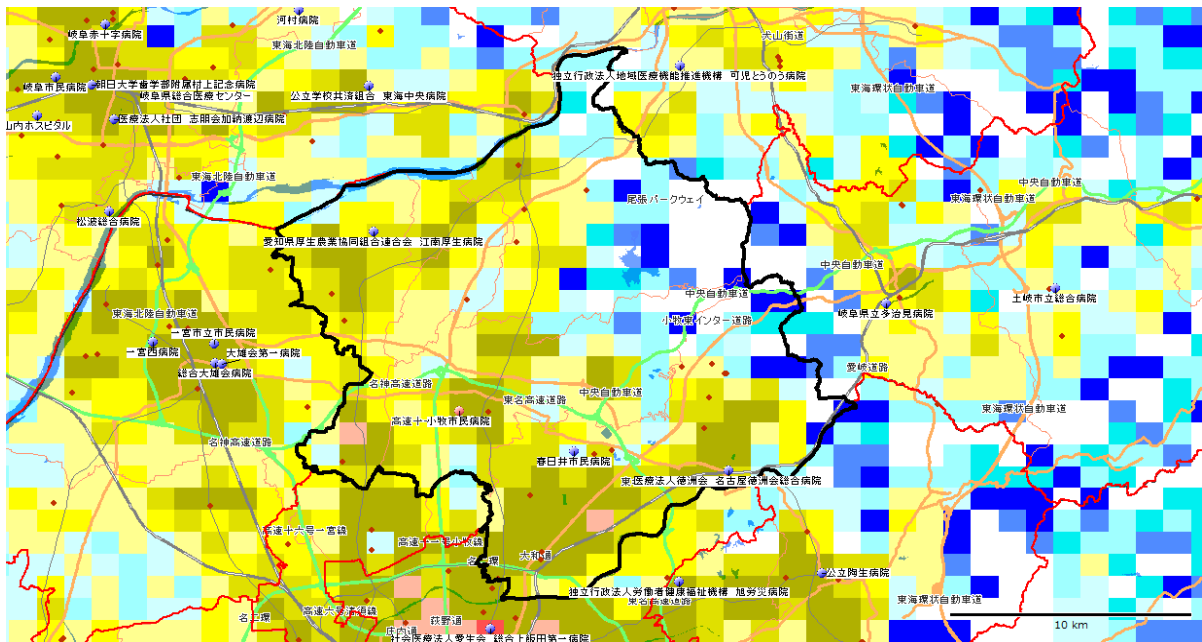
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



23-6. おわりほくぶ 尾張北部医療圏

構成市区町村⁹ [春日井市](#) [犬山市](#) [江南市](#) [小牧市](#)
[岩倉市](#) [大口町](#) [扶桑町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(尾張北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 尾張北部(春日井市)は、総人口約733千人(2015年)、面積296km²、人口密度は2478人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 尾張北部の総人口は2025年に718千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に661千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて118千人へと増加し(2015年比+51%)、2040年には113千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 尾張北部の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値44)、介護給付費は192千円(偏差値33)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 尾張北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.35で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数40、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。尾張北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小牧市民病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の江南厚生病院(Ⅲ群・救命)、名古屋徳洲会総合病院(Ⅲ群)、春日井市民病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 尾張北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5737人(75歳以上1000人当たりの偏差値32)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4018床(偏差値42)、高齢者住宅等が1719床(偏差値37)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5181人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム44、軽費ホーム46、グループホーム45、サ高住36である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、963人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-78%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(尾張北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

尾張北部医療圏の総人口は、2005年718396人が、2015年に733279人と2%増加し、2025年の人口が718415人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

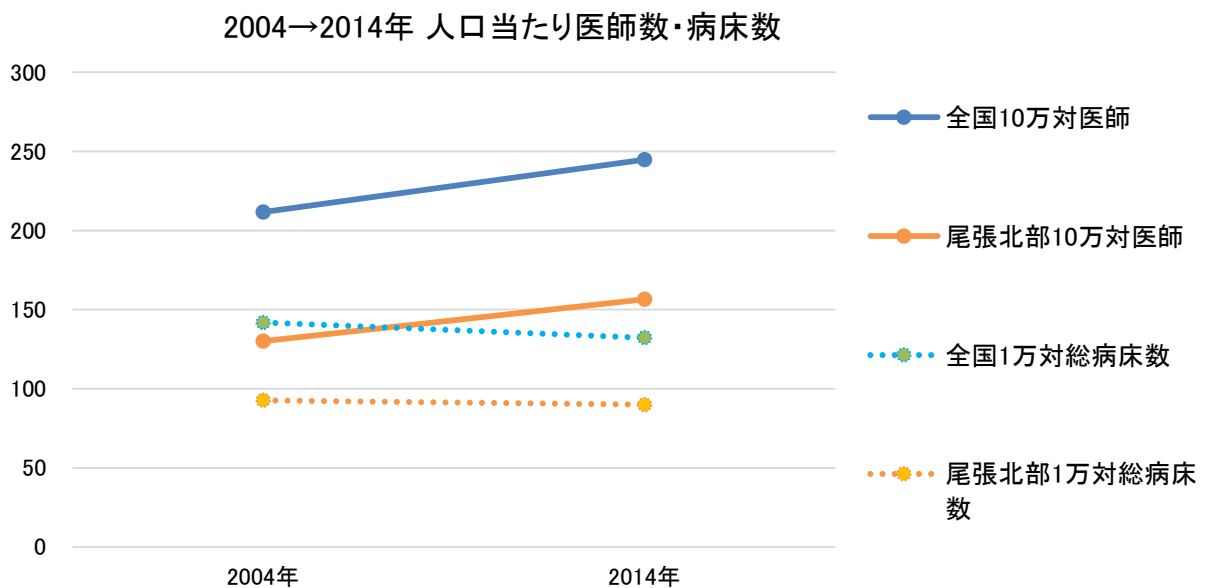
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が25(人口10万人当たり3.5病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に24(人口10万人当たり3.3病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が423(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に475(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値42)と、52診療所が増加した。

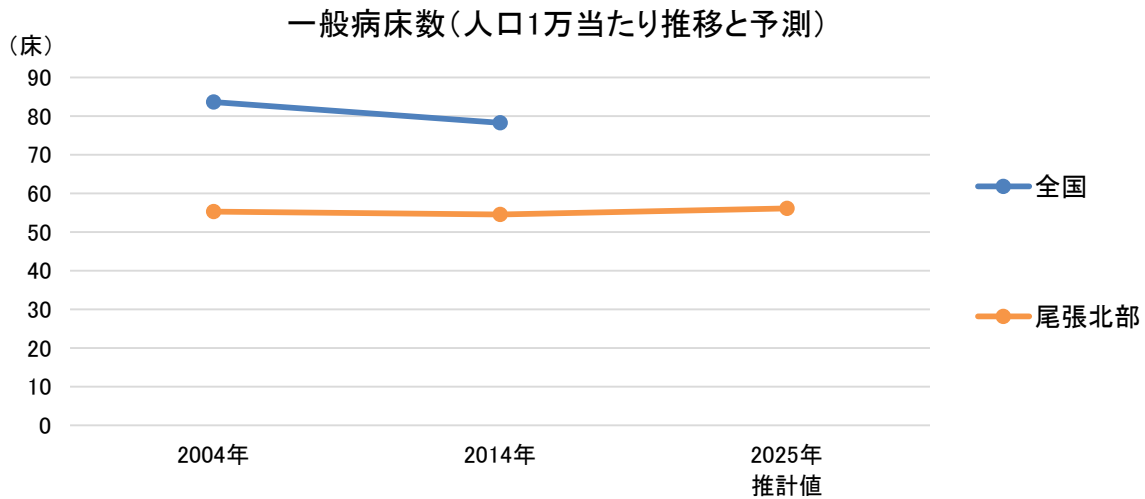
2004年の総病床数が6655床(人口1万人当たり93(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に6597床(人口1万人当たり90(全国平均132)偏差値43)と、58床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が934人(人口10万人当たり130人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に1148人(人口10万人当たり157人(全国平均245人)偏差値41)と、214人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



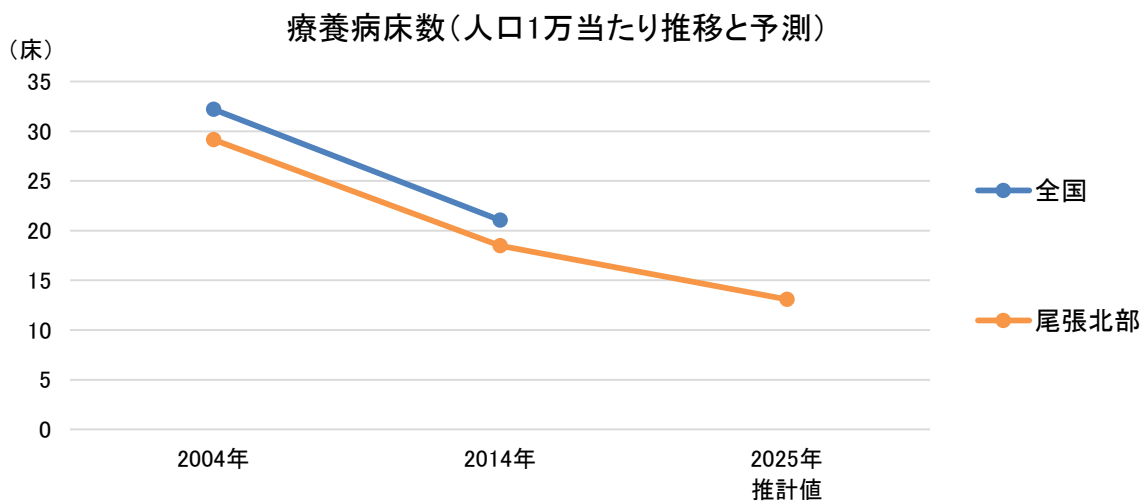
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3971床(人口1万人当たり55(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に4000床(人口1万人当たり55(全国平均78)偏差値41)と、29床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4032床(2025年の推計人口1万人当たり56)になることが予想される。



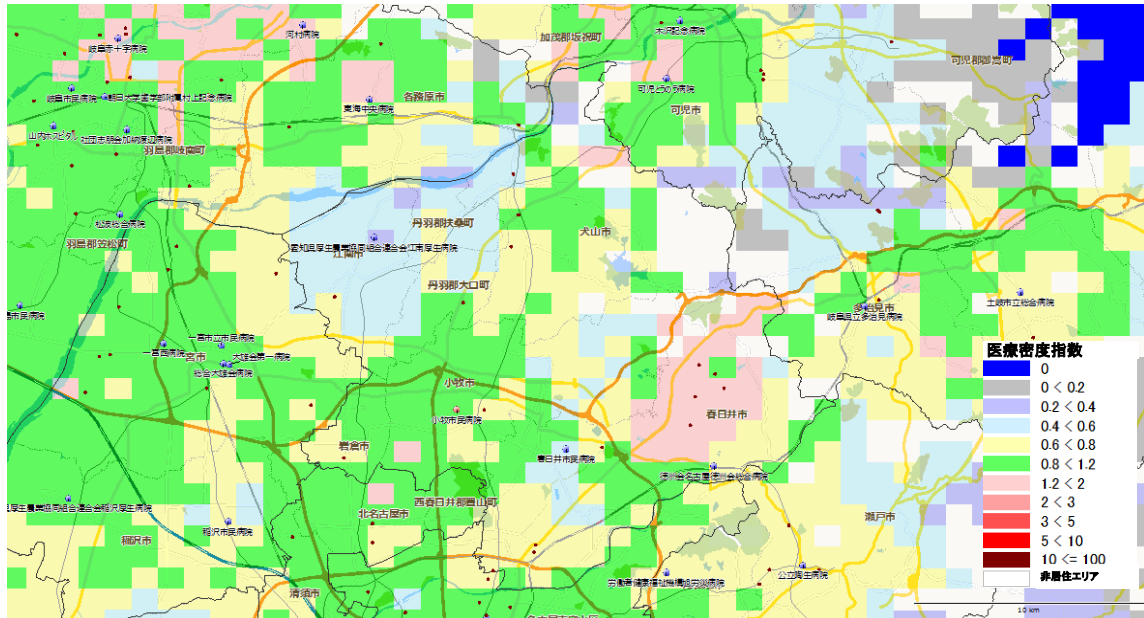
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1333床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1437床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、104床の増加、率にして8%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1551床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



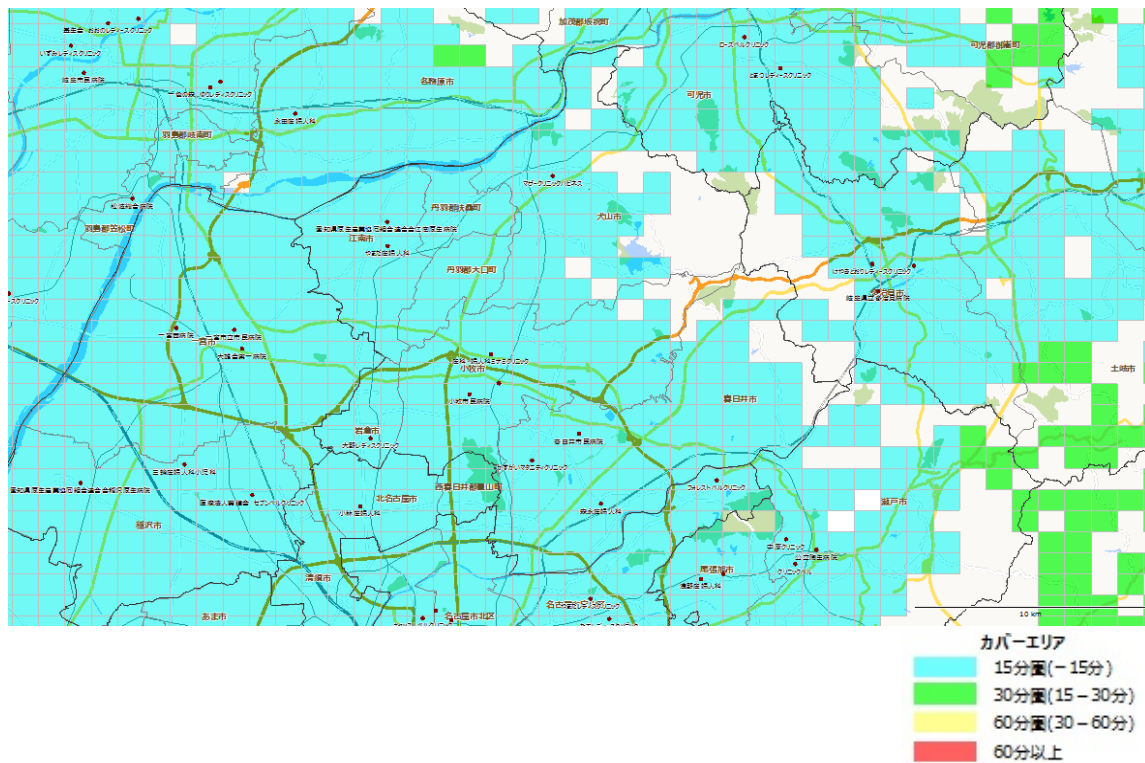
(尾張北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

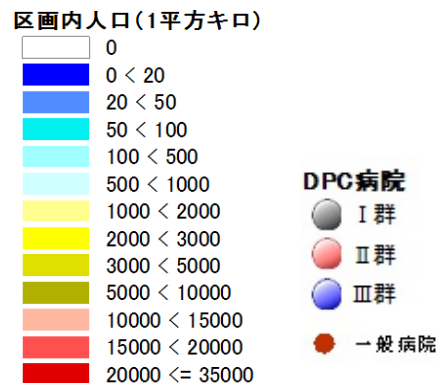
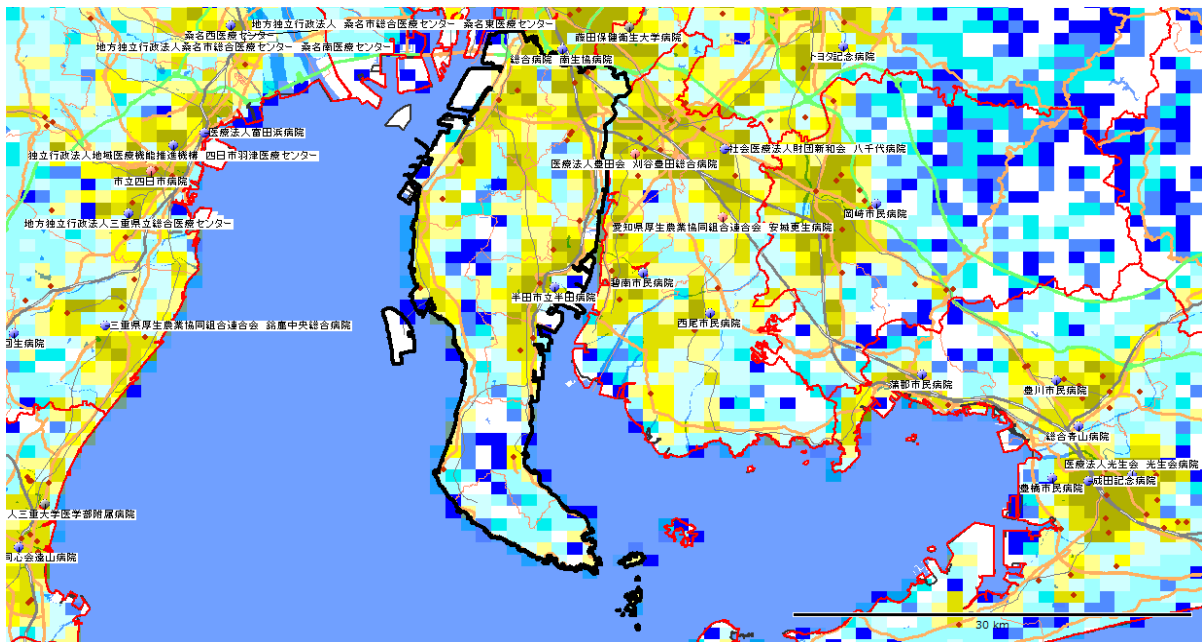
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



ち た は ん と う 23-7. 知多半島医療圏

構成市区町村⁹ 半田市 常滑市 東海市 大府市
知多市 阿久比町 東浦町 南知多町
美浜町 武豊町

人口分布¹ (1km²区画単位)



(知多半島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 知多半島(半田市)は、総人口約621千人(2015年)、面積392km²、人口密度は1585人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 知多半島の総人口は2025年に613千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に577千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の66千人が、2025年にかけて93千人へと増加し(2015年比+41%)、2040年には93千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 知多半島の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値44)、介護給付費は218千円(偏差値40)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 知多半島の一人当たり急性期医療密度指数²は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.4で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が38(病院医師数38、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。知多半島には、年間全身麻酔件数が1000例以上の半田市立半田病院(Ⅲ群・救命)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 知多半島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6420人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4149床(偏差値51)、高齢者住宅等が2271床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4650人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム50、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住42である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値40と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、577人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-30%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(知多半島医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

知多半島医療圏の総人口は、2005年596891人が、2015年に620905人と4%増加し、2025年の人口が612917人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

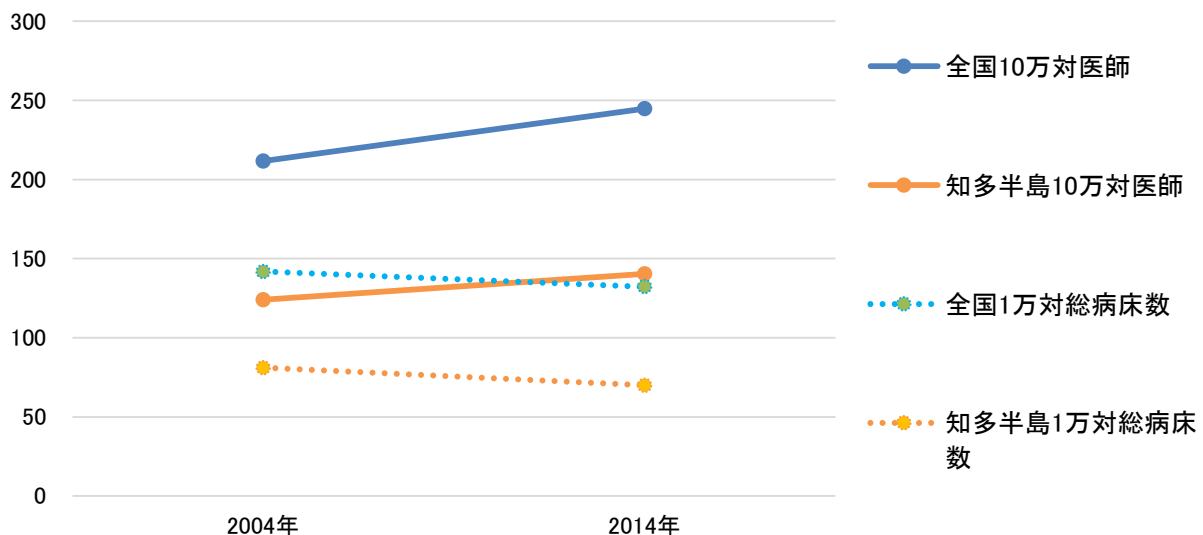
2004年の病院数が19(人口10万人当たり3.2病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2014年に19(人口10万人当たり3.1病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が318(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に378(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値40)と、60診療所が増加した。

2004年の総病床数が4839床(人口1万人当たり81(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に4341床(人口1万人当たり70(全国平均132)偏差値39)と、498床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

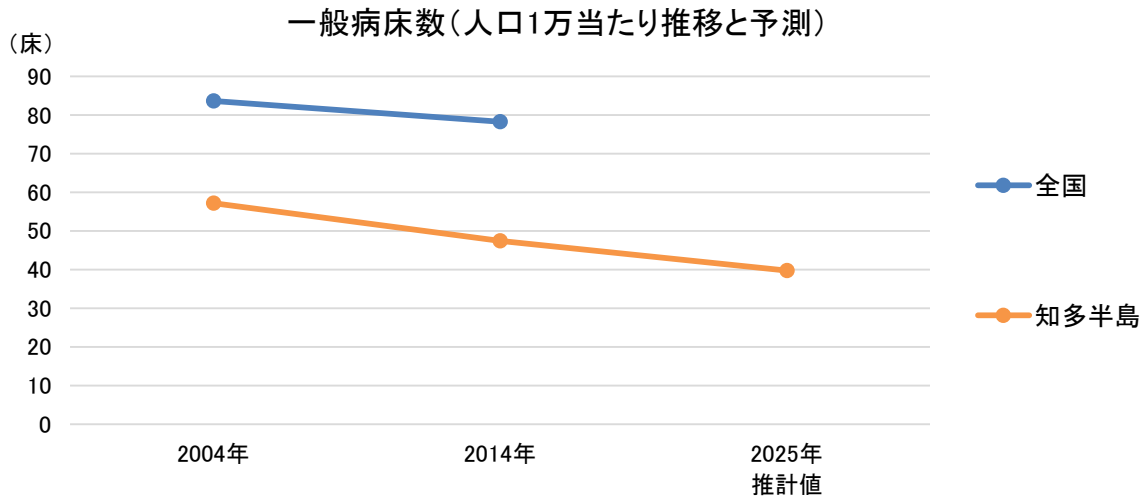
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が740人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に871人(人口10万人当たり140人(全国平均245人)偏差値39)と、131人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



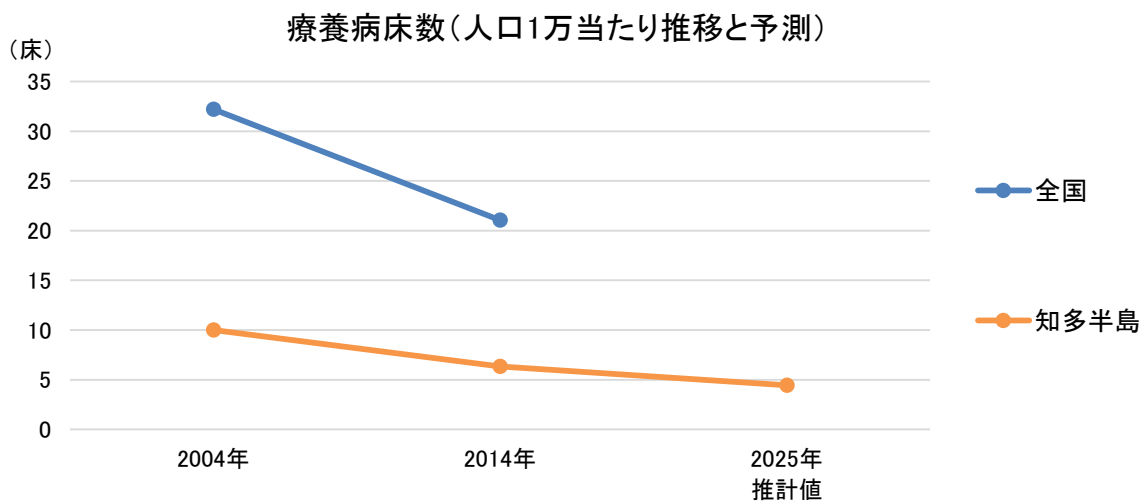
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3413床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に2948床(人口1万人当たり47(全国平均78)偏差値39)と、465床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2437床(2025年の推計人口1万人当たり40)になることが予想される。



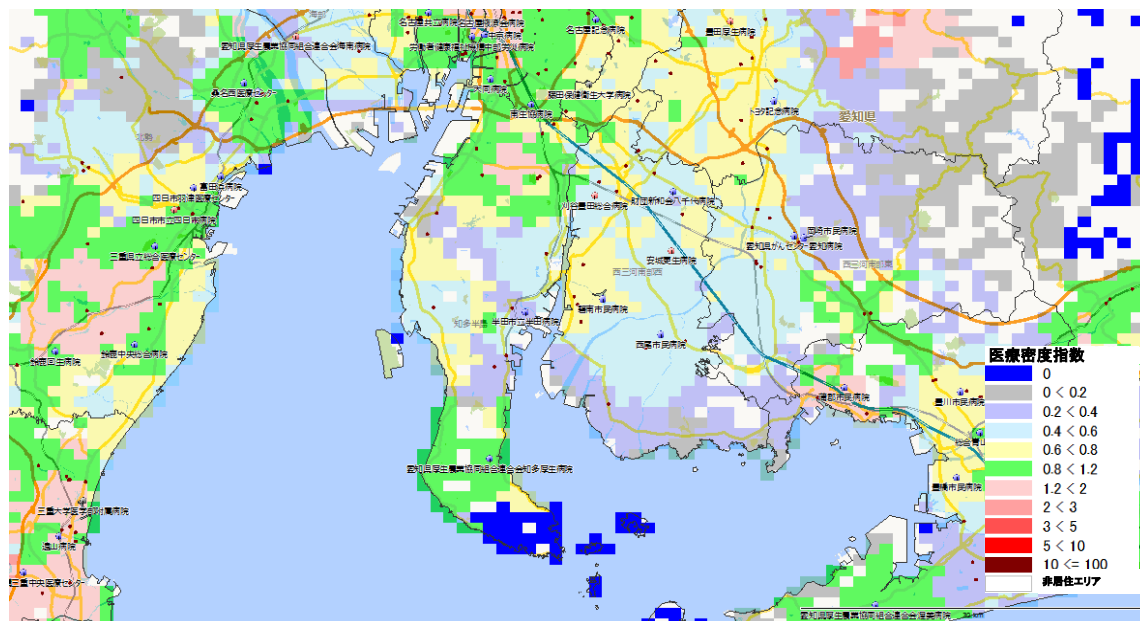
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が418床(75歳以上1000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に416床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値37)と、2床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には414床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。



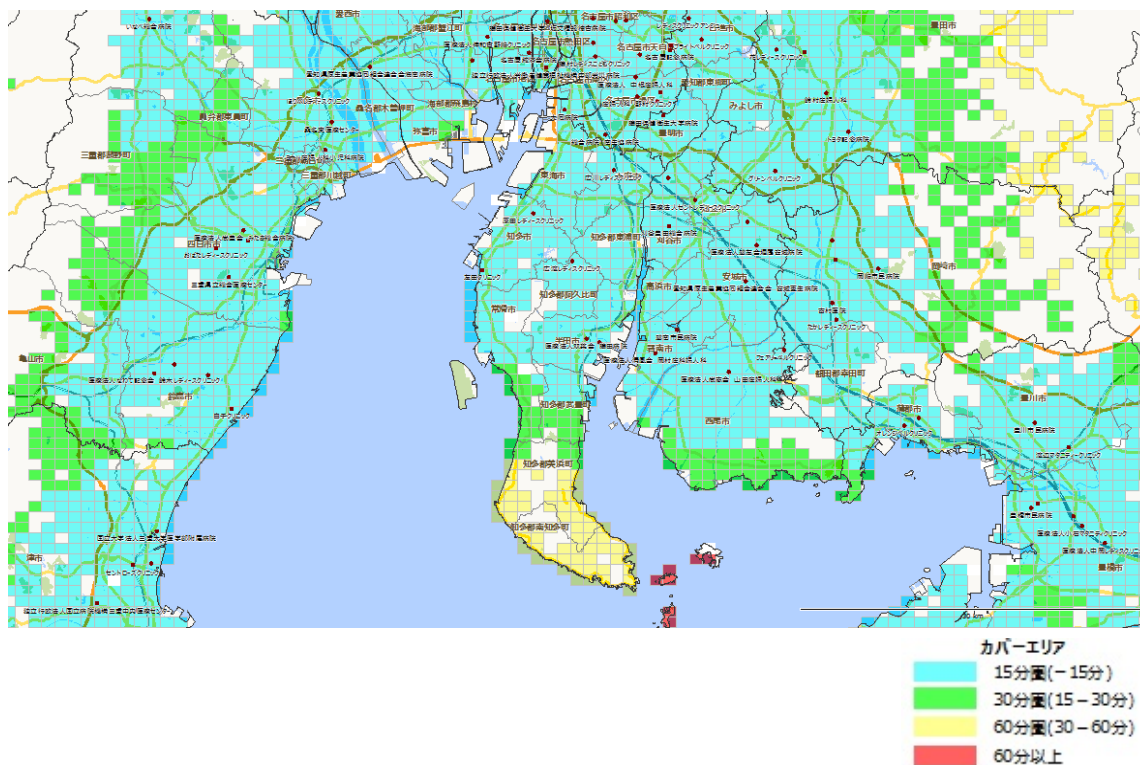
(知多半島医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

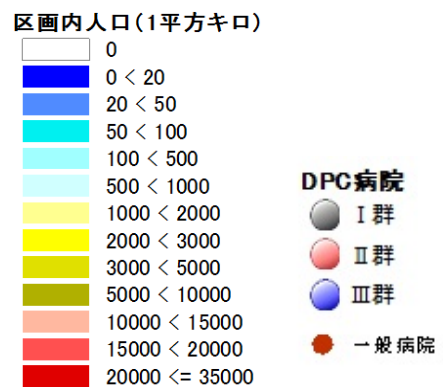
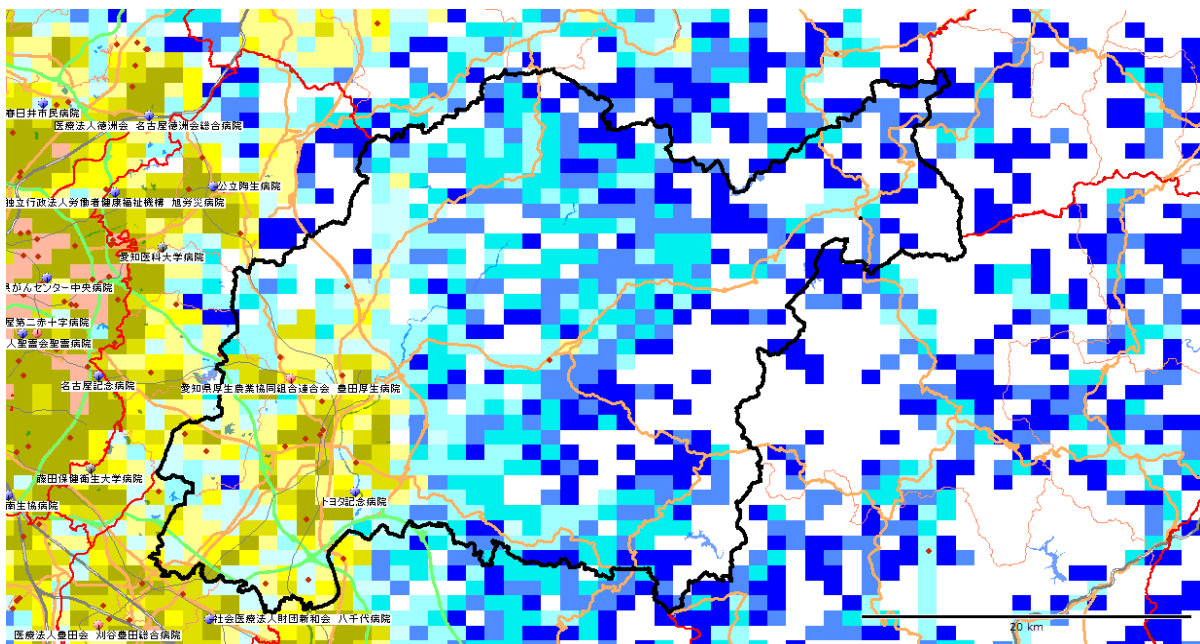
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



23-8. にし み か わ ほ く ぶ 西三河 北 部 医 療 圏

構成市区町村⁹ [豊田市](#) [みよし市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(西三河北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西三河北部(豊田市)は、総人口約484千人(2015年)、面積951km²、人口密度は510人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西三河北部の総人口は2025年に492千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に473千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の39千人が、2025年にかけて66千人へと増加し(2015年比+69%)、2040年には74千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西三河北部の一人当たり医療費(国保)は323千円(偏差値45)、介護給付費は188千円(偏差値32)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西三河北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.62、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.58で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数40、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。西三河北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊田厚生病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上のトヨタ記念病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西三河北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3235人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2224床(偏差値46)、高齢者住宅等が1011床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2495人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、308人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-80%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西三河北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西三河北部医療圏の総人口は、2005年468393人が、2015年に484352人と3%増加し、2025年の人口が492104人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて13%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

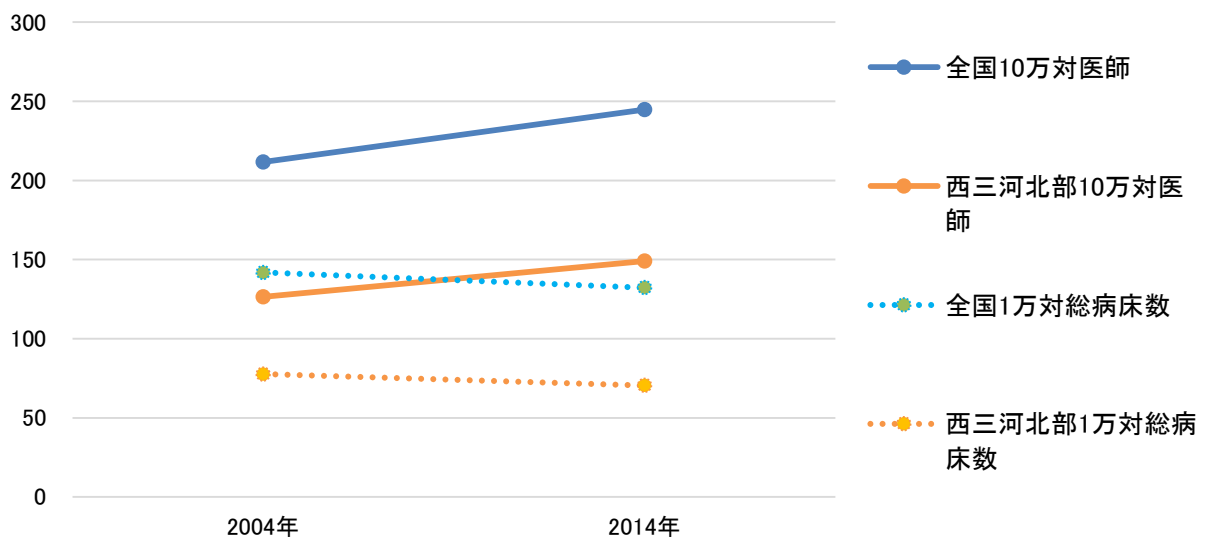
2004年の病院数が22(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に18(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が215(人口10万人当たり46診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2014年に260(人口10万人当たり54診療所(全国平均79)偏差値36)と、45診療所が増加した。

2004年の総病床数が3637床(人口1万人当たり78(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に3414床(人口1万人当たり70(全国平均132)偏差値39)と、223床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

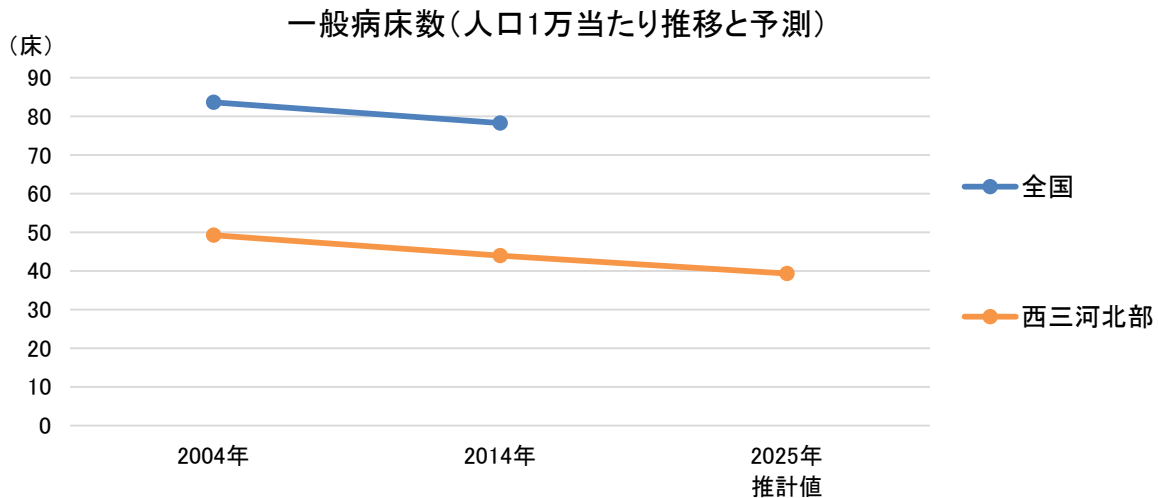
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が592人(人口10万人当たり126人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に722人(人口10万人当たり149人(全国平均245人)偏差値40)と、130人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



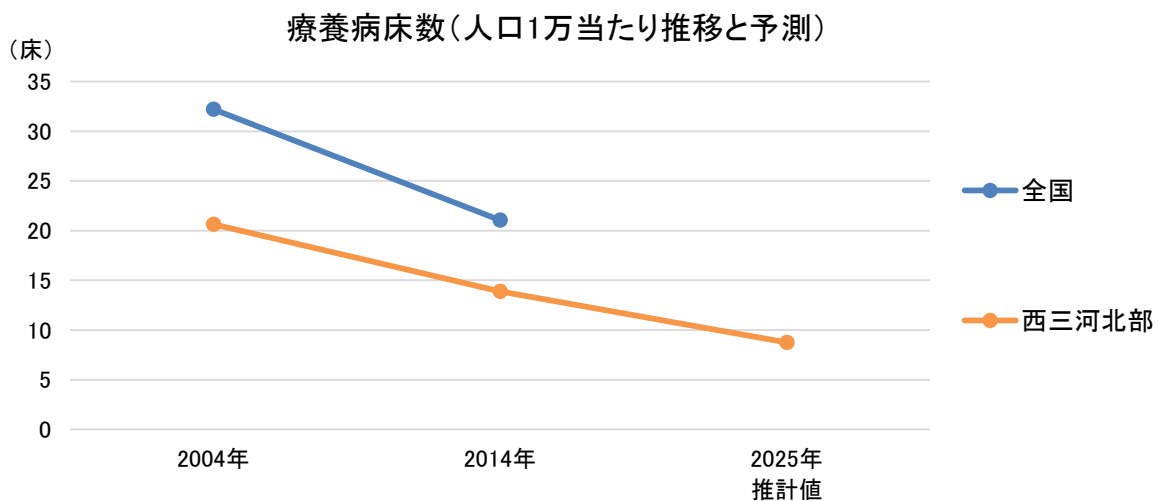
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2309床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に2132床(人口1万人当たり44(全国平均78)偏差値37)と、177床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1937床(2025年の推計人口1万人当たり39)になることが予想される。



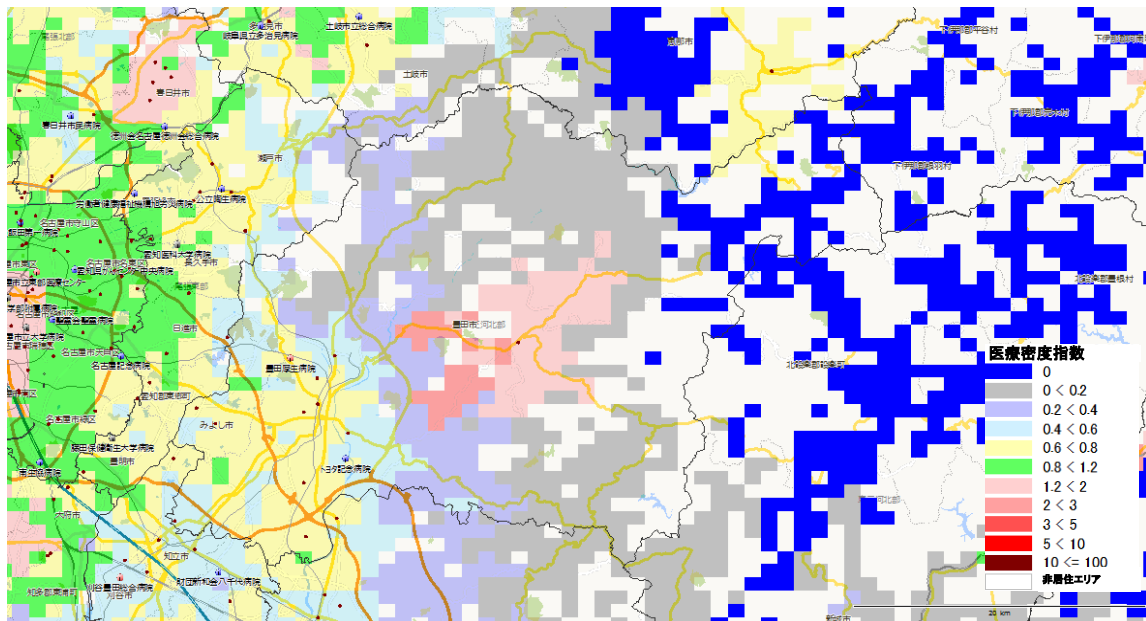
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が516床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に547床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、31床の増加、率にして6%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には581床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



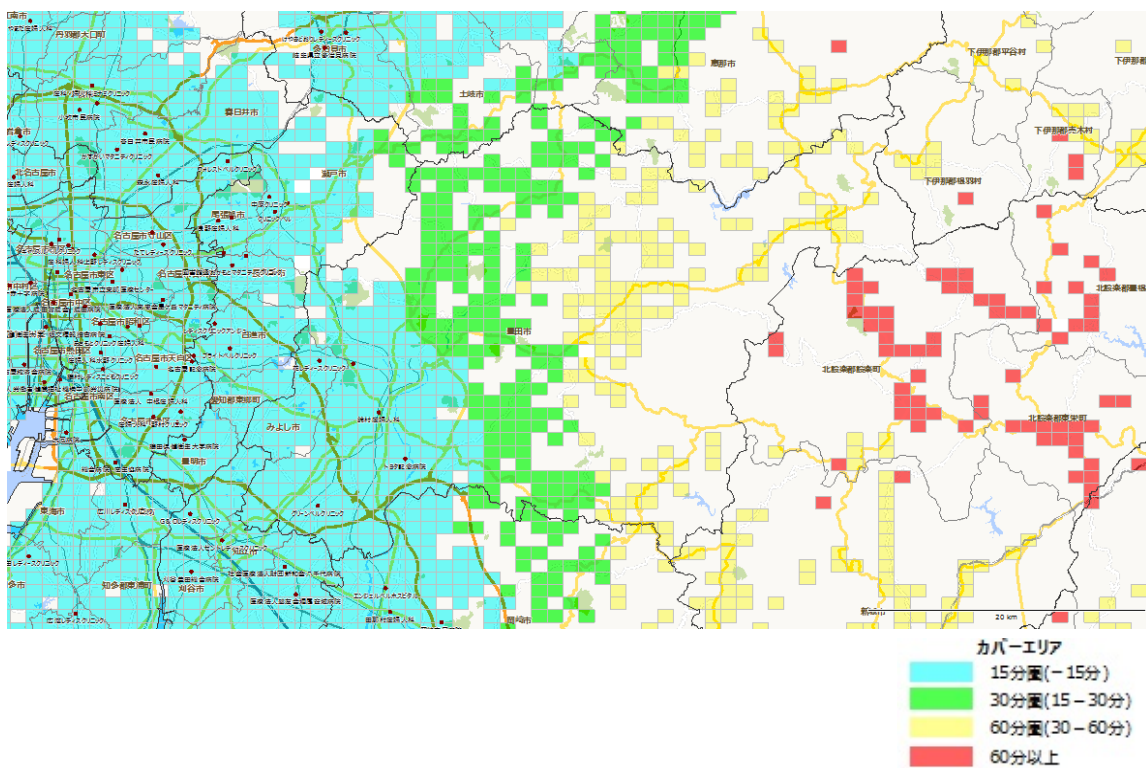
(西三河北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



にしみかわなんぶにし 23-9. 西三河南部西医療圏

構成市区町村⁹

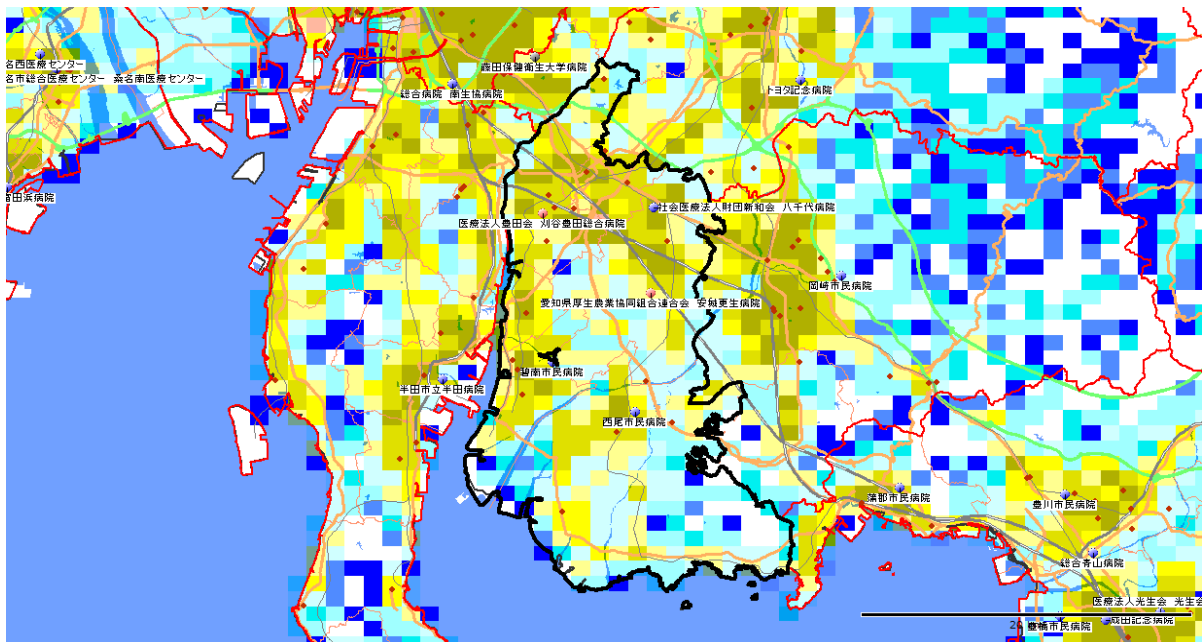
[碧南市](#)
[知立市](#)

[刈谷市](#)
[高浜市](#)

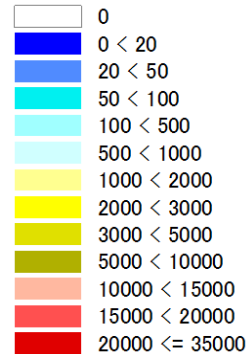
[安城市](#)

[西尾市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(西三河南部西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西三河南部西(碧南市)は、総人口約690千人(2015年)、面積364km²、人口密度は1897人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西三河南部西の総人口は2025年に686千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に661千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の65千人が、2025年にかけて93千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には104千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西三河南部西の一人当たり医療費(国保)は295千円(偏差値39)、介護給付費は211千円(偏差値38)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西三河南部西の一人当たり急性期医療密度指数²は0.57、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.67で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。西三河南部西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の安城更生病院(Ⅱ群・救命)、刈谷豊田総合病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の西尾市民病院(Ⅲ群)、八千代病院(Ⅲ群)、碧南市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西三河南部西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5452人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3461床(偏差値43)、高齢者住宅等が1991床(偏差値43)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4127人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム40、軽費ホーム51、グループホーム44、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、606人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-74%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西三河南部西医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西三河南部西医療圏の総人口は、2005年654460人が、2015年に689978人と5%増加し、2025年の人口が685700人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

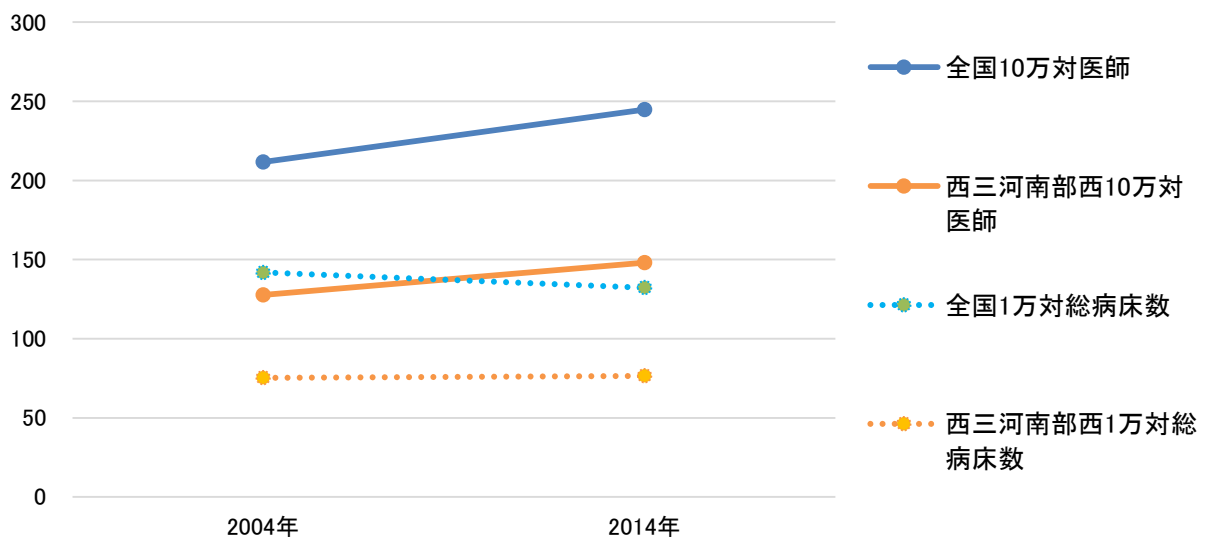
2004年の病院数が22(人口10万人当たり3.4病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2014年に22(人口10万人当たり3.2病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が338(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に387(人口10万人当たり56診療所(全国平均79)偏差値38)と、49診療所が増加した。

2004年の総病床数が4929床(人口1万人当たり75(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に5276床(人口1万人当たり76(全国平均132)偏差値40)と、347床の増加、率にして7%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

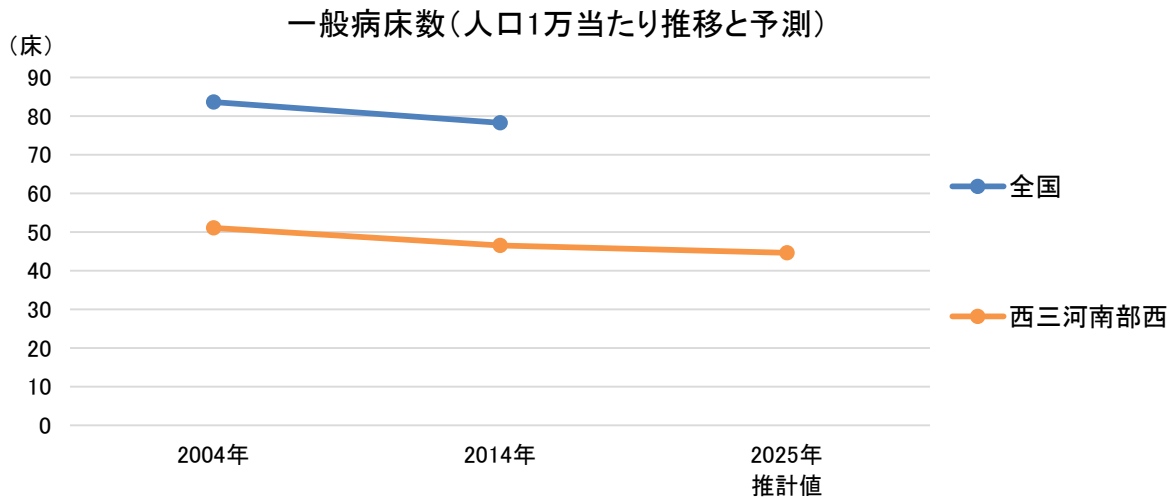
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が836人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に1021人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値40)と、185人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



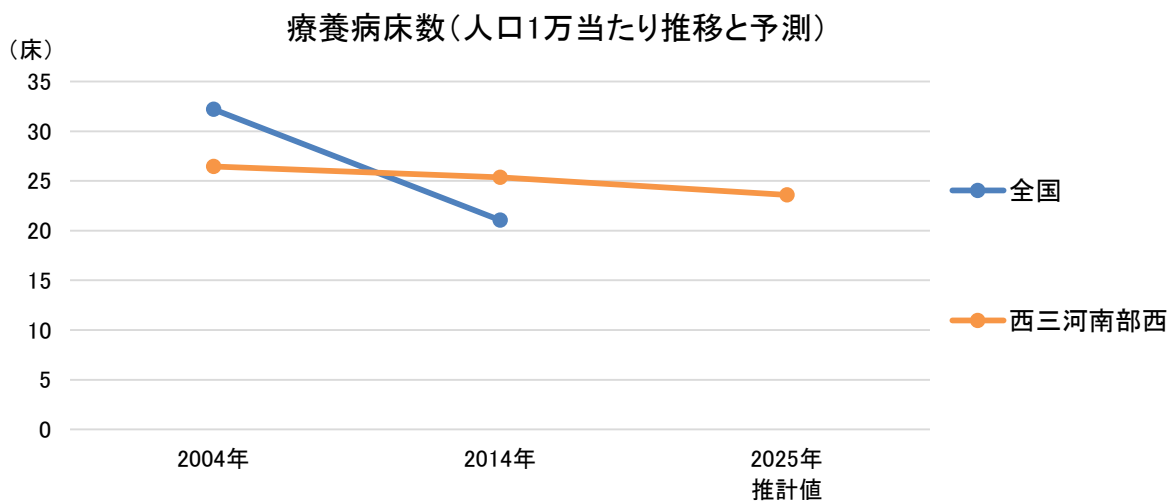
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3345床(人口1万人当たり51(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に3210床(人口1万人当たり47(全国平均78)偏差値38)と、135床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3062床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



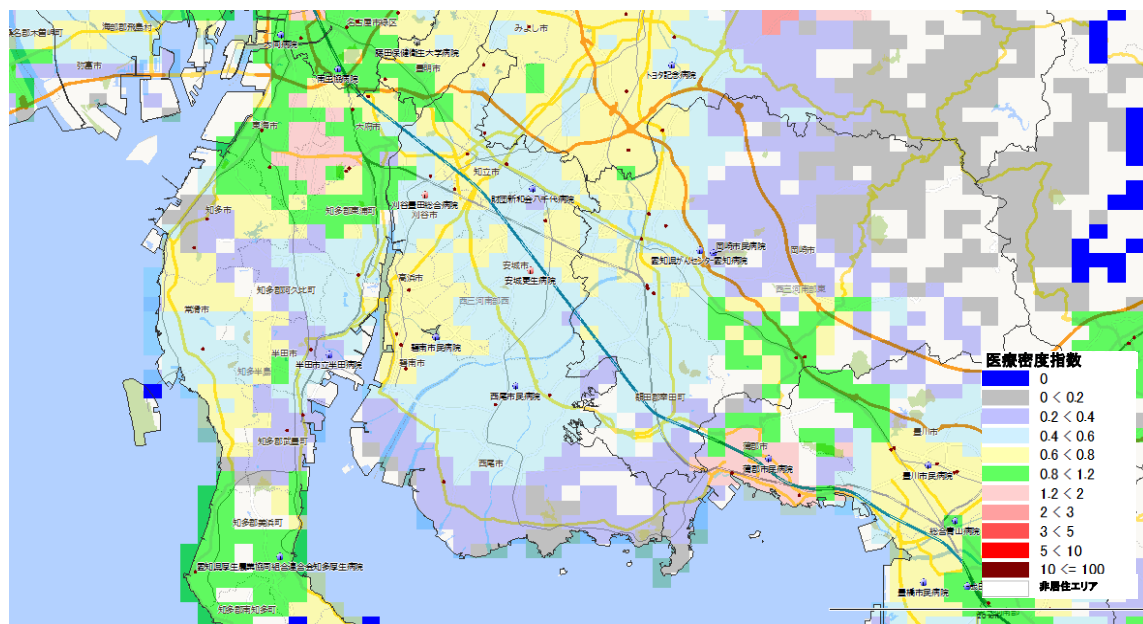
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1151床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に1645床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、494床の増加、率にして43%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2188床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



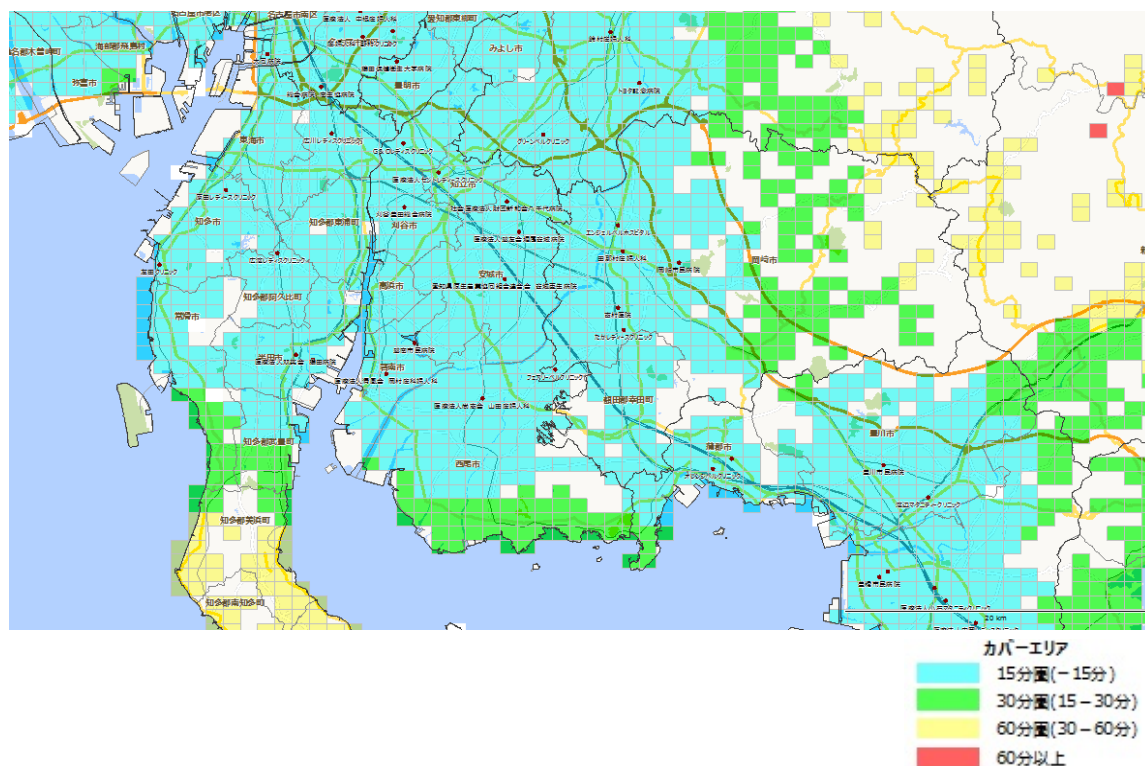
(西三河南部西医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

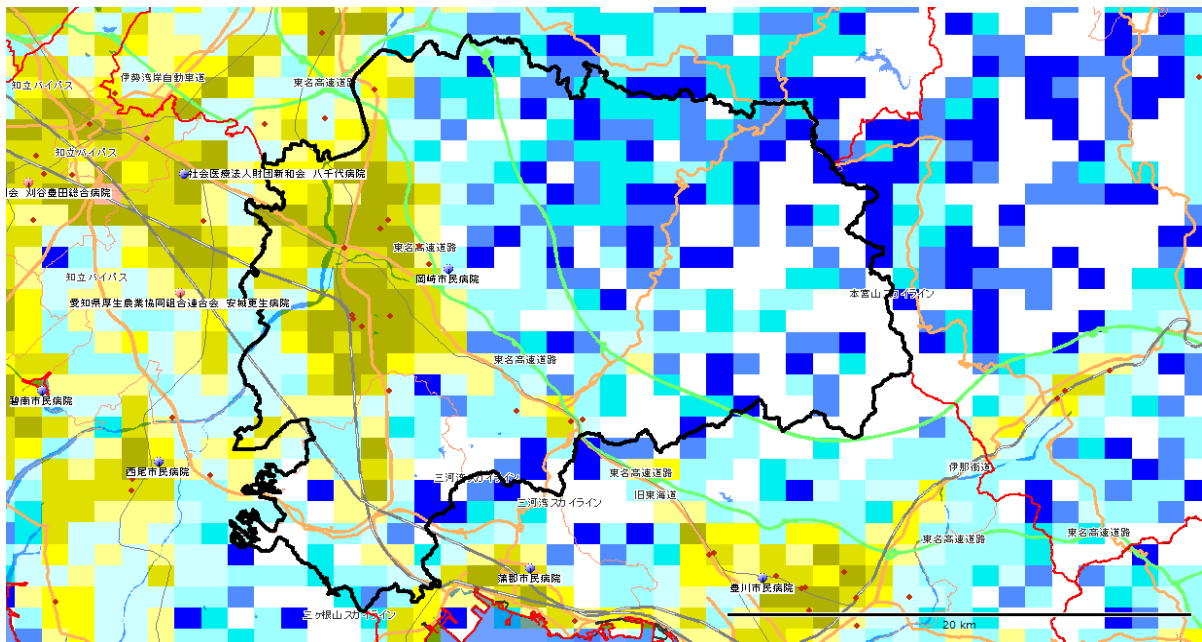
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



にしみかわなんぶひがし 23-10. 西三河南部東医療圏

構成市区町村⁹ [岡崎市](#) [幸田町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

(西三河南部東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西三河南部東(岡崎市)は、総人口約421千人(2015年)、面積444km²、人口密度は947人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西三河南部東の総人口は2025年に414千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に394千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+48%)、2040年には67千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西三河南部東の一人当たり医療費(国保)は303千円(偏差値41)、介護給付費は212千円(偏差値38)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西三河南部東の一人当たり急性期医療密度指数²は0.59、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.36で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が37(病院医師数36、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は34で、一般病床数は非常に少ない。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。西三河南部東には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岡崎市民病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の愛知県がんセンター愛知病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西三河南部東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3368人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1932床(偏差値40)、高齢者住宅等が1436床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2593人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム49、軽費ホーム47、グループホーム46、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、345人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-66%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西三河南部東医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西三河南部東医療圏の総人口は、2005年399403人が、2015年に420600人と5%増加し、2025年の人口が414317人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

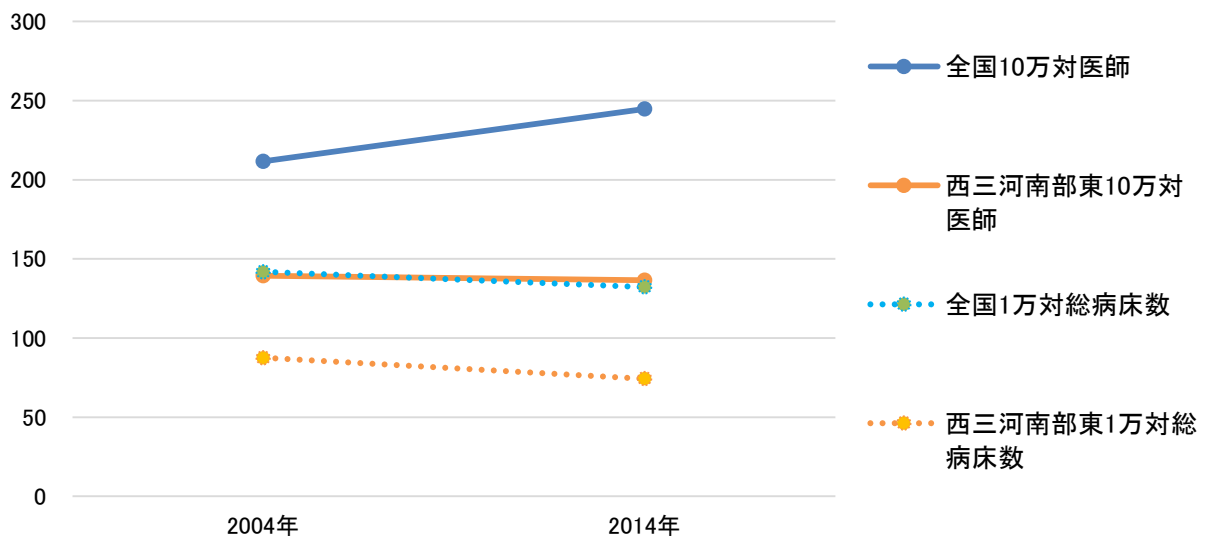
2004年の病院数が18(人口10万人当たり4.5病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に15(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が232(人口10万人当たり58診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に251(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、19診療所が増加した。

2004年の総病床数が3494床(人口1万人当たり87(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に3124床(人口1万人当たり74(全国平均132)偏差値40)と、370床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

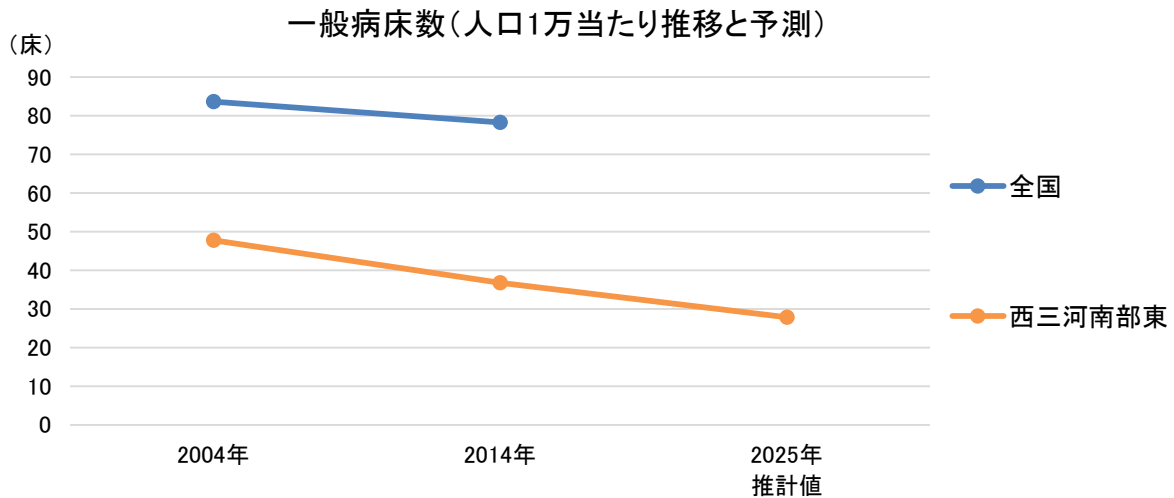
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が557人(人口10万人当たり139人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に574人(人口10万人当たり136人(全国平均245人)偏差値38)と、17人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



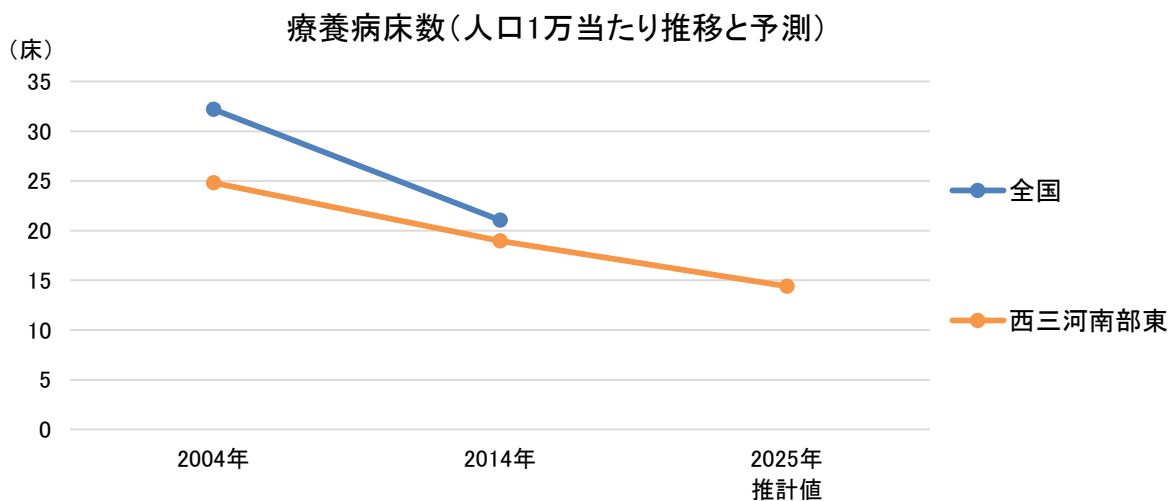
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1907床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に1548床(人口1万人当たり37(全国平均78)偏差値35)と、359床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1153床(2025年の推計人口1万人当たり28)になることが予想される。



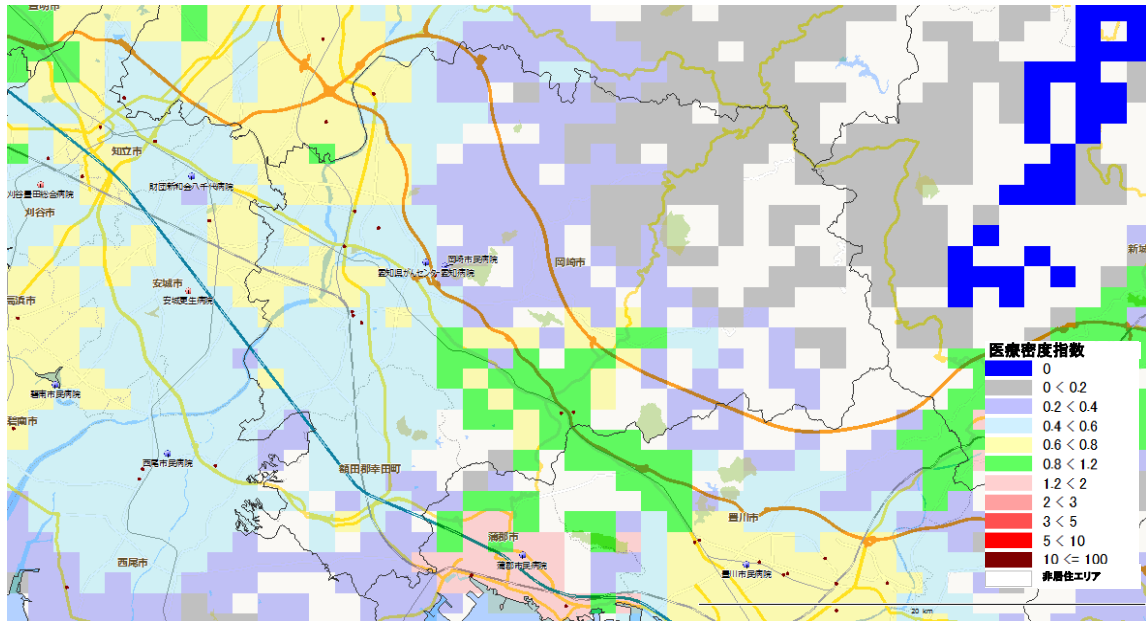
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が660床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に749床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、89床の増加、率にして13%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には847床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



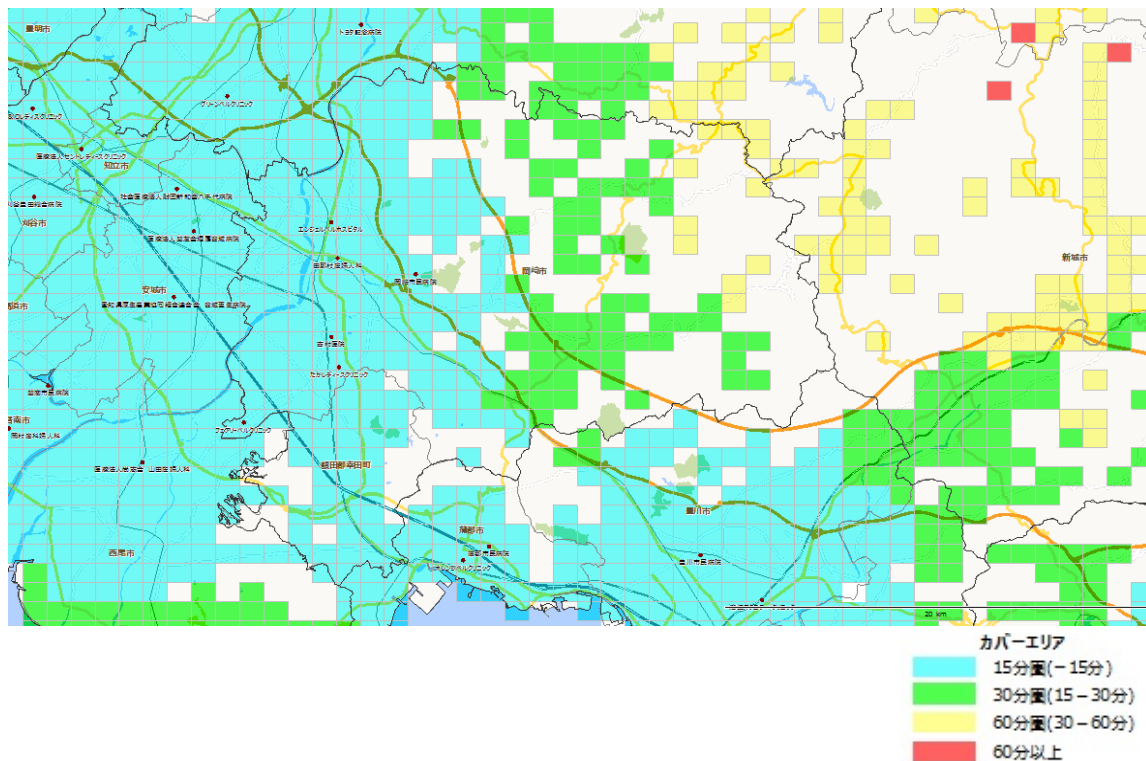
(西三河南部東医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

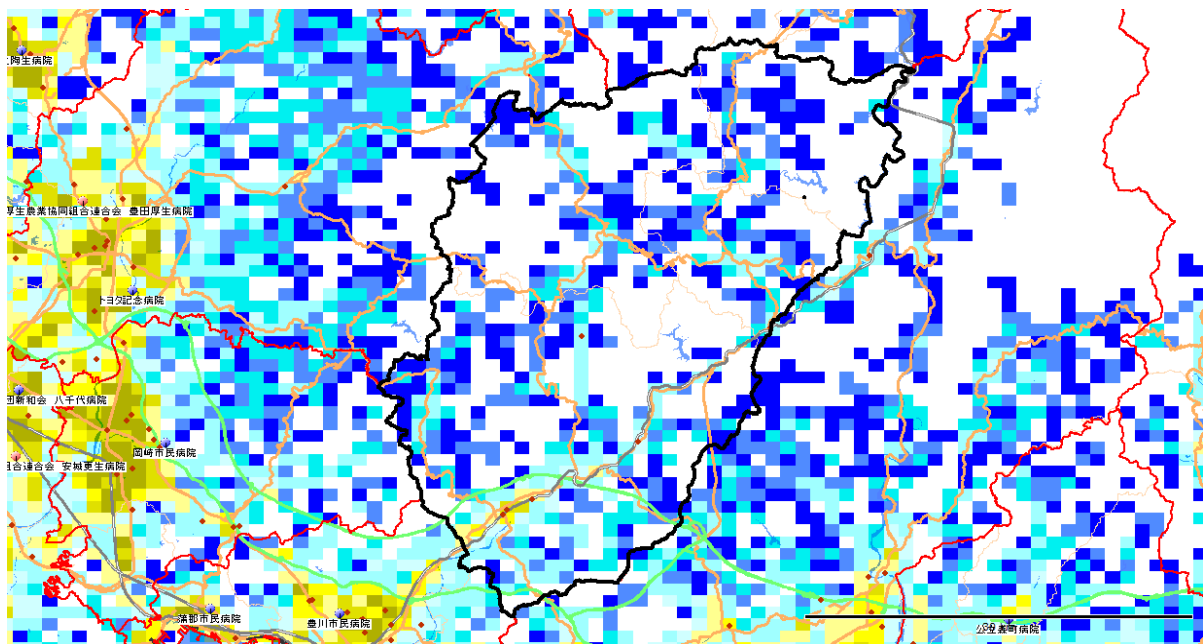
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



ひがしみかわほくぶ
23-11. 東三河北部医療圏

構成市区町村⁹ [新城市](#) [設楽町](#) [東栄町](#) [豊根村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(東三河北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東三河北部(新城市)は、総人口約57千人(2015年)、面積1052km²、人口密度は54人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東三河北部の総人口は2025年に50千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に40千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東三河北部の一人当たり医療費(国保)は327千円(偏差値46)、介護給付費は266千円(偏差値54)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東三河北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.5で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36(病院医師数36、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。東三河北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東三河北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1021人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が706床(偏差値52)、高齢者住宅等が315床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、766人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設74、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム60、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、60人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(東三河北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東三河北部医療圏の総人口は、2005年64348人が、2015年に56788人と12%減少し、2025年の人口が50004人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

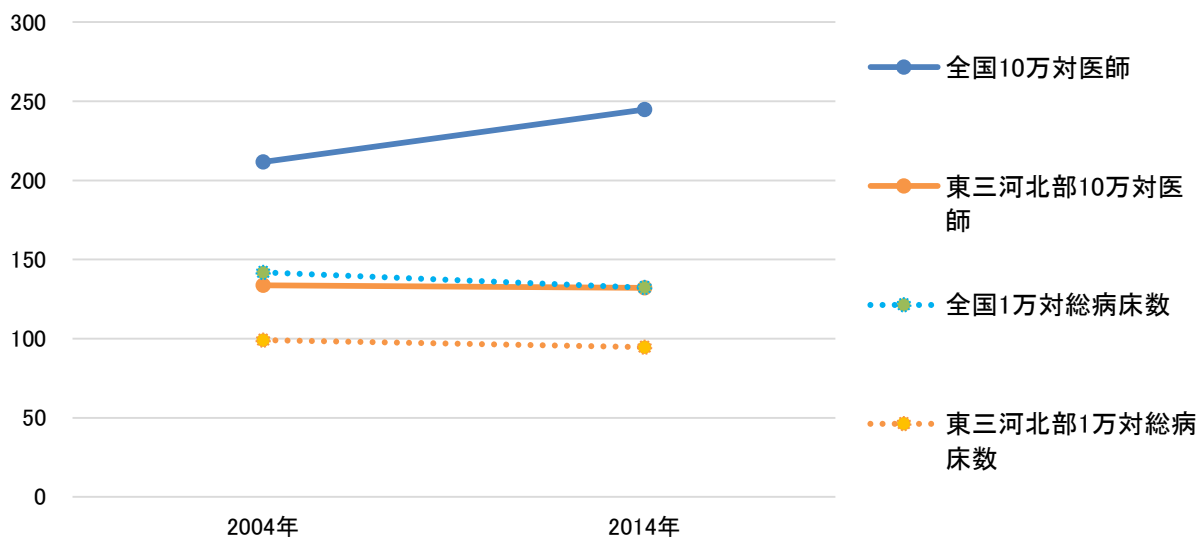
2004年の病院数が6(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に6(人口10万人当たり10.6病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が54(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に49(人口10万人当たり86診療所(全国平均79)偏差値54)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が637床(人口1万人当たり99(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に537床(人口1万人当たり95(全国平均132)偏差値43)と、100床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

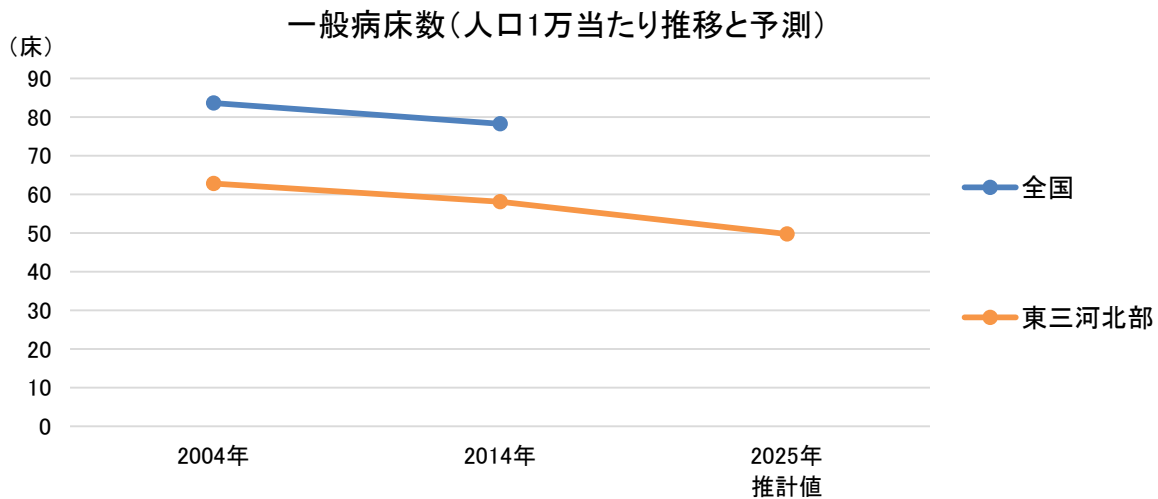
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が86人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に75人(人口10万人当たり132人(全国平均245人)偏差値38)と、11人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



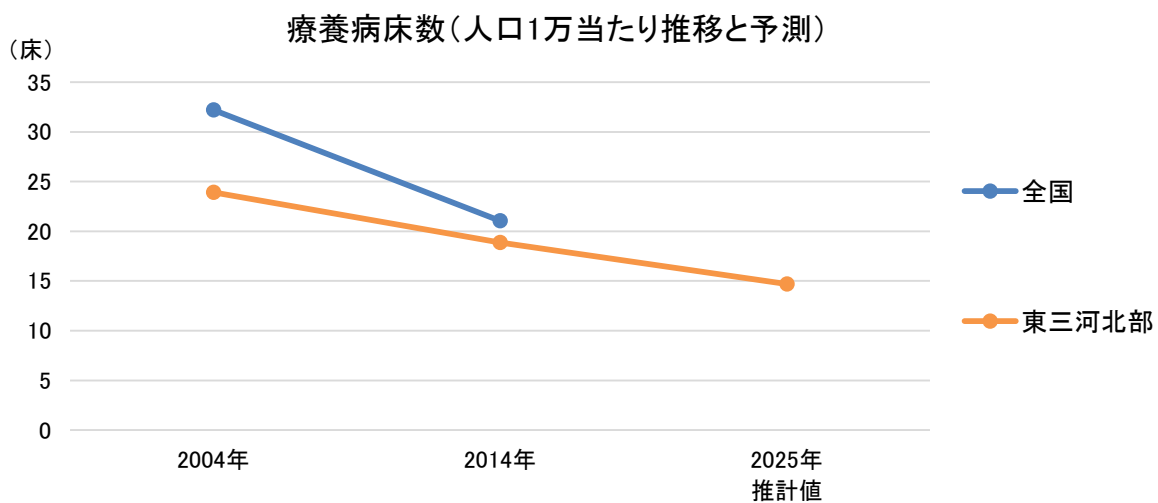
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が404床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に330床(人口1万人当たり58(全国平均78)偏差値43)と、74床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には249床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



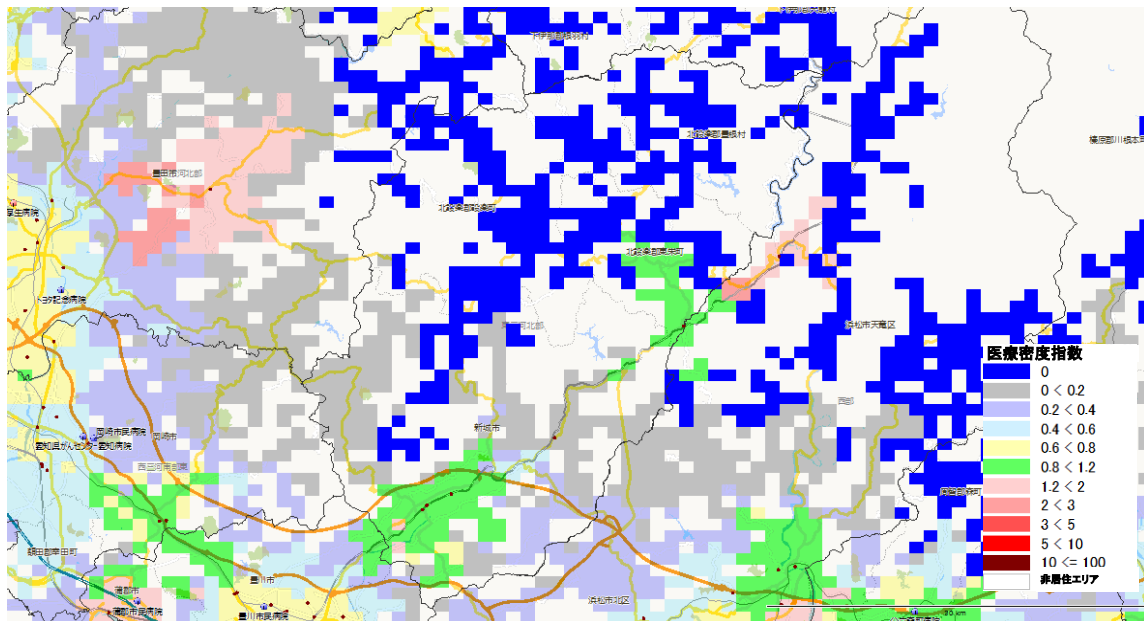
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が233床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に207床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、26床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には178床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



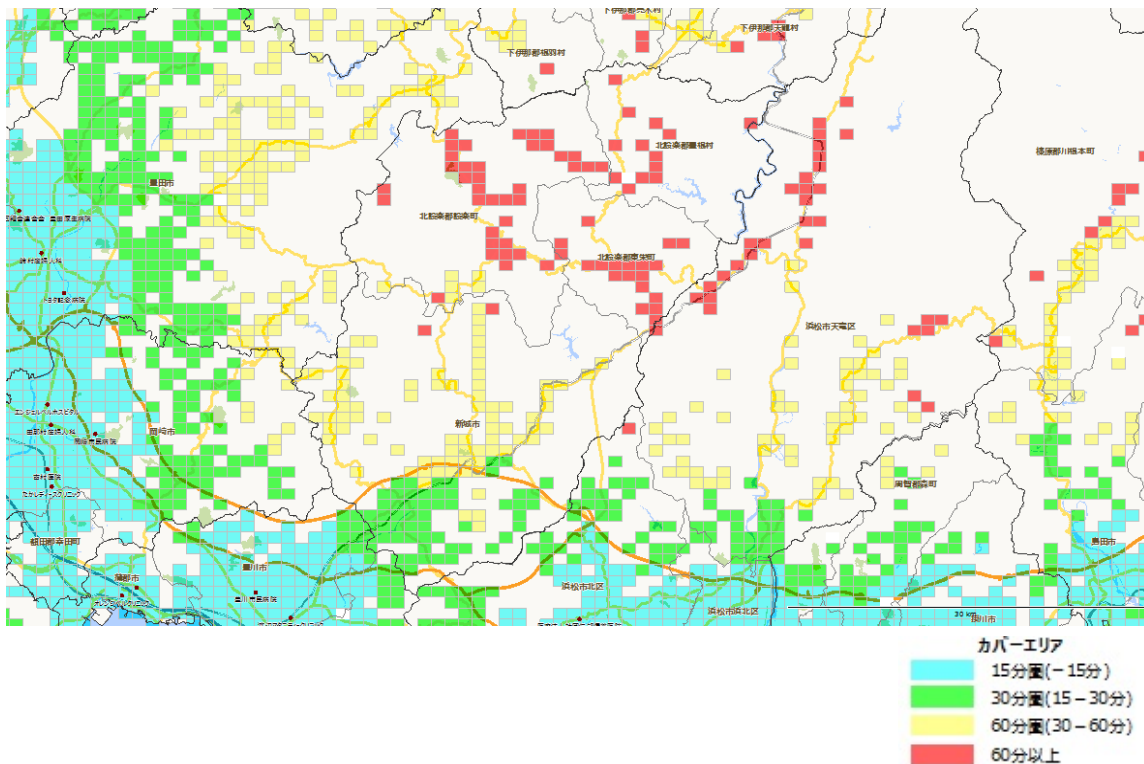
(東三河北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-11-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

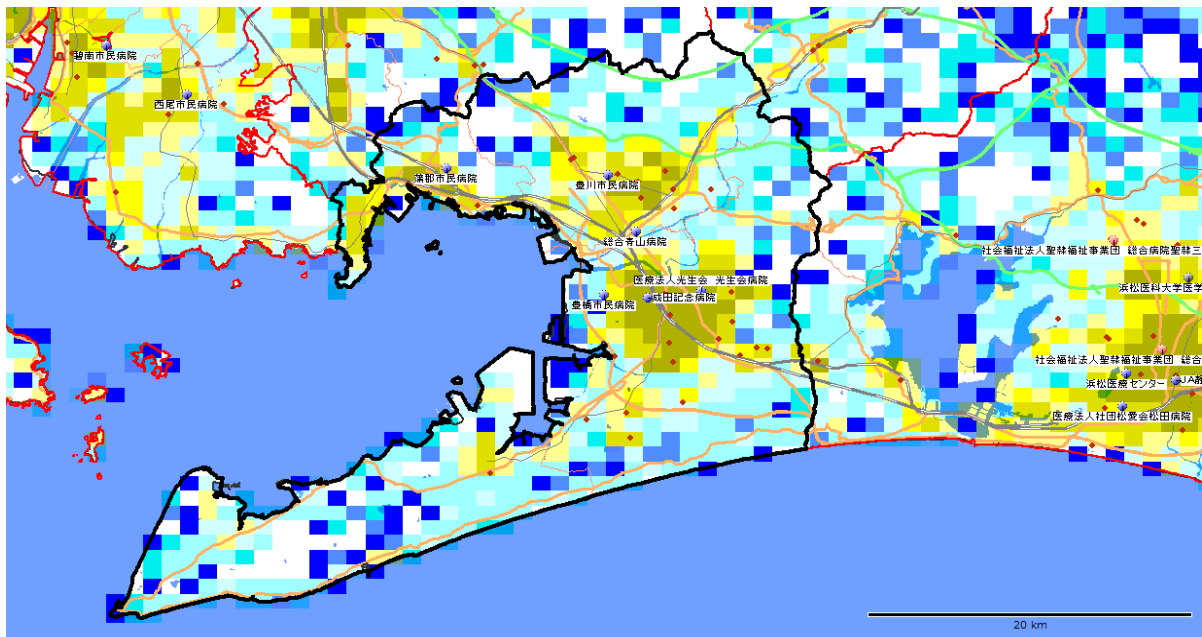
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



ひがしみかわなんぶ
23-12. 東三河南部医療圏

構成市区町村⁹ [豊橋市](#) [豊川市](#) [蒲郡市](#) [田原市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(東三河南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東三河南部(豊橋市)は、総人口約701千人(2015年)、面積671km²、人口密度は1044人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東三河南部の総人口は2025年に676千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に614千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の80千人が、2025年にかけて112千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には116千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東三河南部の一人当たり医療費(国保)は301千円(偏差値40)、介護給付費は214千円(偏差値39)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東三河南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.73、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.65で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数41、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。東三河南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊橋市民病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の豊川市民病院(Ⅲ群)、500例以上の成田記念病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東三河南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6467人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4299床(偏差値43)、高齢者住宅等が2168床(偏差値40)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5271人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム43、軽費ホーム52、グループホーム46、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、686人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-58%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(東三河南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東三河南部医療圏の総人口は、2005年702421人が、2015年に700665人と1%未満減少し、2025年の人口が676191人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

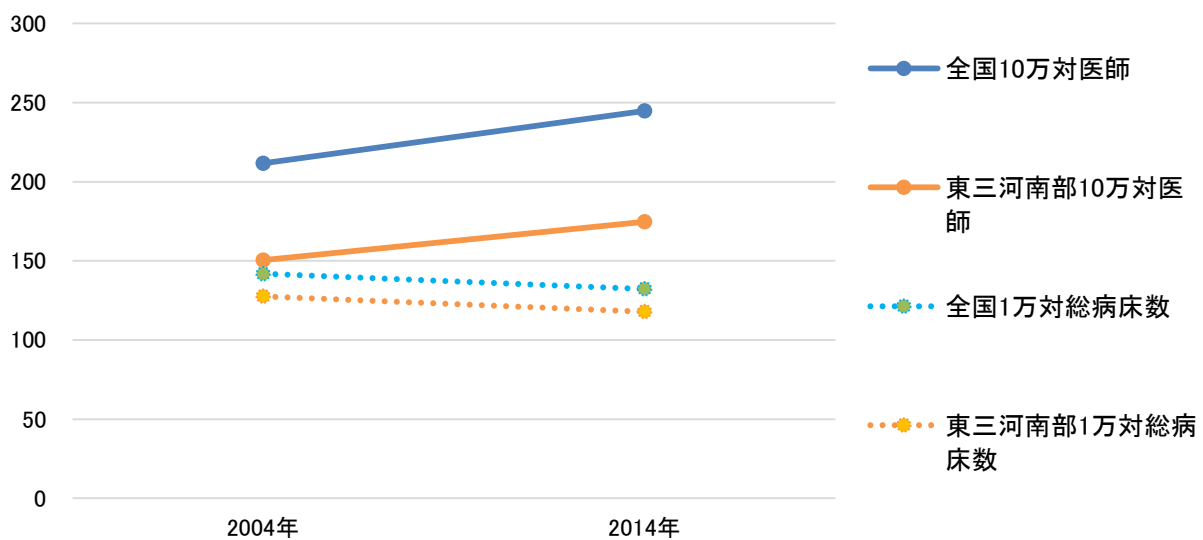
2004年の病院数が42(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に35(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が443(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に455(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値42)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数が8965床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に8262床(人口1万人当たり118(全国平均132)偏差値47)と、703床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

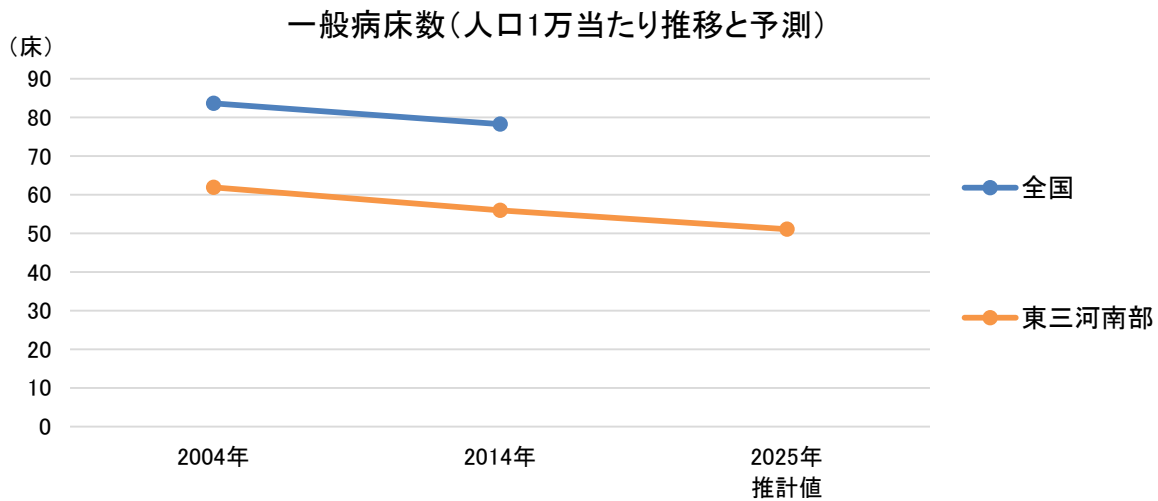
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1057人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に1224人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値43)と、167人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



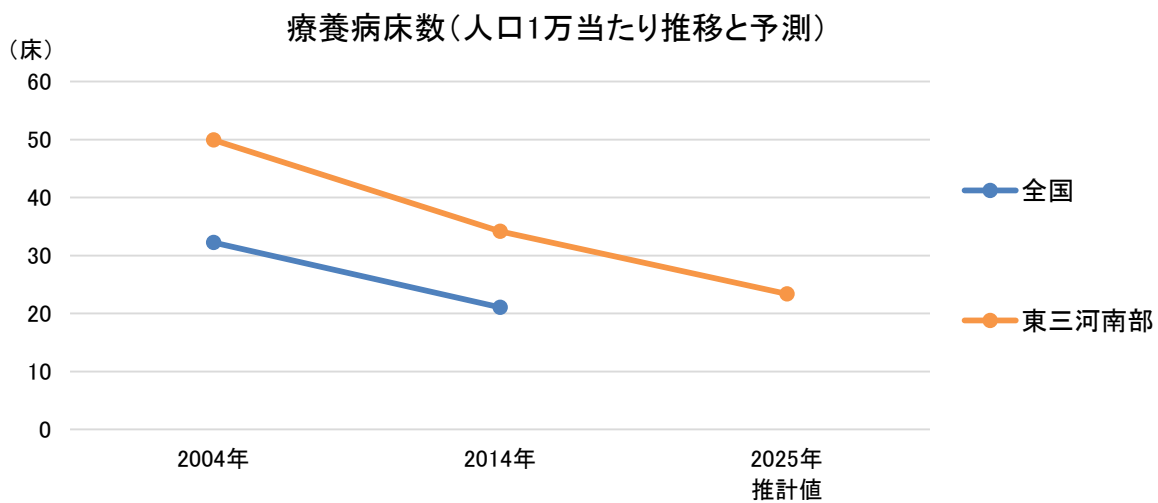
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4347床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に3923床(人口1万人当たり56(全国平均78)偏差値42)と、424床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3457床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



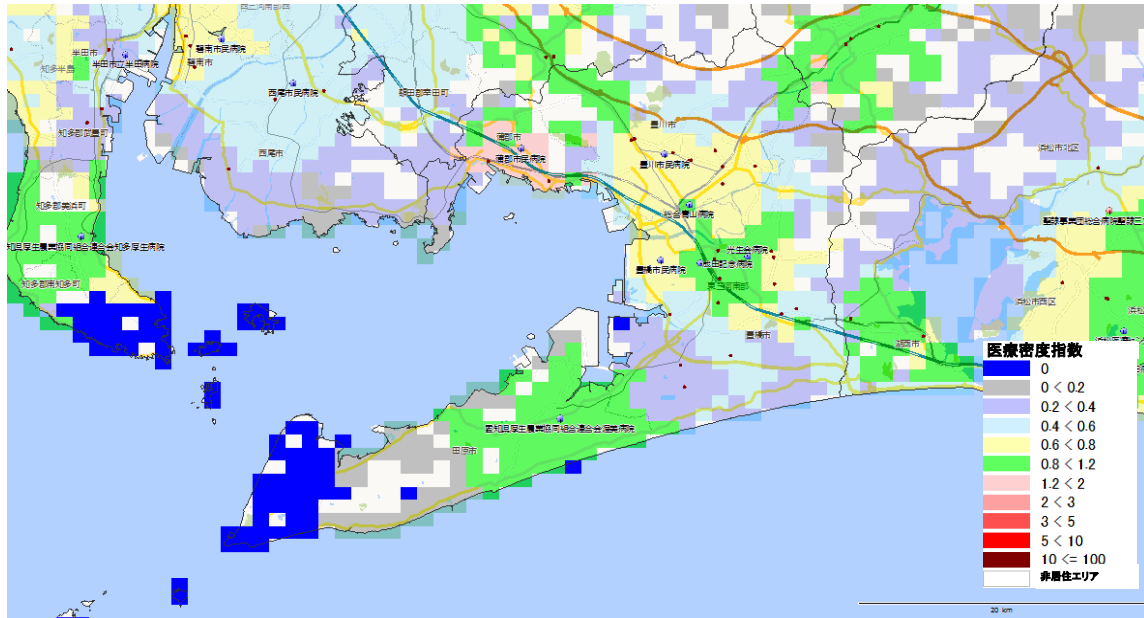
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2873床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に2748床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、125床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2611床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



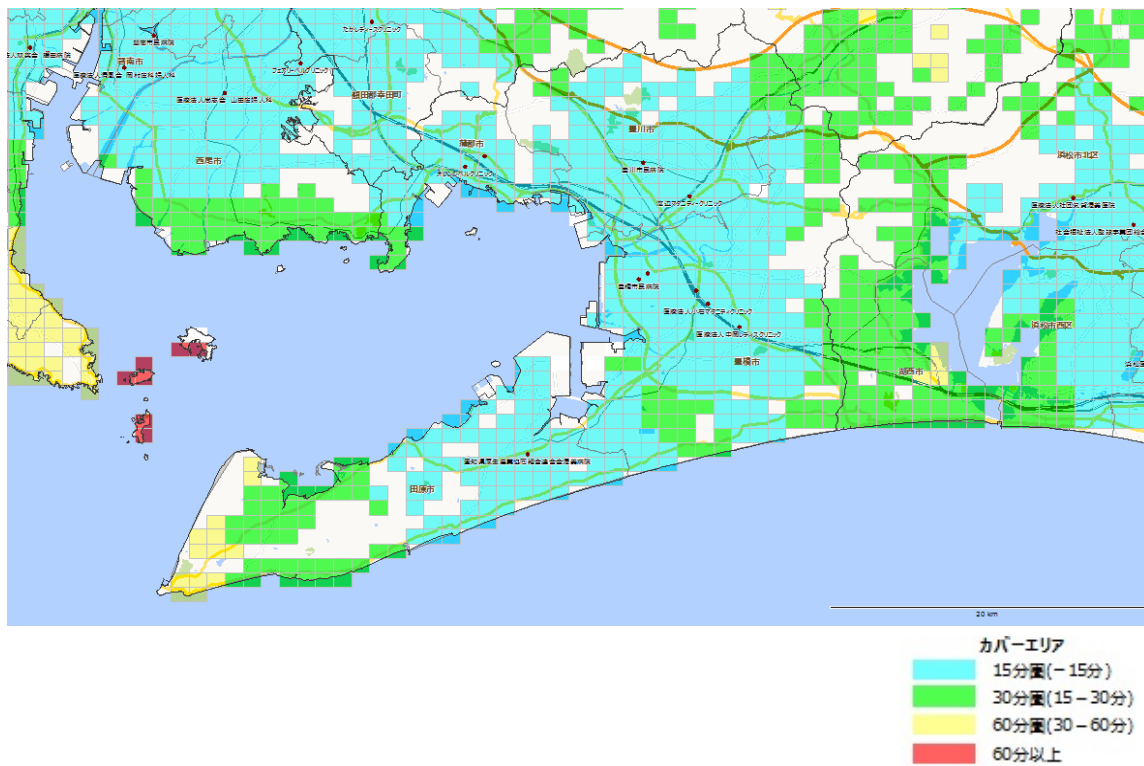
(東三河南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表23-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-12-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.1+(75歳以上人口)×5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。